

<評価凡例>
 S 計画に対し十分に取組み、顕著な成果が得られている。 A 計画に対し十分に取組み、成果が得られている。
 B 計画に対し十分に取組んでいる。 C 計画に対する取組みは十分ではない。

中期計画		第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置																																															
中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																											
						説明																																											
第2 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する事項	第2 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	第1 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置																																															
1 医療の提供 医療機関として求められる基本的な診療理念や県立病院が担う医療を明確にし、他の医療機関との機能分担や連携のもと、医療の質の向上に努め、患者や家族、地域から信頼される医療を提供すること。	1 医療の提供 県立病院機構の職員は、県立病院が担う役割と責任を認識するとともに、医療機関に求められる基本的な診療理念を理解し、医療の提供に当たってはそれを実践する。	1 医療の提供																																															
(1) 基本的な診療理念 診療に当たっては、患者が最良の治療効果を得られるよう、患者との信頼関係の構築に努め、科学的根拠に基づく最適な医療を患者への十分な説明と同意のもとに安全に提供すること。	(1) 基本的な診療理念 診療に当たっては、患者自らが選択し納得できるよう、患者への十分な説明など、患者との信頼関係の構築に努め、科学的根拠に基づく医療を安全に提供するため、医療技術の向上、チーム医療の推進、医療安全対策の充実などに取り組む。	(1) 基本的な診療理念 各県立病院は、患者が選択し納得できる最良の医療を提供するため、次の事項等に取り組む。 ①患者への十分な説明と同意の徹底 ②医療技術の向上 ③チーム医療の推進 ④医療安全対策の充実 ⑤患者満足の向上	-	-	-	-																																											
			1	①患者の適切な医療が受けられる権利を尊重し、セカンドオピニオンを実施する。	各病院 セカンドオピニオン数 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>115</td> <td>90</td> <td>112</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>48</td> <td>74</td> <td>48</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> セカンドオピニオン情報提供料算定件数 (総合) (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療情報提供料(D)</td> <td>145</td> <td>150</td> <td>116</td> <td>116</td> <td>111</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	総合	115	90	112	114	114	38	こころ	-	-	-	-	-	-	子ども	58	58	48	74	48	23	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	診療情報提供料(D)	145	150	116	116	111	54	A	令和4年度についても、患者の適切な医療が受けられる権利を尊重し、セカンドオピニオンを実施した。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																											
総合	115	90	112	114	114	38																																											
こころ	-	-	-	-	-	-																																											
子ども	58	58	48	74	48	23																																											
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																											
診療情報提供料(D)	145	150	116	116	111	54																																											
			2	①②③運用実績などのエビデンスに基づくクリニカルパスの新規作成や見直しを行う。	総合 クリニカルパス管理委員会において、新規作成及び修正に係る審議、承認を行った。 クリニカルパスの新規作成、適用率等実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規作成(件)</td> <td>15</td> <td>34</td> <td>9</td> <td>23</td> <td>17</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>修正(件)</td> <td>130</td> <td>253</td> <td>103</td> <td>225</td> <td>66</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>適用率(%)</td> <td>62.6</td> <td>63.3</td> <td>63.9</td> <td>68.3</td> <td>68.8</td> <td>68.4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	新規作成(件)	15	34	9	23	17	4	修正(件)	130	253	103	225	66	26	適用率(%)	62.6	63.3	63.9	68.3	68.8	68.4	A	クリニカルパスに関する運用・管理について、医療の質の向上や業務の効率化に繋がるよう、医療従事者が定期的に議論を行っている。 令和4年度は次期電子カルテ更新に伴い、パスの修正増加に向けた、患者の状態変化における評価・統計等の分析が容易となるBOM導入準備を進めている。 ※BOM: 日本クリニカルパス学会の患者アウトカム用語基本マスター														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																											
新規作成(件)	15	34	9	23	17	4																																											
修正(件)	130	253	103	225	66	26																																											
適用率(%)	62.6	63.3	63.9	68.3	68.8	68.4																																											
			3	①②③入院における患者の負担軽減及び計画的でわかりやすい医療を提供するため、精神科に適したクリニカルパスを作成し導入する。	各病院 令和4年度末現在稼働クリニカルパス 4件 (m-ECT、転倒転落、鑑定入院、クロザピン) 稼働クリニカルパス件数 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働クリニカルパス</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	稼働クリニカルパス	4	4	4	4	4	4	A	こころの医療センターにおいて導入が可能なクリニカルパス4件を導入済みである。今後、必要に応じ新規クリニカルパス作成もしくは既存クリニカルパスの見直しを行い、患者の負担軽減に努め、より良い医療を提供していく。																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																											
稼働クリニカルパス	4	4	4	4	4	4																																											
			4	①②③入院における患者の負担軽減及び計画的でわかりやすい医療を提供するため、小児科に適したクリニカルパスを作成し導入する。	各病院 稼働クリニカルパス件数 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働クリニカルパス</td> <td>48</td> <td>51</td> <td>51</td> <td>52</td> <td>61</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> ※令和3年度は病棟工事に伴い、一時的に稼働させたクリニカルパスがあり件数が増加した。	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	稼働クリニカルパス	48	51	51	52	61	48	A	クリニカルパスについては、導入が可能なものに関して、積極的に導入し、新規クリニカルパス作成、既存クリニカルパスの見直しを行い、患者の負担軽減に努め、より良い医療を提供していく。 令和3年度は病棟改修工事という特殊事情があったため、件数が一時的に増加したが、令和4年度は例年並みの件数となっている。																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																											
稼働クリニカルパス	48	51	51	52	61	48																																											

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
						説明																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			5	③チーム医療を推進し、多職種による病院横断的な活動を通して、質の高い医療を提供する。	<p>チーム医療の推進(カンファレンスの開催) 4年度9月末時点</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>チーム名</th> <th>開催頻度</th> <th>開催場所</th> <th>主要メンバー</th> </tr> <tr> <td rowspan="10">総合</td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>2回/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師</td> <td></td> </tr> <tr> <td>感染制御チーム</td> <td>毎日/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師</td> <td></td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1回/月</td> <td>医師、看護師、栄養士</td> <td></td> </tr> <tr> <td>呼吸ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、臨床工学士、理学療法士</td> <td></td> </tr> <tr> <td>認知症ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、公認心理師</td> <td></td> </tr> <tr> <td>精神科リエゾンチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師、公認心理師、栄養士</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排泄ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、栄養士</td> <td></td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム</td> <td>週1回</td> <td>医師・看護・栄養等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>感染防止対策チーム</td> <td>毎日/週</td> <td>医師・看護・薬剤・臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こころ</td> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1回/月</td> <td>医師・看護・薬剤・栄養</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>随時</td> <td>医師・看護・精神保健福祉士等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム</td> <td>週1回</td> <td>医師・看護・栄養等</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">子ども</td> <td>感染防止対策チーム</td> <td>毎日/週</td> <td>医師・看護・薬剤・臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師・看護・薬剤・臨床心理士・栄養</td> <td></td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策部会</td> <td>1回/月</td> <td>医師・看護</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション</td> <td>毎日/週</td> <td>医師・看護・理学療法等</td> <td></td> </tr> </table> <p>チーム医療に対する診療報酬上の評価加算の状況 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院</th> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">29年度</th> <th colspan="5">30年度</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">総合</td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>1,345</td> <td>1,154</td> <td>900</td> <td>1,246</td> <td>1,092</td> <td>352</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>感染制御チーム</td> <td>75,792</td> <td>93,168</td> <td>92,879</td> <td>86,399</td> <td>86,701</td> <td>124,507</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1,985</td> <td>1,915</td> <td>1,732</td> <td>1,733</td> <td>1,743</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>呼吸ケアチーム</td> <td>3,905</td> <td>4,815</td> <td>2,084</td> <td>2,751</td> <td>1,630</td> <td>1,725</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>認知症ケアチーム</td> <td>6,245</td> <td>6,452</td> <td>98</td> <td>142</td> <td>254</td> <td>38</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>精神科リエゾンチーム</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1743</td> <td>2,316</td> <td>4,164</td> <td>1,353</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>-</td> <td>3,163</td> <td>20,389</td> <td>17,965</td> <td>20,600</td> <td>9,672</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排泄ケアチーム</td> <td>263</td> <td>508</td> <td>958</td> <td>431</td> <td>235</td> <td>42</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム</td> <td>2</td> <td>200</td> <td>212</td> <td>388</td> <td>536</td> <td>218</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>87,614</td> <td>123,456</td> <td>142,880</td> <td>131,561</td> <td>137,112</td> <td>140,934</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こころ</td> <td>感染防止対策チーム</td> <td>380</td> <td>352</td> <td>363</td> <td>290</td> <td>347</td> <td>179</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>380</td> <td>352</td> <td>363</td> <td>290</td> <td>347</td> <td>179</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">子ども</td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>18,389</td> <td>21,610</td> <td>27,449</td> <td>25,950</td> <td>29,859</td> <td>15,790</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>感染防止対策チーム</td> <td>2,725</td> <td>2,200</td> <td>2,535</td> <td>2,550</td> <td>2,470</td> <td>720</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>136</td> <td>590</td> <td>310</td> <td>260</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション</td> <td>56,527</td> <td>52,394</td> <td>58,836</td> <td>59,137</td> <td>79,397</td> <td>38,124</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>78,132</td> <td>82,204</td> <td>88,975</td> <td>87,407</td> <td>98,887</td> <td>54,904</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	チーム名	開催頻度	開催場所	主要メンバー	総合	栄養サポートチーム	2回/週	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師		感染制御チーム	毎日/週	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師		褥瘡対策チーム	1回/月	医師、看護師、栄養士		呼吸ケアチーム	1回/週	医師、看護師、臨床工学士、理学療法士		認知症ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、公認心理師		精神科リエゾンチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師		緩和ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、公認心理師、栄養士		排泄ケアチーム	1回/週	医師、看護師、栄養士		栄養サポートチーム	週1回	医師・看護・栄養等		感染防止対策チーム	毎日/週	医師・看護・薬剤・臨床検査		こころ	褥瘡対策チーム	1回/月	医師・看護・薬剤・栄養		緩和ケアチーム	随時	医師・看護・精神保健福祉士等		栄養サポートチーム	週1回	医師・看護・栄養等		子ども	感染防止対策チーム	毎日/週	医師・看護・薬剤・臨床検査		緩和ケアチーム	1回/週	医師・看護・薬剤・臨床心理士・栄養		褥瘡対策部会	1回/月	医師・看護		リハビリテーション	毎日/週	医師・看護・理学療法等		病院	項目	29年度					30年度					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	総合	栄養サポートチーム	1,345	1,154	900	1,246	1,092	352						感染制御チーム	75,792	93,168	92,879	86,399	86,701	124,507						褥瘡対策チーム	1,985	1,915	1,732	1,733	1,743							呼吸ケアチーム	3,905	4,815	2,084	2,751	1,630	1,725						認知症ケアチーム	6,245	6,452	98	142	254	38						精神科リエゾンチーム	-	-	1743	2,316	4,164	1,353						緩和ケアチーム	-	3,163	20,389	17,965	20,600	9,672						排泄ケアチーム	263	508	958	431	235	42						栄養サポートチーム	2	200	212	388	536	218						計	87,614	123,456	142,880	131,561	137,112	140,934						こころ	感染防止対策チーム	380	352	363	290	347	179						計	380	352	363	290	347	179					子ども	栄養サポートチーム	18,389	21,610	27,449	25,950	29,859	15,790						感染防止対策チーム	2,725	2,200	2,535	2,550	2,470	720					緩和ケアチーム	-	-	136	590	310	260					リハビリテーション	56,527	52,394	58,836	59,137	79,397	38,124					計	78,132	82,204	88,975	87,407	98,887	54,904						S	<p>SARS-CoV-2(以下、「新型コロナウイルス」という。)感染症への対応のため、多職種による院内感染対策のチームを創設し、感染防止の取組、情報収集などを行っている。</p> <p>令和4年度についても、総合病院の新型コロナウイルス感染症専門病棟では、各部署から医師、看護師等を派遣し、多職種が対応に当たった。</p> <p>各病院では、最良の医療を提供するため、診療科の枠を越えた多職種カンファレンスを実施した。</p> <p>特に総合病院では、精神科医師の着任により、緩和ケアチーム及び精神科リエゾンチームによる診療報酬上の評価加算が高い水準で推移しており、収益面においても大きく貢献している。</p> <p>多職種による病院横断的な活動体制が上記の成果に結びついている。</p> <p>総合病院では、精神科医師の着任以降、精神科リエゾンチームと認知症ケアチームが協働し、精神疾患と身体疾患を併せ持つ身体合併症等に対して包括的な医療を提供している。</p> <p>令和4年度は、精神科リエゾンチーム及び認知症ケアチームが中心となって精神・身体合併症に対する医療ニーズを踏まえ、精神科病棟(精神科身体合併症病棟)を開業する準備を進めている。</p> <p>令和5年4月の開業に向け、認知症や精神科患者の身体合併症等に対して適切な医療を提供できる体制を確保していく。</p>
区分	チーム名	開催頻度	開催場所	主要メンバー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
総合	栄養サポートチーム	2回/週	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	感染制御チーム	毎日/週	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	褥瘡対策チーム	1回/月	医師、看護師、栄養士																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	呼吸ケアチーム	1回/週	医師、看護師、臨床工学士、理学療法士																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	認知症ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、公認心理師																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	精神科リエゾンチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	緩和ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、公認心理師、栄養士																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	排泄ケアチーム	1回/週	医師、看護師、栄養士																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	栄養サポートチーム	週1回	医師・看護・栄養等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	感染防止対策チーム	毎日/週	医師・看護・薬剤・臨床検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
こころ	褥瘡対策チーム	1回/月	医師・看護・薬剤・栄養																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	緩和ケアチーム	随時	医師・看護・精神保健福祉士等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	栄養サポートチーム	週1回	医師・看護・栄養等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
子ども	感染防止対策チーム	毎日/週	医師・看護・薬剤・臨床検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	緩和ケアチーム	1回/週	医師・看護・薬剤・臨床心理士・栄養																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	褥瘡対策部会	1回/月	医師・看護																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	リハビリテーション	毎日/週	医師・看護・理学療法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
病院	項目	29年度					30年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
総合	栄養サポートチーム	1,345	1,154	900	1,246	1,092	352																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	感染制御チーム	75,792	93,168	92,879	86,399	86,701	124,507																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	褥瘡対策チーム	1,985	1,915	1,732	1,733	1,743																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	呼吸ケアチーム	3,905	4,815	2,084	2,751	1,630	1,725																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	認知症ケアチーム	6,245	6,452	98	142	254	38																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	精神科リエゾンチーム	-	-	1743	2,316	4,164	1,353																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	緩和ケアチーム	-	3,163	20,389	17,965	20,600	9,672																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	排泄ケアチーム	263	508	958	431	235	42																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	栄養サポートチーム	2	200	212	388	536	218																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	計	87,614	123,456	142,880	131,561	137,112	140,934																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
こころ	感染防止対策チーム	380	352	363	290	347	179																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	計	380	352	363	290	347	179																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
子ども	栄養サポートチーム	18,389	21,610	27,449	25,950	29,859	15,790																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	感染防止対策チーム	2,725	2,200	2,535	2,550	2,470	720																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	緩和ケアチーム	-	-	136	590	310	260																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	リハビリテーション	56,527	52,394	58,836	59,137	79,397	38,124																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
計	78,132	82,204	88,975	87,407	98,887	54,904																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			6	④医療安全室及び感染対策委員会等を中心に、マニュアルの見直しや研修会を通じて院内感染防止対策・医療安全対策を実施する。	<p>3病院で、以下のとおり研修等を実施し安全・安心な医療の提供に対する職員への意識づけと、体制整備を行っている。</p> <p>医療安全対策、院内感染対策研修等</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="5">集団感染数(件)</th> <th colspan="2">院内感染対策研修</th> <th colspan="2">医療安全対策研修</th> </tr> <tr> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>研修数(回)</th> <th>参加人数(人)</th> <th>研修数(回)</th> <th>参加人数(人)</th> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>1,327</td> <td>4</td> <td>1,030</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>208</td> <td>3</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>596</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>2,131</td> <td>7</td> <td>1,211</td> </tr> </table> <p>※院内感染対策研修・医療安全対策研修ともに法定回数は2回</p>	区分	集団感染数(件)					院内感染対策研修		医療安全対策研修		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	研修数(回)	参加人数(人)	研修数(回)	参加人数(人)	総合	0	0	0	1	10	1	1,327	4	1,030	こころ	0	1	0	0	0	1	208	3	181	子ども	3	4	0	1	0	1	596	0	0	計	3	5	1	1	11	3	2,131	7	1,211	A	<p>各病院では、感染対策委員会や医療安全委員会を行う他、研修についても法定回数を上回る実績を積んでいる等、継続的な対策研修の実施体制が確立している。</p> <p>令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の院内感染対策として、感染対策室を中心とした中核要員によるチームが感染防止に関する取組や情報収集などを担い、県との調整のうえ患者の受入を適切に行っている。</p> <p>また、総合病院では令和4年度中に新型コロナウイルスクラスターを9件、バンコマイシン耐性腸球菌(以下、VREという)の集団感染を1件確認している。</p>																																																																																																																																																																																																																																																		
区分	集団感染数(件)						院内感染対策研修		医療安全対策研修																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	研修数(回)	参加人数(人)	研修数(回)	参加人数(人)																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
総合	0	0	0	1	10	1	1,327	4	1,030																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
こころ	0	1	0	0	0	1	208	3	181																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
子ども	3	4	0	1	0	1	596	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
計	3	5	1	1	11	3	2,131	7	1,211																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			7	④⑤固定チームナーシングによる看護提供を行うことで、看護の継続性を図り、患者の安心を高める。	<p>「患者様の声」の推移(看護師) (単位:件)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> <tr> <td>ご意見</td> <td>92</td> <td>85</td> <td>81</td> <td>53</td> <td>79</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>感謝</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>40</td> <td>34</td> <td>37</td> <td>21</td> </tr> </table> <p>患者満足度調査 (単位:%)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>98.2</td> <td>98.9</td> <td>98.0</td> <td>98.2</td> <td>97.6</td> <td>集計中</td> <td>90以上</td> </tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	ご意見	92	85	81	53	79	97	感謝	28	29	40	34	37	21	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院	98.2	98.9	98.0	98.2	97.6	集計中	90以上	A	<p>令和4年度の看護師に対する「患者様の声」の件数は、令和3年度実績を上回った。</p> <p>今後も寄せられた意見を参考に質の高い看護を提供できるよう努める。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ご意見	92	85	81	53	79	97																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
感謝	28	29	40	34	37	21																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
入院	98.2	98.9	98.0	98.2	97.6	集計中	90以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																							
							説明																																																																																						
			8	⑤患者の視点に立った質の高い医療の提供を目指し、患者満足度調査を行い、患者満足度の改善につなげる。	<p>患者満足度調査 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2"></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総 合</td> <td>入院</td> <td>98.2</td> <td>98.9</td> <td>98.0</td> <td>98.2</td> <td>97.6</td> <td></td> <td>90以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外来</td> <td>94.0</td> <td>94.3</td> <td>93.6</td> <td>94.3</td> <td>95.6</td> <td></td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>入院</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>集中</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外来</td> <td>94.4</td> <td>91.0</td> <td>95.7</td> <td>92.7</td> <td>100.0</td> <td></td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>入院</td> <td>97.5</td> <td>96.1</td> <td>99.0</td> <td>95.3</td> <td>100.0</td> <td></td> <td>90以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外来</td> <td>99.3</td> <td>98.9</td> <td>98.1</td> <td>96.5</td> <td>97.3</td> <td></td> <td>90以上</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	総 合	入院	98.2	98.9	98.0	98.2	97.6		90以上		外来	94.0	94.3	93.6	94.3	95.6		85以上	こころ	入院	—	—	—	—	—	集中	—		外来	94.4	91.0	95.7	92.7	100.0		85以上	こども	入院	97.5	96.1	99.0	95.3	100.0		90以上		外来	99.3	98.9	98.1	96.5	97.3		90以上	-	各病院の満足度は令和3年度まで高い水準を維持している。令和4年度についても、各病院で患者満足度の向上に努めているが、満足度調査は9月末時点で実施中である。																							
区 分		29年度	30年度	元年度	2年度			3年度	4年度9月末	4目標																																																																																			
		総 合	入院	98.2	98.9	98.0	98.2	97.6		90以上																																																																																			
	外来	94.0	94.3	93.6	94.3	95.6		85以上																																																																																					
こころ	入院	—	—	—	—	—	集中	—																																																																																					
	外来	94.4	91.0	95.7	92.7	100.0		85以上																																																																																					
こども	入院	97.5	96.1	99.0	95.3	100.0		90以上																																																																																					
	外来	99.3	98.9	98.1	96.5	97.3		90以上																																																																																					
(2) 県立病院が担う役割	(2) 県立病院が担う役割	(2) 県立病院が担う役割	-	-	-	-	-																																																																																						
他の医療機関では対応困難な高度・特殊医療など、県の保健医療施策として求められている医療を誠実に提供するとともに、地域連携に努め、県内医療機関の中核病院としての役割を果たすこと。また、医療技術の進展等に対応し、高度・専門医療等の更なる充実・強化に努めること。	他の医療機関では対応困難な高度・専門・特殊医療が確実に提供できるように、先進的技術・治療法の導入に努める。情報通信技術を活用した医療連携や疾患ごとの地域連携を推進する。県内医療機関の中核病院として、緊急時における後方病床の確保や人材育成などの支援体制の整備を行うとともに、地域の医療機関との機能分担や紹介率・逆紹介率の向上により、地域連携の強化を図る。	県内の中核的病院として高度・専門・特殊医療を提供するため、地域の医療機関との機能分担を推進し、地域の医療機関との連携を強化する。 ①紹介・逆紹介の推進 ②地域連携クリニカルパスの推進 ③かかりつけ医との診療情報の共有化の推進 ④ふじのくにパーチャル・メガ・ホスピタル(ふじのくにねっと)の推進	9	①かかりつけ医との連携により、機能分担体制を推進する。地域の医療機関との連携強化を図る。	<p>紹介率・逆紹介率実績 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2"></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>90.6</td> <td>92.7</td> <td>92.4</td> <td>93.8</td> <td>93.5</td> <td>94.8</td> <td>90以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>175.5</td> <td>171.3</td> <td>174.7</td> <td>195.4</td> <td>200.3</td> <td>186.5</td> <td>175以上</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	紹介率	90.6	92.7	92.4	93.8	93.5	94.8	90以上	逆紹介率	175.5	171.3	174.7	195.4	200.3	186.5	175以上	A	紹介先、逆紹介先となる地域のクリニックとの情報共有、広報及び訪問等を積極的に行って連携強化に努めた結果、紹介率、逆紹介率ともに目標値を上回った。																																																													
区 分		29年度	30年度	元年度	2年度			3年度	4年度9月末	4目標																																																																																			
		紹介率	90.6	92.7	92.4	93.8	93.5	94.8	90以上																																																																																				
逆紹介率	175.5	171.3	174.7	195.4	200.3	186.5	175以上																																																																																						
			10	①地域の医療機関との連携を強化し、医療支援体制や救急・急性期、重症患者の受入など連携・機能分担体制を推進する。	<p>紹介率・逆紹介率実績 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2"></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>98.3</td> <td>91.0</td> <td>96.1</td> <td>93.2</td> <td>95.6</td> <td>92.3</td> <td>92以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>28.6</td> <td>37.0</td> <td>33.7</td> <td>30.1</td> <td>29.2</td> <td>27.1</td> <td>30以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>このころの医療センターの精神科医師の総合病院への配置状況 (単位: 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2"></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>このころ-総合</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>このころの医療センターから総合病院への身体合併症による搬送件数 (単位: 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2"></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>このころ-総合</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	紹介率	98.3	91.0	96.1	93.2	95.6	92.3	92以上	逆紹介率	28.6	37.0	33.7	30.1	29.2	27.1	30以上	区 分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	このころ-総合	0	0	1	2	2	2	区 分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	このころ-総合	4	9	6	4	8	2	B	目標値には達していないものの、前年度に比べ新規患者が増加傾向にあることから、紹介率・逆紹介率ともに上回っている。																															
区 分		29年度	30年度	元年度	2年度			3年度	4年度9月末	4目標																																																																																			
		紹介率	98.3	91.0	96.1	93.2	95.6	92.3	92以上																																																																																				
逆紹介率	28.6	37.0	33.7	30.1	29.2	27.1	30以上																																																																																						
区 分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																						
		このころ-総合	0	0	1	2	2	2																																																																																					
区 分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																						
		このころ-総合	4	9	6	4	8	2																																																																																					
			11	①地域の医療機関との機能分担を推進するため、紹介予約制を維持するとともに、積極的に逆紹介を行う。	<p>紹介率・逆紹介率実績 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2"></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>94.1</td> <td>92.6</td> <td>90.9</td> <td>90.7</td> <td>91.1</td> <td>91.2</td> <td>94以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>46.5</td> <td>43.7</td> <td>47.7</td> <td>44.8</td> <td>46.2</td> <td>45.9</td> <td>53以上</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	紹介率	94.1	92.6	90.9	90.7	91.1	91.2	94以上	逆紹介率	46.5	43.7	47.7	44.8	46.2	45.9	53以上	B	令和4年度は、紹介率・逆紹介率とも前年と同水準の数値で推移している。紹介率・逆紹介率ともに地域医療支援病院の承認基準を満たしており、地域医療支援病院として機能集している。ただし、目標数値には達していないため、今後も地域医療機関との連携及び入院支援センターの活動を通じた退院支援を図ることにより、紹介予約制を維持するとともに積極的な逆紹介を行っていく。																																																													
区 分		29年度	30年度	元年度	2年度			3年度	4年度9月末	4目標																																																																																			
		紹介率	94.1	92.6	90.9	90.7	91.1	91.2	94以上																																																																																				
逆紹介率	46.5	43.7	47.7	44.8	46.2	45.9	53以上																																																																																						
			12	②心疾患、脳卒中、がん、慢性腎臓病、大腿骨頸部骨折等の地域連携クリニカルパスを活用し、かかりつけ医やリハビリテーション病院との機能分担を推進する。	<p>地域連携クリニカルパス (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2"></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳 卒 中</td> <td>42</td> <td>62</td> <td>83</td> <td>102</td> <td>92</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>大 腿 骨 頸 部 骨 折</td> <td>82</td> <td>57</td> <td>82</td> <td>104</td> <td>90</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>心 臓 病</td> <td>31</td> <td>51</td> <td>55</td> <td>51</td> <td>65</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>腎 臓 病</td> <td>109</td> <td>124</td> <td>122</td> <td>102</td> <td>135</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>乳 がん</td> <td>191</td> <td>105</td> <td>128</td> <td>102</td> <td>116</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>前 立 腺 がん</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>20</td> <td>35</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>虚 血 性 心 疾 患</td> <td>142</td> <td>92</td> <td>73</td> <td>67</td> <td>33</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>心 房 細 動 脈 症</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>肺 結 核 肺 病</td> <td>25</td> <td>43</td> <td>40</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>肝 がん</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>682</td> <td>561</td> <td>605</td> <td>578</td> <td>585</td> <td>268</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	脳 卒 中	42	62	83	102	92	30	大 腿 骨 頸 部 骨 折	82	57	82	104	90	34	心 臓 病	31	51	55	51	65	27	腎 臓 病	109	124	122	102	135	83	乳 がん	191	105	128	102	116	54	前 立 腺 がん	9	10	16	20	35	22	虚 血 性 心 疾 患	142	92	73	67	33	23	心 房 細 動 脈 症	1	7	4	1	2	0	肺 結 核 肺 病	25	43	40	29	25	15	肝 がん	0	0	2	0	0	0	計		682	561	605	578	585	268	A	令和4年度も、地域の医療機関等との連携により、地域連携クリニカルパスの適用を推進し、円滑な運用に努めた。
区 分		29年度	30年度	元年度	2年度			3年度	4年度9月末																																																																																				
		脳 卒 中	42	62	83	102	92	30																																																																																					
大 腿 骨 頸 部 骨 折	82	57	82	104	90	34																																																																																							
心 臓 病	31	51	55	51	65	27																																																																																							
腎 臓 病	109	124	122	102	135	83																																																																																							
乳 がん	191	105	128	102	116	54																																																																																							
前 立 腺 がん	9	10	16	20	35	22																																																																																							
虚 血 性 心 疾 患	142	92	73	67	33	23																																																																																							
心 房 細 動 脈 症	1	7	4	1	2	0																																																																																							
肺 結 核 肺 病	25	43	40	29	25	15																																																																																							
肝 がん	0	0	2	0	0	0																																																																																							
計		682	561	605	578	585	268																																																																																						
			13	③④地域医療ネットワークシステムを整備・活用する。	<p>ネットワーク実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2"></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開示施設数</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>開示件数(累計)</td> <td></td> <td>24,375</td> <td>28,732</td> <td>33,400</td> <td>38,366</td> <td>44,142</td> <td>47,855</td> </tr> <tr> <td>開示件数(新規)</td> <td></td> <td>4,880</td> <td>4,387</td> <td>4,698</td> <td>4,996</td> <td>5,776</td> <td>3,713</td> </tr> <tr> <td>参照施設数</td> <td></td> <td>134</td> <td>126</td> <td>118</td> <td>123</td> <td>129</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>病院</td> <td></td> <td>134</td> <td>126</td> <td>118</td> <td>123</td> <td>129</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>診療所</td> <td></td> <td>78</td> <td>76</td> <td>72</td> <td>73</td> <td>77</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>保険薬局</td> <td></td> <td>31</td> <td>27</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>介護施設</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>介護福祉施設</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>「ふじのくにパーチャル・メガ・ホスピタル」について、情報の開示施設である各の中核病院、自治体病院、診療所・医師会とともに「ふじのくにパーチャル・メガ・ホスピタル協議会」を運営し、複数医療機関相互の診療情報共有のため地域ネットワーク基盤を構築して運用している。</p>	区 分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	開示施設数	18	17	16	19	19	20	開示件数(累計)		24,375	28,732	33,400	38,366	44,142	47,855	開示件数(新規)		4,880	4,387	4,698	4,996	5,776	3,713	参照施設数		134	126	118	123	129	128	病院		134	126	118	123	129	128	診療所		78	76	72	73	77	78	保険薬局		31	27	25	29	31	31	介護施設		0	0	0	0	0	0	介護福祉施設		0	0	0	0	0	0	A	令和3年度に、ネットワーク参画医療機関が一体となって、連携医療機関等に参画の呼びかけ及び広報を行っており、この結果、令和4年4月に静岡市清水区の桜ヶ丘病院が開示施設として参画した。							
区 分		29年度	30年度	元年度	2年度			3年度	4年度9月末																																																																																				
		開示施設数	18	17	16	19	19	20																																																																																					
開示件数(累計)		24,375	28,732	33,400	38,366	44,142	47,855																																																																																						
開示件数(新規)		4,880	4,387	4,698	4,996	5,776	3,713																																																																																						
参照施設数		134	126	118	123	129	128																																																																																						
病院		134	126	118	123	129	128																																																																																						
診療所		78	76	72	73	77	78																																																																																						
保険薬局		31	27	25	29	31	31																																																																																						
介護施設		0	0	0	0	0	0																																																																																						
介護福祉施設		0	0	0	0	0	0																																																																																						

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																																																																																																									
							説明																																																																																																																																																																								
(3) 県立病院が重点的に取り組む医療 県立総合病院においては、先端医療棟の設備・機能を最大限に活用し、3大疾患(がん、脳血管疾患、心疾患)を中心に高度・専門医療や急性期医療等を提供すること。また、高度救命救急センターの運用による広範囲熱傷等の特殊疾病患者の受入れ等、高度救急医療を継続して提供するほか、広域的な救急医療の提供への対応を図ること。 なお、中期目標期間の各事業年度において、病床利用率90%以上、入院患者満足度90%以上、外来患者満足度85%以上の達成を目指すこと。 県立こどもの医療センターにおいては、精神科救急・急性期医療の提供や他の医療機関では対応困難な治療の実施及び司法精神医療の充実を図るほか、多様な精神疾患への対応や早期入院・早期社会復帰を支援する医療提供体制の充実を図ること。 なお、中期目標期間の各事業年度において、病床利用率85%以上、外来患者満足度85%以上の達成を目指すこと。 県立こども病院においては、小児重症心疾患患者やハイリスク胎児・妊婦、新生児に対する高度・先進医療を提供すること。また、小児がん拠点病院としての機能強化、高度な小児救急医療の充実及び児童精神分野の医療の充実を図るほか、患者の円滑な退院・在宅移行を支援する体制整備に努めること。 なお、中期目標期間の各事業年度において、病床利用率75%以上、入院患者満足度90%以上、外来患者満足度90%以上の達成を目指すこと。 さらに、県立3病院は、結核、エイズ等の感染症医療や難病医療、移植医療、アレルギー疾患医療等に連携を取り、適切な対応を図ること。 その他、移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題に取り組む、今後の疾病構造や県民の医療ニーズの変化等に対応し、県が求める政策医療に協力すること。また、医療施設や機器の整備については計画的に実施するとともに、県民の医療ニーズの変化や医療技術の進展に応じ、機動的な対応を行うこと。	(3) 県立病院が重点的に取り組む医療 県が掲げる6疾病5事業を念頭に、各県立病院が専門性を活かしつつ、県立病院間や地域の医療機関との連携を強化して、病態に即した的確な医療を提供する。特に、全国的な課題とされている救急医療や急性期医療の充実に重点的に取り組む。 ア 循環器疾患・がん疾患については、小児は県立こども病院が、成人は県立総合病院がそれぞれ県内の中核病院の機能を果たしていく。 イ 周産期医療における産科合併症及び脳卒中中等産科以外の疾患による合併症や精神科患者の身体合併症などについては、各県立病院が連携して取り組む。 ウ 結核指定医療機関、エイズ拠点病院及び難病医療協力病院等として感染症医療や難病医療、移植医療、アレルギー疾患医療に着実に取り組む。	(3) 県立病院が重点的に取り組む医療 各県立病院は、県が求める政策医療を念頭に、それぞれの特性を生かし、以下の医療に重点的に取り組む。 ア 循環器疾患・がん疾患については、小児は県立こども病院が、成人は県立総合病院がそれぞれ県内の中核病院の機能を果たしていく。 イ 周産期医療、精神科患者の身体合併症、認知症に対して、機構内3病院が連携し、より適切な医療の提供を行う。	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																								
			14	各病院	児童の措置入院等、こども病院での受入れが困難な場合はこどもの医療センターにて受入れている。 周産期医療における搬送実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区 分</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>こども総合</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> こどもの医療センターの精神科医師の総合病院への配置状況 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区 分</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>こども総合</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> こどもの医療センターから総合病院への身体合併症による搬送件数 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区 分</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>こども総合</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	区 分	7	8	7	3	3	3	こども総合	15	13	13	13	9	6	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	区 分	0	0	1	2	2	2	こども総合	0	0	1	2	2	2	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	区 分	4	9	6	4	3	2	こども総合	4	9	6	4	3	2	A	3病院1法人のメリットを活かし、患者の搬送、医師の応援体制等病院間の連携協力体制を構築している。 総合病院に常勤の精神科医師を5名配置し、精神科医療体制の構築に向けた連携を実施しており、来年度、精神科患者の身体合併症に対応した病棟開棟に向けて準備を進めている。 ここの医療センターとこども病院の精神科医師が定期的に合同症例検討会については、感染対策の面から個別のカンファレンスを控えていることもあって令和4年度においても未だ開催が見送られているが、必要に応じて患者や医師の相談を電話により行っている。 こども病院から総合病院に母体搬送が行われている。同一法人のメリットを活かし、搬送時のスムーズな医師の応援派遣や設備の有効活用が図られている。 今後、総合病院精神科病棟の整備にあたり、精神科医師が中心となり、機構における精神科医療のあり方や役割分担を含めた検討を進めている。																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																									
区 分	7	8	7	3	3	3																																																																																																																																																																									
こども総合	15	13	13	13	9	6																																																																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																									
区 分	0	0	1	2	2	2																																																																																																																																																																									
こども総合	0	0	1	2	2	2																																																																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																									
区 分	4	9	6	4	3	2																																																																																																																																																																									
こども総合	4	9	6	4	3	2																																																																																																																																																																									
			15	総合・こども	(総合) 結核病棟は50床で運用している。 エイズ拠点病院としてエイズ患者の受入体制を整えている。 入院患者数 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区 分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エイズ</td> <td colspan="6">非公開</td> </tr> <tr> <td>結 核</td> <td>108</td> <td>111</td> <td>92</td> <td>95</td> <td>85</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> 移植実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区 分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>腎移植</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>造血幹細胞移植</td> <td>8</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>造血幹細胞移植</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>30</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> (こども) 造血幹細胞移植実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区 分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>骨髄移植</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>脐帯血</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>自家末梢血</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>同種末梢血</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> アレルギー疾患に関する研修会・講演会開催件数 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区 分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総 合</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> アレルギー教室開催実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区 分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>腎臓移植</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	区 分							エイズ	非公開						結 核	108	111	92	95	85	28	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	区 分							腎移植	18	14	17	12	10	6	造血幹細胞移植	8	17	14	13	12	6	造血幹細胞移植	4	2	3	1	0	1	計	30	33	34	26	22	13	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	区 分							骨髄移植	2	5	2	8	3	2	脐帯血	1	3	3	2	2	0	自家末梢血	7	4	4	1	1	6	同種末梢血	0	2	1	1	0	0	計	10	14	10	12	6	8	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	区 分							総 合	1	1	0	1	0	0	こども	4	3	2	2	2	2	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	区 分							腎臓移植	1	1	3	1	2	2	S	(総合) 令和4年度も、新型コロナウイルス感染症に係る院内検査及び患者受入体制の充実に努めた。 特に、令和4年7月～8月にかけて新型コロナウイルス第7波の拡大により、令和4年7月以降は最大16床(本館6階16床)を確保していたが、それを大きく上回る患者を受け入れることとなった。 結核病棟については、結核病棟を有する病院の多くが新型コロナウイルス感染症病床へ切り替える状況において、当院は50床を維持し、県内における結核患者の8割以上を受入可能な体制を整えている。 移植については、生体移植を含めた腎移植、造血幹細胞移植、強角膜片作成を実施している。令和4年度の移植件数は、令和3年度実績と同数程度となった。 (こども) 県の要請により新型コロナウイルス感染症に対応する病床を4床(うち2床をスタッフ用)を整備し、令和2年4月から運用している。令和4年度は9月末現在で新型コロナウイルス感染症患者を2名、延14日間受け入れた。 新型コロナウイルス感染症に対応するため、令和4年9月末時点で、PICU2床、MFCU1床、NICU1床、北4病棟14床、CCU2床を確保し、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている。 また、移植医療に関しては、適用患者の数に変動はあるため、実績値の増減はあるが先進的医療である造血幹細胞移植に継続して取り組んでいる。 また、アレルギー疾患に関する県民向け・医療者向けの講習会を実施し、地域のアレルギー疾患医療のレベルアップを図っており、令和4年度は9月末時点で2回開催している。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																									
区 分																																																																																																																																																																															
エイズ	非公開																																																																																																																																																																														
結 核	108	111	92	95	85	28																																																																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																									
区 分																																																																																																																																																																															
腎移植	18	14	17	12	10	6																																																																																																																																																																									
造血幹細胞移植	8	17	14	13	12	6																																																																																																																																																																									
造血幹細胞移植	4	2	3	1	0	1																																																																																																																																																																									
計	30	33	34	26	22	13																																																																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																									
区 分																																																																																																																																																																															
骨髄移植	2	5	2	8	3	2																																																																																																																																																																									
脐帯血	1	3	3	2	2	0																																																																																																																																																																									
自家末梢血	7	4	4	1	1	6																																																																																																																																																																									
同種末梢血	0	2	1	1	0	0																																																																																																																																																																									
計	10	14	10	12	6	8																																																																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																									
区 分																																																																																																																																																																															
総 合	1	1	0	1	0	0																																																																																																																																																																									
こども	4	3	2	2	2	2																																																																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																									
区 分																																																																																																																																																																															
腎臓移植	1	1	3	1	2	2																																																																																																																																																																									

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																								
						説明																																																								
					<p>新型コロナウイルス感染症受入体制(9月末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>病床数</th> <th>時 期</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総 合</td> <td>16床</td> <td>令和4年7月～</td> <td>6A病棟 最大16床</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>4床</td> <td>令和2年4月～</td> <td>2床はスタッフ用</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>20床</td> <td>令和4年8月～</td> <td>PICU、MFIGU、NICU、北4病棟、CCU</td> </tr> </tbody> </table>		病床数	時 期	備 考	総 合	16床	令和4年7月～	6A病棟 最大16床	こころ	4床	令和2年4月～	2床はスタッフ用	こども	20床	令和4年8月～	PICU、MFIGU、NICU、北4病棟、CCU																																									
	病床数	時 期	備 考																																																											
総 合	16床	令和4年7月～	6A病棟 最大16床																																																											
こころ	4床	令和2年4月～	2床はスタッフ用																																																											
こども	20床	令和4年8月～	PICU、MFIGU、NICU、北4病棟、CCU																																																											
	エ リハビリテーションや相談援助の体制を充実し、患者の社会復帰、生活支援、就学・就労につながる支援等に取り組む。	エ リハビリテーションや相談援助の体制を充実し、患者の社会復帰、生活支援、就学・就労につながる支援等に取り組む。	16 18	<p>【総】・リハビリテーション、相談援助・支援を強化し、退院調整を積極的に行う。 【心】・患者の社会復帰に向け、リハビリテーション活動を充実させる。 【心】・患者の地域での生活を支援するため、訪問看護を充実させる。 【子】・言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォロー、作業療法における急性期作業療法他の充実を図る。</p>	<p>患者サポートセンター退院調整件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>3,217</td> <td>6,810</td> <td>5,217</td> <td>6,007</td> <td>6,517</td> <td>3,450</td> </tr> </tbody> </table> <p>退院支援関係診療報酬算定件数実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院調整加算(旧)</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>退院支援加算1(新)</td> <td>1,879</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>入退院支援加算1※</td> <td>---</td> <td>4,816</td> <td>3,987</td> <td>5,403</td> <td>6,008</td> <td>3,090</td> </tr> <tr> <td>退院時リハビリテーション指導料</td> <td>705</td> <td>530</td> <td>1,113</td> <td>3,529</td> <td>2,957</td> <td>1,457</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,584</td> <td>5,346</td> <td>5,100</td> <td>8,932</td> <td>8,965</td> <td>4,547</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	3,217	6,810	5,217	6,007	6,517	3,450	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	退院調整加算(旧)	---	---	---	---	---	---	退院支援加算1(新)	1,879	---	---	---	---	---	入退院支援加算1※	---	4,816	3,987	5,403	6,008	3,090	退院時リハビリテーション指導料	705	530	1,113	3,529	2,957	1,457	計	2,584	5,346	5,100	8,932	8,965	4,547	<p>患者サポートセンターの看護師、MSWや理学療法士等が中心となり、入院早期から退院調整を積極的に支援している。</p>
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																								
件数	3,217	6,810	5,217	6,007	6,517	3,450																																																								
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																								
退院調整加算(旧)	---	---	---	---	---	---																																																								
退院支援加算1(新)	1,879	---	---	---	---	---																																																								
入退院支援加算1※	---	4,816	3,987	5,403	6,008	3,090																																																								
退院時リハビリテーション指導料	705	530	1,113	3,529	2,957	1,457																																																								
計	2,584	5,346	5,100	8,932	8,965	4,547																																																								
				総合	<p>リハビリテーション活動及び訪問看護を通じて、患者の社会復帰を支援している。また、在宅においてより的確な支援を行うため、訪問看護の充実を図り、看護師に加えて精神保健福祉士や作業療法士などを含めた複数訪問の積極的な実施に努めている。</p> <p>リハビリテーション活動実施件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精神科作業療法</td> <td>5,992</td> <td>5,494</td> <td>4,483</td> <td>5,427</td> <td>4,561</td> <td>2,151</td> </tr> <tr> <td>デイケア</td> <td>5,955</td> <td>6,023</td> <td>4,462</td> <td>2,653</td> <td>1,388</td> <td>650</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,947</td> <td>11,517</td> <td>8,945</td> <td>8,080</td> <td>5,949</td> <td>2,801</td> </tr> </tbody> </table> <p>訪問看護実施件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問看護実施件数</td> <td>4,068</td> <td>3,996</td> <td>3,704</td> <td>3,841</td> <td>3,643</td> <td>1,823</td> </tr> <tr> <td>(うち複数訪問)</td> <td>76</td> <td>31</td> <td>38</td> <td>46</td> <td>37</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	精神科作業療法	5,992	5,494	4,483	5,427	4,561	2,151	デイケア	5,955	6,023	4,462	2,653	1,388	650	計	11,947	11,517	8,945	8,080	5,949	2,801	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	訪問看護実施件数	4,068	3,996	3,704	3,841	3,643	1,823	(うち複数訪問)	76	31	38	46	37	36	<p>令和4年度も、感染対策のため入院患者と外部の者との接触を控えているため、入院患者に対する病棟外作業療法は参加人数を絞ったうえでリモートで行う等工夫しながら実施している。外来のデイケア活動は、6月から昼食を跨がないショートケアのみを再開しているが、最大10人までに絞っての開催ということもあって、患者数が伸び悩んでいる。</p>							
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																								
精神科作業療法	5,992	5,494	4,483	5,427	4,561	2,151																																																								
デイケア	5,955	6,023	4,462	2,653	1,388	650																																																								
計	11,947	11,517	8,945	8,080	5,949	2,801																																																								
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																								
訪問看護実施件数	4,068	3,996	3,704	3,841	3,643	1,823																																																								
(うち複数訪問)	76	31	38	46	37	36																																																								
				言語聴覚	<p>リハ実施実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4月目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法</td> <td>18,344</td> <td>17,309</td> <td>22,829</td> <td>22,985</td> <td>24,083</td> <td>11,775</td> <td>13,000</td> </tr> <tr> <td>作業療法</td> <td>6,656</td> <td>6,039</td> <td>4,546</td> <td>3,513</td> <td>7,734</td> <td>5,889</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚療法</td> <td>7,206</td> <td>7,901</td> <td>9,744</td> <td>10,162</td> <td>10,045</td> <td>4,595</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>32,206</td> <td>31,249</td> <td>37,119</td> <td>36,660</td> <td>42,522</td> <td>22,359</td> <td>---</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4月目標	理学療法	18,344	17,309	22,829	22,985	24,083	11,775	13,000	作業療法	6,656	6,039	4,546	3,513	7,734	5,889	---	言語聴覚療法	7,206	7,901	9,744	10,162	10,045	4,595	---	計	32,206	31,249	37,119	36,660	42,522	22,359	---	<p>令和4年度リハ実施件数は、過去実績を大きく上回った前年度実績と同水準で推移している。特に作業療法は、令和4年9月末時点で、前年度実績の75%の件数となっている。今後もさらなる質の向上を図っていく。</p>																
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4月目標																																																							
理学療法	18,344	17,309	22,829	22,985	24,083	11,775	13,000																																																							
作業療法	6,656	6,039	4,546	3,513	7,734	5,889	---																																																							
言語聴覚療法	7,206	7,901	9,744	10,162	10,045	4,595	---																																																							
計	32,206	31,249	37,119	36,660	42,522	22,359	---																																																							

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																																										
						説明																																																																																																										
	オ 遺伝子解析・診断を活用した疾患の予防、治療及び相談支援に取り組む。	オ 遺伝子解析・診断を活用した疾患の予防、治療及び相談支援に取り組む。	19	・遺伝子診療に関して、体制の整備・充実を図る。	<p>業務の実績(令4)</p> <table border="1"> <tr><td colspan="7">遺伝診療科受診者数 (単位:人)</td></tr> <tr><td>区 分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>受診者数</td><td>86</td><td>101</td><td>146</td><td>227</td><td>233</td><td>136</td></tr> </table> <p>【備考】エキスパートパネル実施件数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>受診者数</td><td>38</td><td>46</td><td>23</td></tr> </table> <p>【備考】遺伝カウンセリング件数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>受診者数</td><td>227</td><td>233</td><td>136</td></tr> </table>	遺伝診療科受診者数 (単位:人)							区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	受診者数	86	101	146	227	233	136	区 分	29年度	30年度	4年度9月末	受診者数	38	46	23	区 分	29年度	30年度	4年度9月末	受診者数	227	233	136	A	臨床遺伝専門医、認定遺伝カウンセラーを始めとする遺伝分野の専門スタッフを配置したゲノム医療センターでは、令和3年度には臨床遺伝専門医を1名増員するなど体制を強化し、がんゲノム関連検査、遺伝性腫瘍症候群、遺伝性疾患等の診療を行っている。 遺伝診療に関する診療は増加傾向にあり、令和4年度の受診者数は、令和3年度実績を上回る見込み。また、エキスパートパネルや遺伝カウンセリングの件数についても増加している。特に静岡がんセンターの連携病院(中部地区で唯一の施設)として令和2年度から実施しているエキスパートパネルの件数は、増加している。																																																																				
遺伝診療科受診者数 (単位:人)																																																																																																																
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																										
受診者数	86	101	146	227	233	136																																																																																																										
区 分	29年度	30年度	4年度9月末																																																																																																													
受診者数	38	46	23																																																																																																													
区 分	29年度	30年度	4年度9月末																																																																																																													
受診者数	227	233	136																																																																																																													
	カ 認知症については、鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、専門医療相談等の実施に取り組む。発達障害については、早期療育につながる鑑別診断や治療を実施する。また、地域の保健福祉関係者への助言等の医学的支援や、医療従事者や教育関係者に対する研修の実施に取り組む。	カ 認知症については、鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、専門医療相談等の実施に取り組む。発達障害については、早期療育につながる鑑別診断や治療を実施する。これらを含む多様な精神疾患や身体合併症など精神科医療に対する要望を受け、総合的に必要な医療を受けられる体制の検討を行うとともに、整備を進める。	20 ～ 22	<p>【総】・こころの医療センター、こども病院と連携し、精神科身体合併症病棟を設置する。 ・鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、認知症ケアチームの介入、専門医療相談等を推進する。 ・精神科リエンチームの運営を開始し、精神科外来の業務を確立する。 【心】・症状が重篤な認知症患者を受入れるための、精神科救急・急性期医療体制を確保する。 【心】・老年期特有の専門外来(老年期こころと物忘れ外来)により専門的な医療相談を実施する。 【子】・発達障害については、従来からの新生児退院診察や、新生児包括外来における低体重出生児の発達フォローを継続し、保護者向けのペアレントトレーニングについても継続して取り組む。</p>	<p>脳FDG-PET (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>実施件数</td><td>147</td><td>161</td><td>160</td><td>128</td><td>142</td><td>75</td></tr> </table> <p>認知症ケア及び精神科リエンチームに係る加算 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>認知症ケア</td><td>10,494</td><td>8,306</td><td>7,163</td><td>6,202</td><td>5,246</td><td>2,733</td></tr> <tr><td>精神科リエンチーム</td><td>-</td><td>-</td><td>1,743</td><td>2,316</td><td>1,671</td><td>300</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>8,906</td><td>8,518</td><td>6,917</td><td>3,033</td></tr> </table> <p>認知症入院患者件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>認知症入院患者</td><td>11</td><td>9</td><td>6</td><td>6</td><td>12</td><td>8</td></tr> </table> <p>老年期こころと物忘れ外来実施件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>老年期こころと物忘れ外来実施件数</td><td>441</td><td>483</td><td>387</td><td>330</td><td>340</td><td>197</td></tr> </table> <p>発達障害児を持つ保護者を対象に、医師や保育士を中心にペアレント・トレーニングを例年行っているが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で実施していない。中期計画期間中、新生児退院診察を実施している。また、新生児包括外来における低出生体重児の発達フォローを隔週1回実施している。</p> <p>発達小児科外来患者数等 (単位:人、件数)</p> <table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>発達小児科外来延患者数</td><td>3,871</td><td>4,014</td><td>4,233</td><td>4,272</td><td>4,439</td><td>2,007</td></tr> <tr><td>ペアレントトレーニング等件数</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>新生児包括外来実績 (単位:件数)</p> <table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>低出生体重児への発達フォロー件数</td><td>170</td><td>207</td><td>207</td><td>175</td><td>184</td><td>90</td></tr> </table>	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	実施件数	147	161	160	128	142	75	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	認知症ケア	10,494	8,306	7,163	6,202	5,246	2,733	精神科リエンチーム	-	-	1,743	2,316	1,671	300				8,906	8,518	6,917	3,033	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	認知症入院患者	11	9	6	6	12	8	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	老年期こころと物忘れ外来実施件数	441	483	387	330	340	197	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	発達小児科外来延患者数	3,871	4,014	4,233	4,272	4,439	2,007	ペアレントトレーニング等件数	10	10	10	0	0	0	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	低出生体重児への発達フォロー件数	170	207	207	175	184	90	A	令和4年度は、精神科病棟の整備に関する基本設計・実施設計に基づいて、改修工事を実施している。 脳疾患(てんかん、認知症)及び脳腫瘍の診断等に用いる脳FDG-PETの実施件数は年間150件程度であるが、令和4年度は令和2年度・令和3年度の減少分が戻ってきている。 認知症ケア加算と精神科リエンチーム加算の算定件数の計については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、令和4年度も引き続き精神科リエンチーム加算を中心にやや減少が続く見込みである。
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																										
実施件数	147	161	160	128	142	75																																																																																																										
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																										
認知症ケア	10,494	8,306	7,163	6,202	5,246	2,733																																																																																																										
精神科リエンチーム	-	-	1,743	2,316	1,671	300																																																																																																										
			8,906	8,518	6,917	3,033																																																																																																										
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																										
認知症入院患者	11	9	6	6	12	8																																																																																																										
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																										
老年期こころと物忘れ外来実施件数	441	483	387	330	340	197																																																																																																										
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																										
発達小児科外来延患者数	3,871	4,014	4,233	4,272	4,439	2,007																																																																																																										
ペアレントトレーニング等件数	10	10	10	0	0	0																																																																																																										
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																										
低出生体重児への発達フォロー件数	170	207	207	175	184	90																																																																																																										
							A	令和4年度のこころと物忘れ外来の件数は9月末現在で197件である。また、認知症を主たる要因として入院となった患者数は8人であった。																																																																																																								
							A	発達小児科による家族へのペアレントトレーニングは、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかったが、外来延患者数は例年と同水準で推移している。発達障害へのニーズの高まりに対し、現行体制で可能な限りの取組を行っている。 また、新生児科では、新生児包括外来における低出生体重児への発達フォローを実施しており、例年と同水準で推移している。																																																																																																								

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																					
						説明																																																																					
	キ 移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題については、県と連携して取り組む。	キ 移行期医療支援センターの運用などによる移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題については、県と連携して取り組む。	23	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスなどの感染症について、県と連携、協力して拡大防止に対応できる体制を整備する。 ・機構内各病院や他医療機関、県などと連携して移行期医療及び成人期医療を提供する。 ・【ここ】総合病院、こども病院と連携した県立3病院の精神科医療体制構築を進める。 ・【子】県担当課と協議しつつ、受託した移行期医療支援センターの運営を行い、業務内容の充実を図る。 	<p>移行期医療件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども一総合</td> <td>650</td> <td>610</td> <td>666</td> <td>995</td> <td>1,367</td> <td>612</td> </tr> <tr> <td>こども一ここ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>関連するカンファレンス等の開催実績 (単位: 回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども・こども精神科医師合同カンファレンスの開催実績</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>移行期医療センターに関する県との打合せ実施回数</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医療的ケア児のレスパイト対応に関する打合せ実施回数</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>—※</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 令和2年度に短期入所事業者の指定を受け、令和4年度より入所している。こども；移行期医療推進協議会の開催(令和4年4月開催) ・年度内を目標に医療機関連携マップを作成することを確認した。</p> <p>移行期医療センターに関する委員会等の実施回数 (単位: 件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移行期医療センターに関する委員会等の実施回数</td> <td>-</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	こども一総合	650	610	666	995	1,367	612	こども一ここ	-	-	19	18	15	14	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	こども・こども精神科医師合同カンファレンスの開催実績	-	2	5	0	0	0	移行期医療センターに関する県との打合せ実施回数	-	1	6	4	3	1	医療的ケア児のレスパイト対応に関する打合せ実施回数	-	5	3	6	6	—※	区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	移行期医療センターに関する委員会等の実施回数	-	11	18	3	A	<p>新型コロナウイルス感染症への対応については、総合病院及びこども病院が県から重点医療機関に指定されており、各病院において患者受入体制を整備し、県と調整のうえ患者の受入を行ってきた。</p> <p>移行期医療への対応については、機構内における医療情報システム(電子カルテシステム)の統合を予定している。これにより、患者情報の病院間の相互参照が可能となり、医療サービスの向上が期待される。</p> <p>(総合) 令和2年2月に開設した成人先天性心疾患科では、こども病院循環器科との連携により、先天性心疾患や遺伝性心疾患を持つ患者を対象に診察を行っている。</p> <p>(こども) この医療センターとこども病院の精神科医師が定期的に合同症例検討会については、感染対策の面から個別のカンファレンスを控えていることもあって令和4年度においても未だ開催が見送られているが、必要に応じて患者や症例の相談を電話により行っている。</p> <p>令和4年度において開催されている「県立病院機構精神科あり方ワーキンググループ」において検討されている県立3病院の精神科医療のあり方を踏まえ、時代のニーズに応えた医療提供体制の整備に取り組んで行く。</p> <p>(こども) 県から移行期医療支援センター運営事業を受託し、県と連携して移行期医療支援体制の推進に取り組んでいる。</p> <p>令和4年4月に移行期医療推進協議会を開催し、年度内を目標に医療機関連携マップを作成することを確認した。また、こども病院として、患者の自立を促すための診療科ごとの支援プログラムの作成や静岡市医師会と重症心身障がい児の移行のためのカンファレンスを行っている。</p> <p>在宅移行の推進や在宅移行後の医療的ケア児への対応について、令和2年度に指定障害福祉サービスによる、短期入所事業者の指定を受け、令和4年度は9月末時点で3人(延人数)の利用があった。今後も、受入れ体制の整備を図っていく。</p> <p>加えて、引き続き関係福祉機関、教育機関等における講習や会議への医師や看護師の出席等を行っていく。</p>									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																					
こども一総合	650	610	666	995	1,367	612																																																																					
こども一ここ	-	-	19	18	15	14																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																					
こども・こども精神科医師合同カンファレンスの開催実績	-	2	5	0	0	0																																																																					
移行期医療センターに関する県との打合せ実施回数	-	1	6	4	3	1																																																																					
医療的ケア児のレスパイト対応に関する打合せ実施回数	-	5	3	6	6	—※																																																																					
区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																							
移行期医療センターに関する委員会等の実施回数	-	11	18	3																																																																							
	ク 高度・専門・特殊医療を県民に提供する第一級の病院であり続けるために、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術・放射線治療等の拡充など、高度な治療への対応の強化や適切な治療の提供に取り組む。また、医療を取り巻く環境変化に応じて、先進的な施設や設備等の充実に努める。	ク 高度・専門・特殊医療を県民に提供する第一級の病院であり続けるために、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術・放射線治療等の拡充など、高度な治療への対応の強化や適切な治療の提供に取り組む。質の高い医療の提供と効率的な病院運営を目指すため、3病院の医療情報システム統合をはじめとした医療情報の共有化に取り組む。	24	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画に記載した施設及び機器等の整備を計画的に実施する。 ・3病院の医療情報システム統合を実施し、セキュリティを強化した上で、地域医療連携などICTを利用したサービスの向上を目指す。 	<p>施設及び機器等の整備状況 (単位: 台)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">施設整備</th> <th colspan="4">器械備品等</th> </tr> <tr> <th>第2期累計(実績)</th> <th>元年度(実績)</th> <th>2年度(実績)</th> <th>3年度(実績)</th> <th>第3期累計(実績)</th> <th>第2期累計(実績)</th> <th>元年度(実績)</th> <th>2年度(実績)</th> <th>3年度(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>16,132</td> <td>1,091</td> <td>1,472</td> <td>1,906</td> <td>137</td> <td>4,566</td> <td>706</td> <td>894</td> <td>708</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>992</td> <td>139</td> <td>246</td> <td>5</td> <td>390</td> <td>169</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>こども各</td> <td>1,764</td> <td>148</td> <td>829</td> <td>190</td> <td>2,119</td> <td>1,834</td> <td>308</td> <td>747</td> <td>567</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>78</td> <td>395</td> <td>7</td> <td>80</td> <td>0</td> <td>44</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18,887</td> <td>1,379</td> <td>2,626</td> <td>2,496</td> <td>146</td> <td>6,606</td> <td>8,791</td> <td>1,045</td> <td>1,283</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療情報システム統合の実施状況 令和3年7月にこどもの医療センターにサーバー機が完成した。 ・質の高い医療の提供と効率的な病院運営を目指すため、3病院の医療情報システムを統合し、医療情報の共有化を進めている。</p>	区分	施設整備				器械備品等				第2期累計(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	第3期累計(実績)	第2期累計(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	総合	16,132	1,091	1,472	1,906	137	4,566	706	894	708	こども	992	139	246	5	390	169	31	31	8	こども各	1,764	148	829	190	2,119	1,834	308	747	567	本部	0	0	78	395	7	80	0	44	0	合計	18,887	1,379	2,626	2,496	146	6,606	8,791	1,045	1,283	A	<p>令和4年度の減価償却費は36.8億円を見込む(前年度比+0.9億円)。</p> <p>質の高い医療の提供と効率的な病院運営を目指すため、3病院の医療情報システムの統合を進めており、令和5年度の稼働を見込んでいることなどから、令和5年度以降は更に減価償却費が増加する見込みである。引き続き経営状況を見ながら適切に投資判断を行っている。</p> <p>令和3年にこどもの医療センターにサーバー機が完成しており、質の高い医療の提供と効率的な病院運営を目指すため、3病院の医療情報システムを統合し、医療情報の共有化を進めている。</p> <p>総合病院では、北館1階へ移設した高度救命救急センターの跡地(循環器病センター1階)に中央処置室をリニューアル整備し、令和3年7月から運用している。</p> <p>こどもの医療センターでは、外来患者の利便性の向上のため、机を購入して外来受付を拡張した。</p> <p>こども病院では、昇降機改修工事(令和3年11月～令和5年11月)を執行中で、令和4年9月末現在、H棟1号機、2号機の改修工事が完了し、J棟3号機、4号機を施工中である。</p>
区分	施設整備				器械備品等																																																																						
	第2期累計(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	第3期累計(実績)	第2期累計(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)																																																																		
総合	16,132	1,091	1,472	1,906	137	4,566	706	894	708																																																																		
こども	992	139	246	5	390	169	31	31	8																																																																		
こども各	1,764	148	829	190	2,119	1,834	308	747	567																																																																		
本部	0	0	78	395	7	80	0	44	0																																																																		
合計	18,887	1,379	2,626	2,496	146	6,606	8,791	1,045	1,283																																																																		

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																																																			
							説明																																																																																																																		
	ケ 各県立病院は、質の高い医療を継続的に提供するため、次のとおり重点的に取り組む。	ケ 各県立病院は医療の提供に当たり、次のとおり重点的に取り組む。	-	-	-	-	-																																																																																																																		
	県立総合病院	県立総合病院診療事業 県内医療機関の中核的病院として、各疾患に対する総合的な医療をはじめ、3大疾患(心疾患、脳血管疾患、がん疾患)に対する高度・専門医療や救急・急性期医療等を提供する。 各診療事業を推進するため、医師・看護師確保に取り組む。 県民に提供する医療 <業務予定量> 病床数 712床 一般病床 662床 結核病床 50床 外来患者 454,534人 入院患者 224,978人	25		総合 入院・外来患者数 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>232,585</td> <td>233,305</td> <td>225,595</td> <td>203,298</td> <td>207,398</td> <td>100,815</td> <td>224,978</td> </tr> <tr> <td>(うち継続病床)</td> <td>6,580</td> <td>6,406</td> <td>4,967</td> <td>5,223</td> <td>4,918</td> <td>1,880</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>430,118</td> <td>436,699</td> <td>448,945</td> <td>425,092</td> <td>455,056</td> <td>230,344</td> <td>454,534</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院患者数	232,585	233,305	225,595	203,298	207,398	100,815	224,978	(うち継続病床)	6,580	6,406	4,967	5,223	4,918	1,880	-	外来患者数	430,118	436,699	448,945	425,092	455,056	230,344	454,534	B	入院患者数については、新型コロナウイルス感染症・VRE病原菌棟(6F)の影響により、目標値を下回った。 一方、外来患者数については、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響のない令和元年度実績を超え過去最高になる見込みで増加している。																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																		
入院患者数	232,585	233,305	225,595	203,298	207,398	100,815	224,978																																																																																																																		
(うち継続病床)	6,580	6,406	4,967	5,223	4,918	1,880	-																																																																																																																		
外来患者数	430,118	436,699	448,945	425,092	455,056	230,344	454,534																																																																																																																		
	・急性心筋梗塞、脳卒中等の循環器疾患において、常時高度な専門的治療を提供する。加えて、生活習慣病としての危険因子を管理するため、地域の医療機関との連携を強化する。	○循環器疾患患者に対して循環器病センター機能を活かした常時高度な専門的治療を提供する体制の充実 ①重症心不全疾患の患者に対して冠動脈疾患集中治療室(CCU/ICU)機能を最大限に活かした高度な専門的治療の提供 ②急性心筋梗塞、脳卒中発症患者に対応する常時救急受入体制の強化 ③循環器関連診療科の有機的な連携によるチーム医療の推進 ④ハイブリッド手術室の使用による経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)、ステントグラフト内挿術、経皮的僧帽弁接合不全修復術(Mitra Clip)等の低侵襲かつ高度な手術の実施	26	①冠動脈疾患集中治療室(CCU/ICU)を中心に常時対応できる体制を構築し、高度専門診療を提供する。	総合 CCU/ICUは平成30年9月より14床で運用している。 CCU/ICU稼働率 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>113.1</td> <td>119.1</td> <td>100.3</td> <td>88.6</td> <td>95.7</td> <td>88.6</td> </tr> <tr> <td>入室患者数(人)</td> <td>780</td> <td>771</td> <td>866</td> <td>802</td> <td>925</td> <td>413</td> </tr> <tr> <td>1日平均(人)</td> <td>13.6</td> <td>14.3</td> <td>14.0</td> <td>12.4</td> <td>13.4</td> <td>12.4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	稼働率(%)	113.1	119.1	100.3	88.6	95.7	88.6	入室患者数(人)	780	771	866	802	925	413	1日平均(人)	13.6	14.3	14.0	12.4	13.4	12.4	A	ICU/CCUの稼働率及び1日平均入室患者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に稼働の制限を行っており、令和3年度を下回る患者数となっている。 今後、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、稼働率の向上及び特定集中治療室管理料の算定率向上に努める。																																																																																						
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																			
稼働率(%)	113.1	119.1	100.3	88.6	95.7	88.6																																																																																																																			
入室患者数(人)	780	771	866	802	925	413																																																																																																																			
1日平均(人)	13.6	14.3	14.0	12.4	13.4	12.4																																																																																																																			
			27	②脳卒中発症患者に対する急性期医療の提供体制を整備するとともに、在宅医療への情報提供等、在宅復帰に向けた取り組みを推進する。	総合 脳卒中地域連携クリニックバス適用患者数 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働件数</td> <td>42</td> <td>62</td> <td>83</td> <td>102</td> <td>92</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> 超急性期脳卒中加算 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算定件数</td> <td>27</td> <td>16</td> <td>35</td> <td>28</td> <td>32</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	稼働件数	42	62	83	102	92	30	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	算定件数	27	16	35	28	32	12	A	脳卒中地域連携クリニックバス適用患者数について、令和4年度は令和3年度実績をやや下回る結果となった。引き続き、地域の医療機関等との連携により、バスの適用を推進し、円滑な運用に努める。 今後、MRI、CT、血管造影の3種類のハイブリッド手術室を最大限に活用し、脳卒中発症患者に対して高度な専門的治療を提供する。																																																																																						
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																			
稼働件数	42	62	83	102	92	30																																																																																																																			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																			
算定件数	27	16	35	28	32	12																																																																																																																			
			28	③生活習慣病を心血管疾患の発症危険因子としてとらえ、循環器内科、神経内科、腎臓内科、心臓血管外科等が有機的に連携して、チーム医療の推進を図る。	総合 糖尿病透析予防指導管理料 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算定件数</td> <td>75</td> <td>145</td> <td>285</td> <td>123</td> <td>67</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> 腎代替療法指導管理料 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>211</td> <td>97</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	算定件数	75	145	285	123	67	12	区分	3年度	4年度9月末		211	97	A	糖尿病透析予防指導管理料は糖尿病・内分泌内科外来、そらまめ外来、透析室における指導により算定する。 令和4年度の算定件数は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、人員配置の変更、診療報酬改定で新設された腎代替療法指導管理料と対象患者の重複により、令和2年度実績を下回り、腎代替療法指導管理料の算定件数は97件であり、合算した算定件数は令和3年度を上回っている。																																																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																			
算定件数	75	145	285	123	67	12																																																																																																																			
区分	3年度	4年度9月末																																																																																																																							
	211	97																																																																																																																							
			29	④ハイブリッド手術室を運用する体制を整備し、高度専門医療を提供する。	総合 ハイブリッド手術室稼働状況 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハイブリッド手術室使用件数</td> <td>479</td> <td>706</td> <td>486</td> <td>484</td> <td>512</td> <td>255</td> <td>400以上</td> </tr> <tr> <td>TAVI実施件数 ※上記の内数</td> <td>67</td> <td>74</td> <td>67</td> <td>65</td> <td>105</td> <td>48</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ステントグラフト挿入術 ※上記の内数</td> <td>91</td> <td>91</td> <td>125</td> <td>76</td> <td>99</td> <td>60</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Mitra Clip件数 ※上記の内数</td> <td>-</td> <td>12</td> <td>24</td> <td>14</td> <td>21</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> 参考 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCI</td> <td>447</td> <td>450</td> <td>368</td> <td>363</td> <td>349</td> <td>176</td> </tr> <tr> <td>アブレーション</td> <td>256</td> <td>253</td> <td>284</td> <td>267</td> <td>305</td> <td>132</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	ハイブリッド手術室使用件数	479	706	486	484	512	255	400以上	TAVI実施件数 ※上記の内数	67	74	67	65	105	48	-	ステントグラフト挿入術 ※上記の内数	91	91	125	76	99	60	-	Mitra Clip件数 ※上記の内数	-	12	24	14	21	1	-	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	PCI	447	450	368	363	349	176	アブレーション	256	253	284	267	305	132	A	MRIハイブリッド手術室は、手術室にMRI検査室を併設しており、主に脳神経外科の脳腫瘍切除術に使用される。CTハイブリッド手術室は、手術室にCT検査装置を併設しており、主に脳神経外科の脳血管障害や脳腫瘍の手術に使用される。血管造影ハイブリッド手術室は、手術室にX線血管造影装置を併設しており、主に心臓血管外科、循環器内科のTAVI、ステントグラフト内挿術、MitraClip等の手術に使用される。 ハイブリッド手術室の稼働状況は、毎年下半期における循環器疾患及び脳疾患症例数の増加に比例して稼働率が上昇する傾向にある。 令和4年度の稼働状況については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、TAVI、ステントグラフト挿入術、MitraClipの実施件数は令和3年度実績と同程度を維持している。																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																		
ハイブリッド手術室使用件数	479	706	486	484	512	255	400以上																																																																																																																		
TAVI実施件数 ※上記の内数	67	74	67	65	105	48	-																																																																																																																		
ステントグラフト挿入術 ※上記の内数	91	91	125	76	99	60	-																																																																																																																		
Mitra Clip件数 ※上記の内数	-	12	24	14	21	1	-																																																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																			
PCI	447	450	368	363	349	176																																																																																																																			
アブレーション	256	253	284	267	305	132																																																																																																																			
	・がん患者に対し、地域がん診療連携拠点病院として、最新・最良の診断、ロボット支援手術などの先進的手術及び化学療法、放射線治療を組み合わせた高度な集学的治療や予防医療を提供する体制を整備し、地域の医療機関等と連携した緩和ケアや終末期医療を提供していく。	○がん疾患患者に対して地域がん診療連携拠点病院(高度型)としての高度な集学的治療を提供する体制の充実及び地域の医療機関等と連携した緩和ケアや終末期医療の提供 ①先端医療棟の設備・機能を最大限に活用し、手術、放射線治療、化学療法に係るがん診療体制の充実 ②地域の医療機関等との連携による緩和ケアや終末期ケアの推進 ③がん相談及び情報提供機能の強化 ④ロボット支援手術の活用	30	①がん患者が速やかに検査や治療を受けられる体制を構築し、手術件数の増加に努める。	総合 がん手術件数 (単位:件、%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>1,852</td> <td>1,840</td> <td>366</td> <td>351</td> <td>351</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>687</td> <td>696</td> <td>759</td> <td>776</td> <td>776</td> <td>334</td> </tr> <tr> <td>肝がん</td> <td>115</td> <td>366</td> <td>260</td> <td>328</td> <td>255</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>胆がん</td> <td>149</td> <td>134</td> <td>194</td> <td>213</td> <td>180</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>332</td> <td>449</td> <td>511</td> <td>440</td> <td>454</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,210</td> <td>1,241</td> <td>1,549</td> <td>1,355</td> <td>1,630</td> <td>638</td> </tr> <tr> <td>がん手術合計</td> <td>3,276</td> <td>3,217</td> <td>3,576</td> <td>3,446</td> <td>3,646</td> <td>1,630</td> </tr> <tr> <td>手術全体</td> <td>8,496</td> <td>8,651</td> <td>9,225</td> <td>8,513</td> <td>8,798</td> <td>4,136</td> </tr> <tr> <td>がん手術割合</td> <td>37.1</td> <td>37.2</td> <td>38.8</td> <td>40.5</td> <td>41.4</td> <td>39.4</td> </tr> </tbody> </table> ※がん手術割合は、患者が複数手術をした場合は、それぞれ計上※がん手術合計、手術全体は複数手術をした場合は、主たる手術に計上 内臓臓器検査・処置 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>上部消化管検査</th> <th>下部消化管検査</th> <th>ERCP検査</th> <th>気管支鏡検査</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>元年度</td> <td>10,489</td> <td>3,813</td> <td>445</td> <td>389</td> <td>56</td> <td>14,192</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>9,817</td> <td>2,771</td> <td>404</td> <td>291</td> <td>38</td> <td>13,321</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>10,540</td> <td>2,749</td> <td>420</td> <td>350</td> <td>54</td> <td>14,113</td> </tr> </tbody> </table> 放射線治療 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>15,795</td> <td>15,772</td> <td>1,100</td> <td>1,104</td> <td>1,257</td> <td>556</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table> ※令和元年度より放射線治療管理料算定件数とする。	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	胃がん	1,852	1,840	366	351	351	260	肺がん	687	696	759	776	776	334	肝がん	115	366	260	328	255	120	胆がん	149	134	194	213	180	79	乳がん	332	449	511	440	454	199	その他	1,210	1,241	1,549	1,355	1,630	638	がん手術合計	3,276	3,217	3,576	3,446	3,646	1,630	手術全体	8,496	8,651	9,225	8,513	8,798	4,136	がん手術割合	37.1	37.2	38.8	40.5	41.4	39.4	年度	上部消化管検査	下部消化管検査	ERCP検査	気管支鏡検査	その他	合計	元年度	10,489	3,813	445	389	56	14,192	2年度	9,817	2,771	404	291	38	13,321	3年度	10,540	2,749	420	350	54	14,113	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	件数	15,795	15,772	1,100	1,104	1,257	556	1,000	A	がん手術件数については、他施設での対応が困難な難症例の受入も行っており、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けやや減少している。 放射線治療件数については、リアニックを3台体制による高度変調放射線治療(IMRT)を始めとする高精度な治療を実施しているものの、令和4年度は令和3年度実績と同程度を維持し、目標値については達成可能となる見込みである。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																			
胃がん	1,852	1,840	366	351	351	260																																																																																																																			
肺がん	687	696	759	776	776	334																																																																																																																			
肝がん	115	366	260	328	255	120																																																																																																																			
胆がん	149	134	194	213	180	79																																																																																																																			
乳がん	332	449	511	440	454	199																																																																																																																			
その他	1,210	1,241	1,549	1,355	1,630	638																																																																																																																			
がん手術合計	3,276	3,217	3,576	3,446	3,646	1,630																																																																																																																			
手術全体	8,496	8,651	9,225	8,513	8,798	4,136																																																																																																																			
がん手術割合	37.1	37.2	38.8	40.5	41.4	39.4																																																																																																																			
年度	上部消化管検査	下部消化管検査	ERCP検査	気管支鏡検査	その他	合計																																																																																																																			
元年度	10,489	3,813	445	389	56	14,192																																																																																																																			
2年度	9,817	2,771	404	291	38	13,321																																																																																																																			
3年度	10,540	2,749	420	350	54	14,113																																																																																																																			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																		
件数	15,795	15,772	1,100	1,104	1,257	556	1,000																																																																																																																		

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																														
						説明																																																																														
			31	①外来化学療法センターの環境整備を行い、化学療法の充実を図る。	<p>外来化学療法加算 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>11,680</td> <td>12,159</td> <td>12,707</td> <td>12,660</td> <td>12,812</td> <td>6,826</td> <td>12,000以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	件数	11,680	12,159	12,707	12,660	12,812	6,826	12,000以上	S	<p>外来化学療法については、外来化学療法センターの移転リニューアルや前日採血の運用を導入するなど、患者の療養環境や利便性が大幅に向上し、令和4年度の外来化学療法加算算定件数は13,000件を上回る見込みとなり、過去最多の実施件数になる見込みである。</p> <p>また、がん薬物療法(抗がん剤治療)による脱毛抑制のための頭部冷却装置(PAXMAN)を導入し乳がん患者を対象に治療を開始している。乳がんを含む固形癌に対する薬物療法を受ける患者の、治療中及び治療後の脱毛抑制が期待でき、患者サービスの向上、及び対象患者のQOLの向上が図られる。</p>																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																													
件数	11,680	12,159	12,707	12,660	12,812	6,826	12,000以上																																																																													
			32	②地域の医療機関等と連携し、緩和ケアや終末期ケアを推進する。	<p>緩和ケアチーム介入症例数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>症例数</td> <td>389</td> <td>418</td> <td>527</td> <td>482</td> <td>548</td> <td>211</td> </tr> </tbody> </table> <p>緩和ケア診療加算算定件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>—</td> <td>812</td> <td>5249</td> <td>4,417</td> <td>5,308</td> <td>2,494</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	症例数	389	418	527	482	548	211	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	—	812	5249	4,417	5,308	2,494	A	<p>緩和ケアチームは、緩和医療科医師2名、精神科医師2名、がんに関連する専門・認定看護師等で構成され、院内のがん患者に対して適切な緩和医療を提供する他、地域の医療機関等との定期的なカンファレンスを通じて連携強化に取り組んでいる。</p> <p>また、がん患者等の社会復帰を支援するため、院内にハローワーク、産業保健総合支援センターとの連携による就労支援出張相談窓口を設置し、通院中又は入院中の患者に対して専門スタッフによる無料の就労相談を行っている。</p>																																																	
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																														
症例数	389	418	527	482	548	211																																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																														
件数	—	812	5249	4,417	5,308	2,494																																																																														
			33	③がん相談支援センターの機能を増強し、がんに関する相談支援、情報の提供に努める。	<p>がん相談件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談</td> <td>5,896</td> <td>4,374</td> <td>4,742</td> <td>4,458</td> <td>3,493</td> <td>1,318</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	がん相談	5,896	4,374	4,742	4,458	3,493	1,318	A	<p>がん相談支援センターにおいて、がんに関連する専門・認定看護師を中心に対面及び電話による相談を実施している。</p> <p>がん相談件数については、令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での相談件数が減少傾向であったため、令和3年度実績を下回った。</p>																																																															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																														
がん相談	5,896	4,374	4,742	4,458	3,493	1,318																																																																														
			34	④手術支援ロボットを増設するなど、高度・先進医療に対応できる手術体制の充実を図り、質の高い医療の提供を行う。	<p>ダ・ヴィンチ使用手術件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>泌尿器科</td> <td>122</td> <td>112</td> <td>104</td> <td>135</td> <td>132</td> <td>61</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>婦人科</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>25</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>9</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消化器外科</td> <td>30</td> <td>83</td> <td>70</td> <td>82</td> <td>92</td> <td>68</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>心臓血管外科</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>156</td> <td>213</td> <td>199</td> <td>243</td> <td>261</td> <td>144</td> <td>230以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>ダ・ヴィンチ使用術者数 (単位: 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>23</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	診療科	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	泌尿器科	122	112	104	135	132	61	—	婦人科	4	18	25	23	25	9	—	消化器外科	30	83	70	82	92	68	—	心臓血管外科	—	—	—	3	12	6	—	計	156	213	199	243	261	144	230以上	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	人数	7	11	12	16	23	18	S	<p>ロボット支援手術(ダ・ヴィンチ使用手術)は、患者にとっては低侵襲というメリットがあるが、経営面においては消耗品や機器の保守費用等を現在の診療報酬では賄うことができないという問題点があるため、手術部において適用症例を見極めたうえで実施している。</p> <p>ダ・ヴィンチ使用手術件数については、令和3年度は消化器外科及び心臓血管外科の手術件数が増加しており、目標値及び令和3年度実績を上回る見込みである。</p> <p>ロボット支援手術機器(ダ・ヴィンチ)の運用に当たっては、手術講師を東京大学医学部、東京医科大学等から招聘し、術者の指導に充て、常に高度医療技術の習得に努めている。</p> <p>令和4年度からはロボット手術運営部会を立ち上げ、より良いロボット支援手術の運営に努めているほか、総合病院の婦人科医師がロボット手術学会の学会会長を務めるなど、婦人科のロボット支援手術の普及、発展、医療の向上に貢献している。</p>															
診療科	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																													
泌尿器科	122	112	104	135	132	61	—																																																																													
婦人科	4	18	25	23	25	9	—																																																																													
消化器外科	30	83	70	82	92	68	—																																																																													
心臓血管外科	—	—	—	3	12	6	—																																																																													
計	156	213	199	243	261	144	230以上																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																														
人数	7	11	12	16	23	18																																																																														
	・認知症や精神科患者の身体合併症などに対応できる体制を整備する。	○認知症や精神科患者の身体合併症などに対応できる体制の整備	No.20		<p>こころの医療センターとの連携による常勤の精神科医師5名の着任により、精神科患者の身体合併症に対応する精神科リエゾンチームと認知症ケアチームが協働しながら治療を行っている。</p> <p>また、精神疾患と身体疾患を併せ持つ精神・身体合併症に対する医療ニーズを踏まえ、精神科病棟(精神科身体合併症病棟)の整備に向けて医療体制の構築と施設面での工事中・備品購入が始まっており、来年度の病棟開業を目指して準備を進めている。</p>	A	<p>令和4年度は、精神科病棟の整備に関しては、改修工事を実施中であり、来年度の開業を目指して準備を進めている。</p>																																																																													
	・先端医学棟に整備した各種ハイブリッド手術室や放射線治療室の運用により、適切な治療を提供していく。	○先端医学棟に整備した各種ハイブリッド手術室や放射線治療室の運用による適切な治療の提供	①No.29 ②No.30	先端医学棟の設備・機器を最大限に活用する	<p>手術件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td>9,115</td> <td>9,327</td> <td>9,814</td> <td>9,126</td> <td>9,396</td> <td>4,733</td> <td>9,400以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>HCU延患者数 (単位: 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>5,875</td> <td>6,872</td> <td>6,426</td> <td>5,569</td> <td>5,759</td> <td>2,724</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	手術件数	9,115	9,327	9,814	9,126	9,396	4,733	9,400以上	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	人数	5,875	6,872	6,426	5,569	5,759	2,724	A	<p>HCU延患者数については、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ、VREの発生等の影響もあり、令和3年度を下回る見込みである。一方、令和4年度の手術件数は令和3年度実績を上回っている。</p> <p>令和4年9月に総合病院先端医学棟で発生した火災により、病理学部の施設及び機器の一部が損傷し使用ができなくなった。このため、病理の迅速検査をこども病院に依頼、その他の検査は業者委託を行うことで通常診療に影響のないよう対応した。また、現場復旧についても、早急に完了するよう重点的に取り組んでいる。</p>																																															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																													
手術件数	9,115	9,327	9,814	9,126	9,396	4,733	9,400以上																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																														
人数	5,875	6,872	6,426	5,569	5,759	2,724																																																																														
	・高度救命救急センターとして一層の充実を図り、広範囲熱傷等の特殊疾患患者に対応していく。	○重篤な救急患者に対応する高度救命救急センターの運営	①高度救命救急センター運営に必要な専門スタッフの確保・育成 ②集中治療専門医の確保 ③救急搬送患者の受入体制の充実	①②医師の増員を図るとともに、働きやすさに配慮した変則勤務が可能な体制を維持する。	<p>医師の変則勤務状況 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>該当者(人)</td> <td>1,722</td> <td>1,717</td> <td>1,784</td> <td>1,893</td> <td>1,838</td> <td>1,902</td> </tr> <tr> <td>利用者(人)</td> <td>889</td> <td>906</td> <td>1,047</td> <td>1,224</td> <td>1,139</td> <td>1,266</td> </tr> <tr> <td>利用率(%)</td> <td>51.6</td> <td>56.3</td> <td>58.7</td> <td>64.7</td> <td>61.9</td> <td>66.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※該当者: 変則勤務を行うことが可能な延べ医師数 ※利用者: 変則勤務を行った延べ医師数</p>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	該当者(人)	1,722	1,717	1,784	1,893	1,838	1,902	利用者(人)	889	906	1,047	1,224	1,139	1,266	利用率(%)	51.6	56.3	58.7	64.7	61.9	66.6	A	<p>救急患者の円滑な受入体制を維持するため、各診療科の協力のもと、医師の変則勤務を進めている。令和4年度の利用率は66.6%となり、令和3年度実績からはやや増加している。</p>																																																	
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																														
該当者(人)	1,722	1,717	1,784	1,893	1,838	1,902																																																																														
利用者(人)	889	906	1,047	1,224	1,139	1,266																																																																														
利用率(%)	51.6	56.3	58.7	64.7	61.9	66.6																																																																														
			38	③救急車の受入を確実にできる診療体制を維持する。 ドクターカーの運用に関して、出動可能な市町の拡大に努める。	<p>救急科医師9名体制で稼働 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働日</td> <td>94.6</td> <td>97.1</td> <td>90.9</td> <td>87.7</td> <td>94.4</td> <td>94.5</td> </tr> <tr> <td>全日</td> <td>94.9</td> <td>97.4</td> <td>92.3</td> <td>92.5</td> <td>94.9</td> <td>94.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>特殊疾患患者受入数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>疾病名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重症熱傷</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>重症外傷</td> <td>55</td> <td>57</td> <td>39</td> <td>43</td> <td>35</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>急性心停止</td> <td>18</td> <td>30</td> <td>40</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>病院外心停止</td> <td>207</td> <td>186</td> <td>174</td> <td>201</td> <td>182</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>271</td> <td>297</td> <td>262</td> <td>290</td> <td>299</td> <td>207</td> </tr> </tbody> </table> <p>ドクターカー出動状況 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	稼働日	94.6	97.1	90.9	87.7	94.4	94.5	全日	94.9	97.4	92.3	92.5	94.9	94.5	疾病名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	重症熱傷	12	14	9	7	7	4	重症外傷	55	57	39	43	35	14	急性心停止	18	30	40	20	30	35	病院外心停止	207	186	174	201	182	84	計	271	297	262	290	299	207	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	10	12	12	8	11	3	A	<p>救急科医師数に変化はない、救急当直体制の見直しを行っているが、現在も医師数が充足しているとは言えない状況である。</p> <p>令和4年度の救急患者数及び救急車受入件数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、令和3年度実績を上回ると見込まれる。特殊疾患患者も積極的に受け入れ、高度救命救急センターとしての機能を果たしている。</p> <p>ドクターカーは事故による重症外傷や胸痛等の循環器疾患が疑われる病態に対して出動している。令和4年度の出動件数は、令和3年度実績を下回る見込みである。</p>
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																														
稼働日	94.6	97.1	90.9	87.7	94.4	94.5																																																																														
全日	94.9	97.4	92.3	92.5	94.9	94.5																																																																														
疾病名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																														
重症熱傷	12	14	9	7	7	4																																																																														
重症外傷	55	57	39	43	35	14																																																																														
急性心停止	18	30	40	20	30	35																																																																														
病院外心停止	207	186	174	201	182	84																																																																														
計	271	297	262	290	299	207																																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																														
件数	10	12	12	8	11	3																																																																														

【参考】救急患者数 令3：10,997人、令4：6,607人(9月末現在)

【参考】救急車受入件数 令3：5,524件、令4：3,472件(9月末現在)

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																									
						説明																																																									
	<p>・効率的な病院運営を図り、また、県民に安全で質の高い医療の提供を行うため、病床稼働率及び入院・外来患者満足度について各事業年度で高い水準を達成する。</p> <p>【目標値】 ・手術件数(総合) ・病床稼働率(総合) ・患者満足度[入院・外来](総合)</p>	<p>○効率的な病院運営による県民に安全で質の高い医療を提供 ①手術件数の増加 ②病床稼働率90%以上の維持 ③患者満足度(入院・外来)の向上</p>	39	<p>①No.36 ②効率的な病院運営を行い、高い病床稼働率を維持する ③No.8</p>	<p>病床稼働率 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般病棟</td> <td>93.5</td> <td>93.9</td> <td>91.1</td> <td>84.8</td> <td>88.2</td> <td>82.2</td> <td>90以上</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>89.5</td> <td>89.8</td> <td>86.6</td> <td>80.7</td> <td>83.7</td> <td>77.4</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	一般病棟	93.5	93.9	91.1	84.8	88.2	82.2	90以上	全体	89.5	89.8	86.6	80.7	83.7	77.4	-	B	<p>令和4年度も、一般病棟の一部を新型コロナウイルス感染症専門病棟・VRE専門病棟として運用しており、一般病床稼働率は目標値90%を下回った。 新型コロナウイルス・VRE感染患者が一時的に激増し、今年度の稼働率は過去最低となったが、重症感染患者を数多く受け入れており、地域医療に大きく貢献した。</p>																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																								
一般病棟	93.5	93.9	91.1	84.8	88.2	82.2	90以上																																																								
全体	89.5	89.8	86.6	80.7	83.7	77.4	-																																																								
	<p>県立こころの医療センター</p>	<p>(イ) 県立こころの医療センター診療事業 県内精神医療の中核病院として、総合的・専門的な精神科医療を提供するとともに、精神科救急・急性期医療や、他の医療機関では対応困難な治療の実施及び司法精神医療の充実を図る。 県民に提供する医療 <業務予定量> 病床数 280床 精神病床 280床 外来患者 39,975人 入院患者 54,546人</p>	40		<p>入院・外来患者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>55,144</td> <td>57,217</td> <td>54,037</td> <td>53,246</td> <td>49,296</td> <td>24,689</td> <td>54,546</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>41,140</td> <td>42,454</td> <td>39,647</td> <td>37,285</td> <td>36,692</td> <td>18,337</td> <td>39,975</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院患者数	55,144	57,217	54,037	53,246	49,296	24,689	54,546	外来患者数	41,140	42,454	39,647	37,285	36,692	18,337	39,975	B	<p>新型コロナウイルス感染症の新たな変異株の発生による感染拡大の中で院内へのウイルスの持ち込みに十分注意しながら診療を実施していること、及び他の病院での受診が困難な患者を当院で受け入れるケースが増加したことにより、運用可能な個室病床が減少し、特に4床室の利用が難しい対応困難な患者の受入調整が難しいこともあって、入院患者数は前年度より伸び悩んでいる。 外来患者数は、引き続きデイクア活動が制限されていることもあって、同様に伸び悩んでいる。 7月以降は徐々に増加傾向にあるので、引き続き、感染症対策を講じながら、他の医療機関では対応困難な重症患者などを積極的に受け入れ、県内精神医療の中核病院としての役割を果たしている。</p>																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																								
入院患者数	55,144	57,217	54,037	53,246	49,296	24,689	54,546																																																								
外来患者数	41,140	42,454	39,647	37,285	36,692	18,337	39,975																																																								
	<p>・常時精神科救急医療相談に応じ、患者の支援体制の充実を図る。 ・救急患者を受け入れ、新たな入院患者が早期に退院し社会復帰できるように支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の充実を図る。</p>	<p>○精神科救急・急性期医療の提供体制の充実 ①常時精神科救急医療相談に対応可能な体制の整備 ②救急患者が常時受入可能な体制の整備及び新たな入院患者の早期退院を支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の整備</p>	41	<p>①②24時間体制で精神科救急医療相談に応じ患者を受入れるとともに、新たな入院患者が90日以内に退院し社会復帰できるように支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の整備を図る。</p>	<p>平成15年4月より、県の委託事業として県内全域を対象とする「精神科救急ダイヤル」を敷設し、24時間体制で救急医療相談に対応している。 年4回発行し、関係機関、公的機関及び就労支援施設等に配布する当センター広報誌「ぬくもり」や、当センターホームページへ「精神科救急ダイヤル」に関する情報を掲載し、周知を図っている。</p> <p>精神科救急ダイヤル件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全相談件数</td> <td>3,020</td> <td>2,718</td> <td>3,957</td> <td>3,649</td> <td>1,857</td> <td>1,133</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>うち時間外</td> <td>2,365</td> <td>1,482</td> <td>2,153</td> <td>2,678</td> <td>1,285</td> <td>786</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>時間外における救急診療件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>270</td> <td>331</td> <td>390</td> <td>335</td> <td>313</td> <td>127</td> <td>300以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	全相談件数	3,020	2,718	3,957	3,649	1,857	1,133	-	うち時間外	2,365	1,482	2,153	2,678	1,285	786	-	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	件数	270	331	390	335	313	127	300以上	A	<p>24時間365日対応可能な相談・診療体制を整え、県との委託契約により全県の精神科救急の窓口となる「精神科救急ダイヤル」を運営している。 幅広く相談に対応しており、令和4年度の救急ダイヤルの相談件数は前年度を上回るペースとなっている。 引き続きダイヤルの周知・普及に努め、必要時に必要な相談を受け、必要な診療を実施出来る体制の維持とダイヤルの周知に努めていく。</p>																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																								
全相談件数	3,020	2,718	3,957	3,649	1,857	1,133	-																																																								
うち時間外	2,365	1,482	2,153	2,678	1,285	786	-																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																								
件数	270	331	390	335	313	127	300以上																																																								
	<p>・他の医療機関では対応困難な精神疾患患者への先進的治療に積極的に取り組む。</p>	<p>○他の医療機関では対応困難な精神疾患患者に対する高度医療への積極的な取組 ①高度専門医療(クロザピン、m-ECT(修正型電気けいれん療法)、心理・社会的治療(心理教育、家族教室等))への取組</p>	43	<p>①薬物療法による治療効果が低い重症患者に対する治療法として、m-ECT(修正型電気けいれん療法)を積極的に実施する。 高度・専門医療の積極的な実施</p>	<p>m-ECTの治療を令和4年度も継続して積極的に実施している。</p> <p>m-ECT実施件数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>3目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県民救急院</td> <td>690</td> <td>690</td> <td>700</td> <td>594</td> <td>594</td> <td>594</td> <td>700以上</td> </tr> <tr> <td>東海地区</td> <td>54</td> <td>58</td> <td>62</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>27</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(静岡市)</td> <td>40</td> <td>43</td> <td>50</td> <td>45</td> <td>43</td> <td>23</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>東部地区</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>西部地区</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	3目標	県民救急院	690	690	700	594	594	594	700以上	東海地区	54	58	62	55	56	27	-	(静岡市)	40	43	50	45	43	23	-	東部地区	3	2	3	3	1	1	-	西部地区	4	2	1	1	1	1	-	その他	0	1	1	0	0	0	-	A	<p>m-ECT治療については、令和4年度は9月末現在で334件の治療を実施している。</p>
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	3目標																																																								
県民救急院	690	690	700	594	594	594	700以上																																																								
東海地区	54	58	62	55	56	27	-																																																								
(静岡市)	40	43	50	45	43	23	-																																																								
東部地区	3	2	3	3	1	1	-																																																								
西部地区	4	2	1	1	1	1	-																																																								
その他	0	1	1	0	0	0	-																																																								

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																							
						説明																																							
			44	①先端薬物療法(クロザピンなど)を積極的に実施する。	<p>平成23年度に作成したクリニカルパスに基づき治療を開始し、令和4年9月末現在65名に対して継続投与中である。 クロザピンによる治療体制が整い、平成22年4月27日、クロザピン適正使用委員会において、CPMS(クロザピン患者モニタリングサービス)登録機関として承認された。 静岡県内では、浜松医科大学医学部付属病院、聖隷三方原病院に次いで3番目の登録である。</p> <p>クロザピン投与患者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数</td> <td>44</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>73</td> <td>77</td> <td>70以上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	患者数	44	55	60	65	73	77	70以上	A	<p>令和4年度の投与患者数は77人となり、年度目標を大きく上回っている。 また、実施にあたっては、院内で患者の副作用のモニタリングを行い薬品の適正使用に取組み、治療効果と安全性の向上に努めている。 診療に当たることの出来る医療機関は、精神科病床を有する病院の血液内科の医師という条件を満たす必要があり、現在は静岡市立病院との提携のみとなっているが今後県立総合病院において精神科病床が設置された後には、血液内科との連携も検討していく。</p>																						
項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																						
患者数	44	55	60	65	73	77	70以上																																						
			45	①心理・社会的治療についての取組を積極的に実施する。	<p>平成22年度から取組を始めた認知行動療法プロジェクトを、心理・社会的治療プロジェクトに発展し、認知行動療法に加え、新たに心理教育・家族教室への取り組みを実施している。また、心理教育に関する院内外研修会を開催し、スタッフのレベルアップに努めている。</p> <p>心理教育参加者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>230</td> <td>210</td> <td>154</td> <td>86</td> <td>93</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <p>心理教育研修会参加者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>153</td> <td>130</td> <td>66</td> <td>35</td> <td>29</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	参加者数	230	210	154	86	93	47	項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	参加者数	153	130	66	35	29	0	A	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴って外部活動が縮小となっており、研修参加者数はほぼ前年並となった。 効率的な研修の実施に努め、高度医療への積極的な取組の実施に対する意識の高揚に努めている。</p>										
項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																							
参加者数	230	210	154	86	93	47																																							
項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																							
参加者数	153	130	66	35	29	0																																							
	・入院患者が早期に退院し、地域で安心して生活できるように、多職種チームによる包括的在宅医療支援体制を構築する。	○多職種チームによる包括的在宅医療支援体制の構築 ①入院患者が早期に退院し、地域で安心して生活できるようになるための、多職種チームによる包括的在宅医療支援体制の構築	46	①在宅医療支援部を中心とした包括的在宅ケア(ACT)チームによる退院支援と手厚い24時間365日サポート体制による退院後の地域生活を支援する。	<p>平成21年度に作成したガイドラインに沿って、ACTによる支援を実施している。平成22年2月の支援開始以来延べ27名の支援活動を実施している。令和4年度9月末現在、入院患者1名及び外来患者3名の支援を継続している。</p> <p>ACT業務状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象者</th> <th rowspan="2">区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>24</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>活動状況</td> <td>外来</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>多職種による退院前訪問、ケースカンファレンス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象者	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	入院	24	13	4	4	4	3	外来	0	0	2	1	1	1	活動状況	外来	0	0	2	1	1	1	入院	多職種による退院前訪問、ケースカンファレンス							A	<p>令和4年度9月末現在で、入院患者1人及び外来患者3人の外来患者に対して実施している。 今後の感染状況を踏まえつつ、患者の地域への移行を進めていく必要がある。</p>
対象者	区分	29年度	30年度	元年度	2年度			3年度	4年度9月末																																				
		入院	24	13	4	4	4	3																																					
外来	0	0	2	1	1	1																																							
活動状況	外来	0	0	2	1	1	1																																						
入院	多職種による退院前訪問、ケースカンファレンス																																												
	・「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の司法精神医療について、指定医療機関としての役割を積極的に果たす。	○医療観察法等の司法精神医療への積極的な関与 ①「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の司法精神医療への、指定医療機関としての積極的な関与	47	①医療観察法による入院処遇対象者を受け入れ、指定医療機関としての機能を最大限に発揮する。	<p>令和4年度は、精神保健福祉法上の病床を医療観察法上の病床に一時転用する特定病床への受入患者を含め、2名の退院、2名の新規入院があり、100%を超える稼働率となっている。</p> <p>医療観察法病床の稼働状況 (単位:床・%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床数(床)</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>96.9</td> <td>96.0</td> <td>84.1</td> <td>98.2</td> <td>102.4</td> <td>112.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	病床数(床)	12	12	12	12	12	12	病床利用率(%)	96.9	96.0	84.1	98.2	102.4	112.0	A	<p>令和4年度は、特定病床による患者の受入れが年間を通じて続いており、使用病床は12床から14床で推移している。</p>																	
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度		4年度9月末																																						
	病床数(床)	12	12	12	12	12	12																																						
病床利用率(%)	96.9	96.0	84.1	98.2	102.4	112.0																																							
	・認知症・依存症・摂食障害など多様な精神疾患に対応できる体制を構築し、発達障害や思春期及び小児から成人への移行期における精神疾患への対応を図る。	○認知症・依存症・摂食障害など多様な精神疾患に対応できる体制を構築し、発達障害や思春期及び小児から成人への移行期における精神疾患への対応 ①多様な精神疾患及び、小児から成人への移行期における精神疾患等に対応するための体制の構築に向けた取組	48	①総合病院における身体合併症患者への精神科医療の提供体制を整備する。 ・公立病院経営強化プラン等の精神医療の方針を踏まえ、県内精神医療の中核病院としての役割を担う体制を整備する。 また、病棟整備計画の策定や県民要望に対応した新たな体制を構築し、休床病床の解消を行う。 ・総合病院、こども病院などと連携し、児童精神分野における精神科医療の提供体制の整備を図る。	<p>令和2年4月より総合病院へ精神科医師1名を追加配置し、医師2名の体制とし、身体合併症の精神科リソース機能を強化するとともに、病棟整備に向けた検討に参画している。 令和4年度は、「県立病院機構精神科あり方ワーキンググループ」を開催し、県立3病院の精神科医療のあり方を検討している。</p>	A	<p>令和2年4月以降、総合病院の精神科医が2名体制となり、身体合併症の精神科リソース機能がより強化された。 令和4年度は、「県立病院機構精神科あり方ワーキンググループ」を開催し、県立3病院の精神科医療のあり方を検討している。検討結果を踏まえ、時代のニーズに応える医療提供体制の整備に取り組みで行く。</p>																																						
	・効率的な病院運営を図り、また、県民に安全で質の高い医療の提供を行うため、病床稼働率及び外来患者満足度について各事業年度で高い水準を達成する。	○効率的な病院運営による県民に安全で質の高い医療を提供 ①国の公立病院経営強化政策指針や県、病院機構における精神科のあり方検討を踏まえた医療体制及び病床の整備 ②クロザピン投与患者数の増加 ③病床稼働率85%以上の維持 ④患者満足度(外来)の向上	49	①No.48 ②No.44 ③常時、救急患者を受け入れる体制の維持と、多職種連携による早期退院促進による効率的な病院運営に努める。 ④No.8	<p>病床稼働率 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率</td> <td>87.9</td> <td>91.1</td> <td>85.8</td> <td>84.8</td> <td>78.5</td> <td>78.4</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	稼働率	87.9	91.1	85.8	84.8	78.5	78.4	85以上	B	<p>新型コロナウイルス感染症の新たな変異株の発生による感染拡大の中で院内へのウイルスの持ち込みに十分注意しながら診療を実施していること、及び他の病院での受診が困難な患者を当院で受け入れるケースが増加したことにより、運用可能な個室病床が減少し、特に4床室の利用が難しい対応困難な患者の受入調整が難しいこともあって、入院患者数は前年度より伸び悩んでいる。</p>																						
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																						
稼働率	87.9	91.1	85.8	84.8	78.5	78.4	85以上																																						

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																									
							説明																								
	<p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロザピン投与患者数(こころ) ・病床稼働率(こころ) ・患者満足度[外来](こころ) 	<p>【目標値】県立こころの医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロザピン投与患者数(こころ) ・病床稼働率(こころ) ・患者満足度[外来](こころ) ・時間外診療件数(こころ) ・m-ECT実施件数(こころ) 	-	-	-	-	-																								
	<p>県立こども病院</p>	<p>(9) 県立こども病院診療事業</p> <p>県内小児医療の中核病院として、一般医療機関では対応困難な小児患者に対する高度・専門医療やハイリスク妊婦に対する周産期医療を提供する。また、小児期から成人期への移行期医療に取り組む。</p> <p>県民に提供する医療</p> <p><業務予定量></p> <p>病床数 279床</p> <p>一般病床 243床</p> <p>精神病床 36床</p> <p>外来患者 116,867人</p> <p>入院患者 75,948人</p>	50	-	<p>入院・外来患者数</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>75,586</td> <td>75,395</td> <td>75,736</td> <td>65,681</td> <td>66,476</td> <td>34,269</td> <td>75,948</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>105,763</td> <td>110,185</td> <td>111,874</td> <td>103,773</td> <td>121,675</td> <td>60,097</td> <td>116,867</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院患者数	75,586	75,395	75,736	65,681	66,476	34,269	75,948	外来患者数	105,763	110,185	111,874	103,773	121,675	60,097	116,867	B	<p>令和4年度の入院患者数は、目標値には届かない見込みだが、徐々に回復しており、令和3年度実績を上回る見込みである。一方で、外来患者数は過去実績を大きく上回った前年度と同水準で推移しており、目標を上回る見込みである。</p> <p>県内小児医療の中核病院として、一般医療機関では対応困難な小児患者に対する高度・専門医療やハイリスク妊婦に対する周産期医療の提供に努めている。</p>
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																								
入院患者数	75,586	75,395	75,736	65,681	66,476	34,269	75,948																								
外来患者数	105,763	110,185	111,874	103,773	121,675	60,097	116,867																								

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>・小児重症心疾患患者に対してハイブリッド手術室等の先進設備を活用し、常時高度な先進的治療を提供する。小児心疾患治療の先進的施設として専門医等の育成に努める。</p>	<p>○小児重症心疾患患者に対し、常時高度な専門的治療を提供する体制の充実及び小児心疾患治療の先進的な施設としての専門医等の育成 ①小児重症心疾患患者へ常時対応による専門的治療の提供体制の充実 ②小児循環器疾患治療スタッフに対する教育体制の充実と小児集中治療室(PICU)及び新生児集中治療室(NICU)及び循環器集中治療室(CCU)の相互研修の実施を通じた治療レベルの向上による循環器センターの機能を強化 ③小児用補助人工心臓装置の活用 ④心エコー画像のリアルタイム遠隔診断の実施 ⑤血管造影装置の2台化による循環器治療の提供体制の充実検討</p>	51	<p>①心臓血管外科、循環器科の連携による専門治療と、術後の集中治療を行うCCUを加えた循環器センターの体制を維持・充実させる。 ②新生児科(NICU)・小児集中治療科(PICU)と共同でカンファレンスを実施し、より研修効果をあげ、治療レベルの向上を図る。 ③補助人工心臓装置の活用を図る。 ④心エコー画像の遠隔診断を継続実施する。 ⑤カテーテル室の2室化工事の実施。</p>	<p>平成28年に循環器病棟に設置した単重患者対応病室は、順調に運用されている。今後も効果的な運用を継続していく。</p> <p>心臓カテーテル治療実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>実施件数</td><td>200</td><td>179</td><td>206</td><td>192</td><td>204</td><td>96</td><td>200以上</td></tr> </table> <p>ハイブリッド手術実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>件数</td><td>6</td><td>8</td><td>5</td><td>8</td><td>6</td><td>1</td><td></td></tr> </table> <p>CCU稼働率 (単位: 人、%)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>2,939</td><td>3,063</td><td>3,176</td><td>3,021</td><td>3,011</td><td>1,981</td><td></td></tr> <tr><td>病床稼働率</td><td>80.5</td><td>83.9</td><td>86.8</td><td>82.8</td><td>71.7</td><td>90.2</td><td></td></tr> </table> <p>循環器センターにおける研修医の人数 (単位: 人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>人数</td><td>6</td><td>5</td><td>9</td><td>7</td><td>8</td><td>8</td><td></td></tr> </table> <p>小児用補助人工心臓装置の使用状況 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>件数</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr> </table> <p>心エコー画像遠隔診断実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>症例数</td><td>7</td><td>5</td><td>3</td><td>0</td><td>2</td><td>3</td><td></td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	実施件数	200	179	206	192	204	96	200以上	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	件数	6	8	5	8	6	1		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院患者数	2,939	3,063	3,176	3,021	3,011	1,981		病床稼働率	80.5	83.9	86.8	82.8	71.7	90.2		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	人数	6	5	9	7	8	8		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	件数	1	1	0	0	0	0		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	症例数	7	5	3	0	2	3		<p>循環器科、心臓血管外科を中心とした連携により、多くの小児重症心疾患患者を受け入れている。 また、研修医も着実に受け入れており、小児心疾患治療の先進的施設として、高度な循環器疾患治療の専門医の育成にも努めている。 令和4年度のハイブリッド手術室における心臓カテーテル治療はコロナ下でも例年並みの水準を維持しており、心エコー画像の遠隔診断についても、9月末実績が3件となっている。 例年カテーテル治療件数が高い水準で推移しているため、高機能なアンギオ装置を令和3年度に更新し、より質の高い治療を行っている。 なお、令和3年度にPICUとCCUを統合し、CCU病棟はHCUの役割を持たせた後方病棟とした。これにより、効率的な病棟運用が可能となり、病床稼働率の向上につながっている。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
実施件数	200	179	206	192	204	96	200以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
件数	6	8	5	8	6	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
入院患者数	2,939	3,063	3,176	3,021	3,011	1,981																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
病床稼働率	80.5	83.9	86.8	82.8	71.7	90.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
人数	6	5	9	7	8	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
件数	1	1	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
症例数	7	5	3	0	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>・地域の医療機関と連携して、ハイリスク胎児・妊婦を早期に把握、治療するための一貫した医療システムの構築に努めるほか、新生児に対して、高度な先進的治療を提供するための体制を拡充する。</p>	<p>○地域の医療機関と連携したハイリスク胎児・妊婦を早期に把握、治療するための一貫した医療システムの維持・充実と新生児に対しての高度な専門的治療を提供する体制の拡充 ①先天異常の出生前超音波診断や、出生後の管理・処置のための機器整備 ②新生児集中治療室(NICU)における低侵襲手術の実施</p>	52	<p>①最新式の超音波診断装置を導入する。 ②必要に応じNICU内での手術を継続実施する。</p>	<p>産科入院患者数 (単位: 人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>6,395</td><td>5,850</td><td>6,810</td><td>4,461</td><td>4,882</td><td>2,003</td><td></td></tr> <tr><td>周産期医療に係る地域医療機関向け研修会等開催実績</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td><td>4目標</td></tr> <tr><td>研修会等回数</td><td>0</td><td>3</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>総実施時間</td><td>439</td><td>373</td><td>377</td><td>255</td><td>155</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>NICU診察実績</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度<td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td><td>4目標</td></td></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>6,311</td><td>5,519</td><td>6,250</td><td>5,029</td><td>5,094</td><td>2,511</td><td></td></tr> <tr><td>入院稼働率</td><td>95.1</td><td>84.9</td><td>79.7</td><td>75.9</td><td>72.5</td><td>77.1</td><td></td></tr> <tr><td>CCU診察実績</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td><td>4目標</td></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>4,536</td><td>4,646</td><td>4,723</td><td>4,685</td><td>4,978</td><td>2,535</td><td></td></tr> <tr><td>入院稼働率</td><td>69</td><td>70.7</td><td>71.7</td><td>71.3</td><td>75.8</td><td>77</td><td></td></tr> <tr><td>MFICU診察実績</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td><td>4目標</td></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>2,068</td><td>1,874</td><td>1,907</td><td>1,517</td><td>1,434</td><td>660</td><td></td></tr> <tr><td>入院稼働率</td><td>44</td><td>45.8</td><td>46.5</td><td>49.3</td><td>45.4</td><td>60.1</td><td></td></tr> <tr><td>新生児出生体重別入院患者数実績</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>体重(g)</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td><td>4目標</td></tr> <tr><td>500未満</td><td>3</td><td>4</td><td>8</td><td>4</td><td>6</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>500~1,000</td><td>28</td><td>29</td><td>41</td><td>19</td><td>22</td><td>11</td><td></td></tr> <tr><td>1,000~1,500</td><td>28</td><td>26</td><td>25</td><td>28</td><td>15</td><td>10</td><td></td></tr> <tr><td>1,500以上</td><td>143</td><td>165</td><td>139</td><td>168</td><td>248</td><td>105</td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td>203</td><td>224</td><td>213</td><td>219</td><td>291</td><td>129</td><td></td></tr> </table> <p>血液腫瘍科症患者数実績 (単位: 人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>入院</td><td>7,977</td><td>8,656</td><td>7,849</td><td>7,335</td><td>4,810</td><td>3,147</td><td></td></tr> <tr><td>外来</td><td>3,711</td><td>3,601</td><td>3,713</td><td>3,298</td><td>3,665</td><td>1,749</td><td></td></tr> </table> <p>造血幹細胞移植実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>造血幹細胞</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>臍帯血</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>自家末梢血</td><td>7</td><td>4</td><td>4</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>同種末梢血</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>10</td><td>14</td><td>10</td><td>13</td><td>8</td><td>0</td><td></td></tr> </table> <p>小児がん登録件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>登録件数</td><td>58</td><td>47</td><td>56</td><td>53</td><td>53</td><td>12</td><td>45</td></tr> </table> <p>がんセンターとの共同カンファレンス回数 (単位: 回)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>回数</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>7</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr> </table> <p>ANA世代がん研修会実施回数 (単位: 回)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>回数</td><td>1</td><td>1</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td><td></td></tr> </table> <p>がん公開講座件数 (単位: 回)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>件数</td><td></td><td></td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td></td></tr> </table> <p>【参考】北5病棟改修にかかる打ち合わせ回数 (単位: 回)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>回数</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>17</td><td>25</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>令和3年度7月に完成済</p> <p>研修会(脳腫瘍関係) (単位: 回)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>開催回数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加人数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院患者数	6,395	5,850	6,810	4,461	4,882	2,003		周産期医療に係る地域医療機関向け研修会等開催実績								区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	研修会等回数	0	3	1	3	3	0		総実施時間	439	373	377	255	155	0		NICU診察実績								区分	29年度	30年度 <td>元年度</td> <td>2年度</td> <td>3年度</td> <td>4年度9月末</td> <td>4目標</td>	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院患者数	6,311	5,519	6,250	5,029	5,094	2,511		入院稼働率	95.1	84.9	79.7	75.9	72.5	77.1		CCU診察実績								区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院患者数	4,536	4,646	4,723	4,685	4,978	2,535		入院稼働率	69	70.7	71.7	71.3	75.8	77		MFICU診察実績								区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院患者数	2,068	1,874	1,907	1,517	1,434	660		入院稼働率	44	45.8	46.5	49.3	45.4	60.1		新生児出生体重別入院患者数実績								体重(g)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	500未満	3	4	8	4	6	1		500~1,000	28	29	41	19	22	11		1,000~1,500	28	26	25	28	15	10		1,500以上	143	165	139	168	248	105		合計	203	224	213	219	291	129		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院	7,977	8,656	7,849	7,335	4,810	3,147		外来	3,711	3,601	3,713	3,298	3,665	1,749		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	造血幹細胞	3	3	3	3	3	0		臍帯血	0	0	0	0	0	0		自家末梢血	7	4	4	1	1	0		同種末梢血	0	2	1	1	0	0		計	10	14	10	13	8	0		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	登録件数	58	47	56	53	53	12	45	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	回数	3	3	3	7	0	0		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	回数	1	1	4	2	2	0		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	件数			1	0	1	0		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4目標	回数	-	-	-	17	25			区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	開催回数								参加人数								<p>最新式の超音波診断装置など最先端の機器整備を整備し、先天異常の出生前超音波診断や、出生後の管理・処置等を適切に行っている。 ことも病院は、他の医療機関では対応が困難な超低出生体重児、極低出生体重児を数多く受け入れており、静岡県中部の周産期医療の拠点として、重症新生児(超早产児、重症新生児仮死、外科手術を要する先天性疾患等)は、ほぼ全てこども病院で治療している。 また例年、地域医療機関を対象とした研修会、検討会を定期的に開催し、地域の周産期医療のレベルアップを図ってきたが、令和4年度は9月末時点で研修会等を開催していない。 NICUの入院患者数は一定の水準にあり、令和4年9月末時点の稼働率は、前年に比べて上がっている。令和元年前と比較すると稼働が減少しているが、新型コロナウイルス感染症の影響と、これまで特定入院科の算定期間を超えNICUで治療していた長期入院患者を転機させることで、病床稼働の効率化を図ったためである。</p>
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
入院患者数	6,395	5,850	6,810	4,461	4,882	2,003																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
周産期医療に係る地域医療機関向け研修会等開催実績																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
研修会等回数	0	3	1	3	3	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
総実施時間	439	373	377	255	155	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
NICU診察実績																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
区分	29年度	30年度 <td>元年度</td> <td>2年度</td> <td>3年度</td> <td>4年度9月末</td> <td>4目標</td>	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
入院患者数	6,311	5,519	6,250	5,029	5,094	2,511																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
入院稼働率	95.1	84.9	79.7	75.9	72.5	77.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
CCU診察実績																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
入院患者数	4,536	4,646	4,723	4,685	4,978	2,535																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
入院稼働率	69	70.7	71.7	71.3	75.8	77																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
MFICU診察実績																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
入院患者数	2,068	1,874	1,907	1,517	1,434	660																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
入院稼働率	44	45.8	46.5	49.3	45.4	60.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
新生児出生体重別入院患者数実績																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
体重(g)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
500未満	3	4	8	4	6	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
500~1,000	28	29	41	19	22	11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1,000~1,500	28	26	25	28	15	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1,500以上	143	165	139	168	248	105																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
合計	203	224	213	219	291	129																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
入院	7,977	8,656	7,849	7,335	4,810	3,147																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
外来	3,711	3,601	3,713	3,298	3,665	1,749																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
造血幹細胞	3	3	3	3	3	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
臍帯血	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
自家末梢血	7	4	4	1	1	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
同種末梢血	0	2	1	1	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
計	10	14	10	13	8	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
登録件数	58	47	56	53	53	12	45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
回数	3	3	3	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
回数	1	1	4	2	2	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
件数			1	0	1	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
回数	-	-	-	17	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
開催回数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
参加人数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
<p>・本県における小児がんの拠点機能を有する病院として、高度な集学的治療に積極的に取り組む。</p>	<p>○小児がん拠点病院(厚生労働省指定)として、高度な集学的治療への積極的な取組 ①小児がんの集学的治療推進、セカンドオピニオンの受入れなど、がん診療の機能強化 ②院内がん登録の推進 ③県立静岡がんセンターとの連携強化 ④AYA世代がん診療の連携等を推進 ⑤がん公開講座や研修会(脳腫瘍関連)等の開催 ⑥病室のクリーン度アップや、AYA対応室の設置等北5病棟の改修</p>	53	<p>小児がん拠点病院として、整備した施設及び体制の活用により、小児がん診療の更なる充実を行う。 ①静岡県小児がん拠点病院(厚生労働省指定)として血液腫瘍科に対しては、骨髄・末梢血幹細胞・臍帯血移植などの治療法を利用して対応する。 ②小児がん連携拠点病院の指定を念頭に置き、小児がん診療の更なる充実を図る。 ③県立静岡がんセンターとの共同カンファレンスを実施する。 ④AYA世代がんに携わる医療従事者向け研修会を開催する。 ⑤がん公開講座や研修会等を開催する。 など</p>	<p>血液腫瘍科症患者数実績 (単位: 人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>入院</td><td>7,977</td><td>8,656</td><td>7,849</td><td>7,335</td><td>4,810</td><td>3,147</td><td></td></tr> <tr><td>外来</td><td>3,711</td><td>3,601</td><td>3,713</td><td>3,298</td><td>3,665</td><td>1,749</td><td></td></tr> </table> <p>造血幹細胞移植実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>造血幹細胞</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>臍帯血</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>自家末梢血</td><td>7</td><td>4</td><td>4</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>同種末梢血</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>10</td><td>14</td><td>10</td><td>13</td><td>8</td><td>0</td><td></td></tr> </table> <p>小児がん登録件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>登録件数</td><td>58</td><td>47</td><td>56</td><td>53</td><td>53</td><td>12</td><td>45</td></tr> </table> <p>がんセンターとの共同カンファレンス回数 (単位: 回)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>回数</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>7</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr> </table> <p>ANA世代がん研修会実施回数 (単位: 回)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>回数</td><td>1</td><td>1</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td><td></td></tr> </table> <p>がん公開講座件数 (単位: 回)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>件数</td><td></td><td></td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td></td></tr> </table> <p>【参考】北5病棟改修にかかる打ち合わせ回数 (単位: 回)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>回数</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>17</td><td>25</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>令和3年度7月に完成済</p> <p>研修会(脳腫瘍関係) (単位: 回)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>開催回数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加人数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院	7,977	8,656	7,849	7,335	4,810	3,147		外来	3,711	3,601	3,713	3,298	3,665	1,749		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	造血幹細胞	3	3	3	3	3	0		臍帯血	0	0	0	0	0	0		自家末梢血	7	4	4	1	1	0		同種末梢血	0	2	1	1	0	0		計	10	14	10	13	8	0		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	登録件数	58	47	56	53	53	12	45	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	回数	3	3	3	7	0	0		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	回数	1	1	4	2	2	0		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	件数			1	0	1	0		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4目標	回数	-	-	-	17	25			区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	開催回数								参加人数								<p>小児がんは成人と比較して発症数の少なからず発見、診療が専門機関でない困難であり、こども病院は、小児がん拠点病院(平成31年4月国指定)として、小児がん相談室の設置、院内がん登録中級認定者の専任化等により体制整備に努めている。 小児がん患者(免疫抑制患者)のリハビリを促進するため、個室等のクリーン度アップ等、更なる体制整備を進めており、令和4年度には整備したWi-Fi環境を活用し、入院している小児がん患者のオンライン学習の支援を行っている。 また、造血幹細胞移植については、令和4年9月末時点で計8件と実績を伸ばしている。 小児がん登録件数については、小児がん拠点病院の申請手続きと業務が重なったことにより、現時点では例年に比べ件数が少なくなっているが、令和4年度末時点では例年並みの水準となる見込みである。 がんがム医療連携病院(令和元年12月指定)として、がんがム医療についても取組を実施しており、加えて、がんセンターとの共同カンファレンスの開催など他の小児がん連携病院等とも連携し、地域全体の小児・AYA世代のがん医療及び支援の質の向上に努めている。</p>																																																																																																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
入院	7,977	8,656	7,849	7,335	4,810	3,147																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
外来	3,711	3,601	3,713	3,298	3,665	1,749																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
造血幹細胞	3	3	3	3	3	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
臍帯血	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
自家末梢血	7	4	4	1	1	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
同種末梢血	0	2	1	1	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
計	10	14	10	13	8	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
登録件数	58	47	56	53	53	12	45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
回数	3	3	3	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
回数	1	1	4	2	2	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
件数			1	0	1	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
回数	-	-	-	17	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
開催回数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
参加人数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	
						説明	
	<p>・重篤な小児救命救急患者を常時受入れ可能な体制を維持・強化し、救急医療全般にわたって地域の医療機関と連携して受け入れる体制を整備する。</p>	<p>○重篤な小児救急患者を常時受入れ可能な体制を維持・強化及び地域で不足する小児救急医療体制の補完等、小児救急医療のモデルとなる体制整備 ①院内各専門領域のバックアップによる、小児救急センター・小児集中治療センターを中心とした小児救急医療全般にわたる受入体制の強化、拡充 ②小児救命救急センターとしてメディカルコントロール体制整備への協力 ③小児救急専門スタッフの教育の充実</p>	54	<p>①PICU(小児集中治療センター)・救急総合診療科を中心として小児救急医療体制の強化を図る。 ①小児救急センター・小児集中治療センターを中心とした、365日24時間小児救急患者の受入可能な体制を維持、充実させる。 ③院内の小児救急専門スタッフ(医師、看護師)育成に努める。</p>	<p>小児救命センターの患者数 (単位:人%) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 入院患者数 5,409 5,661 5,916 3,619 4,612 3,220 入院患者数 5,409 5,661 5,916 3,619 4,612 3,220 PICU診療実績 (単位:人%) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 入院患者数 2,299 1,398 1,695 1,254 1,504 710 入院患者数 2,299 1,398 1,695 1,254 1,504 710 入院患者数 2,299 1,398 1,695 1,254 1,504 710 医師数 81.8 87.0 92.5 71.3 73.4 82.7 医師数 81.8 87.0 92.5 71.3 73.4 82.7 医師数 81.8 87.0 92.5 71.3 73.4 82.7 ドクターヘリ搬送実績 (単位:回) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 回数 34 41 33 22 39 17 回数 34 41 33 22 39 17 ドクターカー出動実績 (単位:回) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 回数 268 274 291 193 216 118 回数 268 274 291 193 216 118 回数 268 274 291 193 216 118 PICU医師・看護師 (年平均:人) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 医師 13 8 9 8 10 13 医師 13 8 9 8 10 13 看護師 22 29 29 29 29 29 看護師 22 29 29 29 29 29 看護師 22 29 29 29 29 29</p>	A	<p>小児救命救急センターの指定を受けているPICUと小児救急センター(ER)を中心に、24時間365日を通して、軽症から重症まで小児救急患者を多く受け入れた。 令和4年度のPICU患者数は、令和3年6月に実施したICUの統合(PICUとCCUの統合)等により増加しており、前年度実績を上回る見込みである。 また、ER患者数も前年度と同水準で推移している。ER開設不足、富士富士、志太模範等の救急患者が増加しており、地域で不足する小児救急体制を補完している。 PICU病棟の医師確保に努め、専門スタッフを配置し、小児救急体制の充実を図っている。</p>
			55	<p>②地域の医療・消防機関で構成されるメディカルコントロール協議会に参加するとともに、PICUの主催による、救急医療・救急(消防)業務従事者向けの研究会、実習講習を行う。</p>	<p>各地域の医療機関・消防機関が参加するメディカルコントロール協議会に参加しているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。 救急関係研修会等開催実績 (人) 区 分 対象 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 小児救命救急研究会 小児救命救急センター職員 135 161 86 0 0 0 小児救命救急研究会 小児救命救急センター職員 135 161 86 0 0 0 救急救命士再教育病院実習 救急救命士 10 6 0 0 0 0 救急救命士再教育病院実習 救急救命士 10 6 0 0 0 0</p>	-	<p>例年、救急隊員を対象とした研修会等を定期的に開催し、県下の小児救急医療の質の向上を図っているものの、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていない。 重篤な小児患者の受入れ等救急体制については、継続的に体制の整備を図っている。</p>
	<p>・精神疾患を持つ小児患者やその家族に対して、児童精神科分野における中核的機能の発揮に努める。</p>	<p>○子どものこころの診療分野について、総合病院、こころの医療センターとの連携を図り、県内の児童精神医療に貢献 ①子どもの精神科専門病棟を有するこころの病院として、成人移行を見据え、総合病院、こころの医療センターとの連携体制強化 ②「子どもの心の診療ネットワーク事業」の拠点病院として、教育・福祉・医療機関の連携ネットワークの更なる拡大、充実 ③臨床研修の充実による児童精神科医の継続的育成</p>	56	<p>①児童精神科医療について、県立病院機構精神科あり方検討を踏まえ、総合病院、こころの医療センターなどと連携し、体制の見直し・充実を図る。</p>	<p>こころの診療科診療実績 (単位:人) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 入院患者数 10,864 10,011 9,445 7,890 10,353 5,642 入院患者数 10,864 10,011 9,445 7,890 10,353 5,642 入院患者数 10,864 10,011 9,445 7,890 10,353 5,642 入院患者数 58 57 50 63 71 34 入院患者数 58 57 50 63 71 34 入院患者数 58 57 50 63 71 34 外来患者数 12,607 12,376 11,604 11,416 13,211 6,186 外来患者数 12,607 12,376 11,604 11,416 13,211 6,186 外来患者数 12,607 12,376 11,604 11,416 13,211 6,186 外来初診患者数 502 466 514 579 617 294 外来初診患者数 502 466 514 579 617 294 外来初診患者数 502 466 514 579 617 294 こころの診療科地域別患者数実績 (単位:人) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 東部 766 779 759 744 829 646 東部 766 779 759 744 829 646 東部 766 779 759 744 829 646 中部 1,157 1,190 1,227 1,329 1,423 1,174 中部 1,157 1,190 1,227 1,329 1,423 1,174 中部 1,157 1,190 1,227 1,329 1,423 1,174 西部 59 56 59 56 53 39 西部 59 56 59 56 53 39 西部 59 56 59 56 53 39 県外 15 10 14 13 13 8 県外 15 10 14 13 13 8 県外 15 10 14 13 13 8 合計 1,997 2,035 2,059 2,142 2,318 1,867 合計 1,997 2,035 2,059 2,142 2,318 1,867 合計 1,997 2,035 2,059 2,142 2,318 1,867</p>	A	<p>県内の児童精神科医療の中核機関として、中部地域だけでなく、児童精神科の医療機関が少なくない東部地域からも多くの患者を受け入れている。</p>
			57	<p>②厚生労働省の「子どもの心の診療ネットワーク事業」に静岡県の拠点病院として参加する。</p>	<p>事業を行っている全国19都府県1政令指定都市にある29の拠点病院の一つとして参加し、学校・地域との連携強化を図る(拠点病院を配置している都府県等) 岩手県、千葉県、東京都、石川県、山梨県、長野県、静岡県、三重県、大阪府、兵庫県、鳥取県、広島県、岡山県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、沖縄県、札幌市 精神保健講座等開催実績 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 精神保健 児童養護 精神保健 児童養護 精神保健 児童養護 精神保健 児童養護 精神保健 児童養護 精神保健 児童養護 講座 施設巡回 講座 施設巡回 講座 施設巡回 講座 施設巡回 講座 施設巡回 講座 施設巡回 対象 県内小中 小児 県内小中 小児 県内小中 小児 県内小中 小児 県内小中 小児 県内小中 小児 学校教諭・家族 学校教諭・家族 学校教諭・家族 学校教諭・家族 学校教諭・家族 学校教諭・家族 参加者数等 5回 11回 5回 10回 5回 11回 2回 11回 4回 10回 1回 6回 参加者数等 156人 11施設 159人 10施設 96人 11施設 49人 11施設 140人 10施設 34人 6施設</p>	A	<p>急増する子どもの心の問題に関するネットワーク構築のため、学校・地域との連携強化を図り、県内の小児精神保健ネットワークの中核的な役割を果たしている。 また、令和4年7月に行われた第23回本事業連絡会議において、当院の教育機関との連携について、取組を報告した。 令和4年度、児童養護施設の巡回事業は例年並みに実施している。精神保健講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年9月末時点での開催実績は1回である。</p>
			58	<p>③児童精神科医の育成に努める。</p>	<p>有期職員医師を1名採用し(平成25年度から延べ10名)、専門的な児童精神科医を育成している。 有期職員医師採用実績 (単位:人) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 採用人数 1 1 1 1 1 1 採用人数 1 1 1 1 1 1 採用人数 1 1 1 1 1 1</p>	A	<p>児童精神科臨床研修として有期職員医師を採用し、児童精神科医の育成を行った。</p>
	<p>・重症心身障害児等の医療的ケア児の退院、在宅移行を支援する体制について、県と連携して整備を図る。</p>	<p>○重症心身障害児等の医療的ケア児の退院、在宅移行を支援する体制、県と連携して具体化 ①医療的ケア児のレスポンス対応のため、障害者総合支援法に基づく「短期入所サービス」の実施</p>	59	<p>①言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォロー、作業療法における急性期作業療法他への充実を図る。 ①医療的ケア児の在宅移行支援病棟の設置を検討する。 ①「短期入所サービス」事業の実施</p>	<p>医療的ケア児に関する検討会開催実績 (単位:回) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 回数 - 5 3 6 6 2 回数 - 5 3 6 6 2 回数 - 5 3 6 6 2 リハ実施実績 (単位:件) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 4目標 理学療法 18,944 17,309 22,829 22,985 24,683 11,775 15,000 理学療法 18,944 17,309 22,829 22,985 24,683 11,775 15,000 理学療法 18,944 17,309 22,829 22,985 24,683 11,775 15,000 作業療法 6,656 6,039 4,546 3,813 7,794 5,889 - 作業療法 6,656 6,039 4,546 3,813 7,794 5,889 - 作業療法 6,656 6,039 4,546 3,813 7,794 5,889 - 言語聴覚療法 7,306 7,901 9,744 10,162 10,045 4,695 - 言語聴覚療法 7,306 7,901 9,744 10,162 10,045 4,695 - 言語聴覚療法 7,306 7,901 9,744 10,162 10,045 4,695 - 計 32,906 31,249 37,119 36,960 42,522 22,359 - 計 32,906 31,249 37,119 36,960 42,522 22,359 - 計 32,906 31,249 37,119 36,960 42,522 22,359 - 短期入所利用者数 (単位:人) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 利用者数 - - - - 0 3 利用者数 - - - - 0 3 利用者数 - - - - 0 3</p>	A	<p>こころの病院では、言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォローなどを行っており、令和4年度のハビリ実施件数は、過去実績を大きく上回った前年度と同水準で推移している。 在宅移行の推進や在宅移行後の医療的ケア児への対応については、令和2年度に指定障害福祉サービスによる、短期入所者の指定を受けた。令和4年度は9月末時点で3人(延人数)の利用があり、今後も、受入れ体制の整備を図っている。 県内唯一の小児専門病院として小児の高次専門医療を担っているが、慢性期医療・福祉の分野となる医療的ケア児については、在宅移行、在宅移行後の患児・家族へのフォローに関して、各分野との関係の整理や、方向性の検討を行っている。</p>

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																															
							説明																																																																														
	<p>・効率的な病院運営を図り、また、県民に安全で質の高い医療の提供を行うため、病床稼働率及び入院・外来患者満足度について各事業年度で高い水準を達成する。</p>	<p>○効率的な病院運営による県民に安全で質の高い医療を提供 ①医療安全体制の徹底 ②入退院支援センターを活用した患者サービスの向上 ③心臓カテーテル治療数の増加 ④病床稼働率75%以上の維持 ⑤患者満足度(入院・外来)の向上 ⑥遠隔医療の適切な推進</p>	60	<p>①医療安全体制を徹底し、国際的な医療機能評価であるJCI取得を視野に入れた、院内機能強化を進める ②入退院支援センターの業務の推進 ③No.51 ④効率的な病院運営を行い、高い病床稼働率を維持する。 ⑤No.8 ⑥遠隔による外来診療、セカンドオピニオンを実施する</p>	<p>病床稼働率 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率</td> <td>76.4</td> <td>76.2</td> <td>76.4</td> <td>66.4</td> <td>76.7</td> <td>76.4</td> <td>75以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>J.C.I.ワーキングの設置と開催回数 (単位：回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>病棟運営ワーキング開催回数(入退院支援センターに係る検討)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>入退院支援センター設置ワーキング開催実績 (単位：回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>入退院支援センター利用者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>5,382</td> <td>4,573</td> <td>2,503</td> </tr> </tbody> </table> <p>遠隔外来患者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>117</td> <td>217</td> <td>87</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	稼働率	76.4	76.2	76.4	66.4	76.7	76.4	75以上	区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	開催回数	-	-	3	0	区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	開催回数	-	-	-	4	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	回数	-	-	13	12	4	0	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	利用者数	-	-	-	5,382	4,573	2,503	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	患者数	-	-	-	117	217	87	A	<p>病床稼働率については、患者数が増加に転じていること、令和2年度に本格稼働した入退院支援センターを活用して効率的な病床稼働を目指していることから、令和4年度は目標を上回った前年度と同水準で推移している。 また、こども病院は極めて広域性があり、遠方から来院する患者の負担を軽減しながら安全で質の高い医療を提供するため、令和2年9月からオンラインによる外来診療体制を全国に先駆けて構築しており、令和4年度も継続して診療を実施している。 国際的な医療機能評価であるJCIの取得に向けた取組として、JCIを取得している聖隷浜松病院を、令和4年5月に視察した。組織作り、徹底方法等、取得のために必要な事項を確認することができ、有意義な視察となった。</p>
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																														
稼働率	76.4	76.2	76.4	66.4	76.7	76.4	75以上																																																																														
区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																	
開催回数	-	-	3	0																																																																																	
区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																	
開催回数	-	-	-	4																																																																																	
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																															
回数	-	-	13	12	4	0																																																																															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																															
利用者数	-	-	-	5,382	4,573	2,503																																																																															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																															
患者数	-	-	-	117	217	87																																																																															
	<p>【目標値】 ・心臓カテーテル治療実績(こども) ・病床稼働率(こども) ・患者満足度[入院・外来](こども)</p>	<p>【目標値】県立こども病院 ・心臓カテーテル治療実績(こども) ・病床稼働率(こども) ・患者満足度[入院・外来](こども) ・小児がん登録件数(こども) ・リハ実施件数(こども)</p>	-	-	-	-	-																																																																														

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
							説明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2 医療従事者の確保及び質の向上 各病院及び地域の医療水準の維持・向上を図るため、医師、看護師等医療従事者の確保に努めること。また、優秀な人材を育成するため、院内研修及び国内外との交流による研修機能の充実を図ること。さらに、医療従事者が働きやすい環境の整備に努めること。	2 医療従事者の確保及び質の向上 県立病院が提供する医療の質の向上を図り、最適な医療を安全に提供するため、医療従事者が専門業務に専念できる体制や働きやすい環境の整備に努めることにより、優秀な人材の確保を行う。また、教育研修機能の充実や国内外の医療機関との交流などを推進し、医療従事者の育成に積極的に取り組む。	2 医療従事者の確保及び質の向上	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
								61	<p>・業務運営に必要な人材の確保に努める。</p> <p>本部（各病院）（総務）</p> <p>職員の確保状況(各年度4月1日現在) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">元年度</th> <th colspan="2">2年度</th> <th colspan="2">3年度</th> <th colspan="2">4年度</th> <th colspan="2">4年度9月末</th> <th colspan="2">5年度見込</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>152</td> <td>152</td> <td>159</td> <td>173</td> <td>177</td> <td>180</td> <td>185</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td>内科</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>39</td> <td>53</td> <td>58</td> <td>60</td> <td>66</td> <td>67</td> <td>68</td> <td>68</td> <td>68</td> <td>68</td> <td>68</td> <td>68</td> <td>68</td> <td>68</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>正規職員</td> <td>113</td> <td>113</td> <td>115</td> <td>117</td> <td>120</td> <td>116</td> <td>120</td> <td>121</td> <td>121</td> <td>121</td> <td>121</td> <td>121</td> <td>121</td> <td>121</td> <td>121</td> <td>121</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>44</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>69</td> <td>66</td> <td>66</td> <td>66</td> <td>66</td> <td>66</td> <td>66</td> <td>66</td> <td>66</td> <td>66</td> <td>66</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>152</td> <td>152</td> <td>159</td> <td>173</td> <td>177</td> <td>180</td> <td>185</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td>有期職員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>初任職員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>退職職員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※有期職員は、正規職員の状況により必要人員を確保するため、目標は設定しない。 ※正規職員の看護師は、現員から休職者等を除いた実働数を記載している。 ※有期職員は、正規職員の状況により必要人員を確保するため、目標は設定しない。 ※年度計画数値と本表の数値は一致しない。</p>	区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度		4年度9月末		5年度見込		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	総合	152	152	159	173	177	180	185	187	187	187	187	187	187	187	187	187	187	内科	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	外科	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	その他	33	33	39	53	58	60	66	67	68	68	68	68	68	68	68	68	68	正規職員	113	113	115	117	120	116	120	121	121	121	121	121	121	121	121	121	121	非常勤職員	39	39	44	56	57	69	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	子ども	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	計	152	152	159	173	177	180	185	187	187	187	187	187	187	187	187	187	187	有期職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	初任職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	退職職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	A	<p>令和4年度について、医師に関しては、派遣医局等への働きかけ等を行い、専門医確保に向けてホームページにプログラム説明動画を公開し、プログラムの魅力を伝えるなど、確保に努めている。 看護師の募集については、修学資金の貸与、養成校訪問など様々な確保対策を進め、採用数の増加を図り、職員を確保している。</p>																																																																																																																																																										
								区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度		4年度9月末		5年度見込																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1	2	1	2	1	2	1	2		1	2	1	2	1	2	1	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
総合	152	152	159	173	177	180	185	187	187	187	187	187	187	187	187	187	187																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
内科	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
外科	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
その他	33	33	39	53	58	60	66	67	68	68	68	68	68	68	68	68	68																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
正規職員	113	113	115	117	120	116	120	121	121	121	121	121	121	121	121	121	121																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常勤職員	39	39	44	56	57	69	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
子ども	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
計	152	152	159	173	177	180	185	187	187	187	187	187	187	187	187	187	187																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
有期職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
初任職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
退職職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
62	<p>・研修医の確保に努める。</p> <p>各病院（総務）</p> <p>初期臨床研修医数（総合病院） (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>5年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>22(2)</td> <td>24(3)</td> <td>23(1)</td> <td>20(1)</td> <td>23(3)</td> <td>21(2)</td> <td>21(2)</td> <td>21(2)</td> </tr> <tr> <td>内科</td> <td>2(2)</td> <td>2(2)</td> <td>2(3)</td> <td>1(4)</td> <td>2(1)</td> <td>2(3)</td> <td>2(3)</td> <td>2(3)</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>14(3)</td> <td>14(5)</td> <td>14(5)</td> <td>19(5)</td> <td>19(4)</td> <td>19(4)</td> <td>19(4)</td> <td>19(4)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>36(5)</td> <td>38(8)</td> <td>37(6)</td> <td>39(6)</td> <td>41(8)</td> <td>40(9)</td> <td>40(9)</td> <td>40(9)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（）うち自治医科大学出身者</p> <p>後期臨床研修医数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>5年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>内科</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度9月末	5年度見込	総合	22(2)	24(3)	23(1)	20(1)	23(3)	21(2)	21(2)	21(2)	内科	2(2)	2(2)	2(3)	1(4)	2(1)	2(3)	2(3)	2(3)	外科	14(3)	14(5)	14(5)	19(5)	19(4)	19(4)	19(4)	19(4)	計	36(5)	38(8)	37(6)	39(6)	41(8)	40(9)	40(9)	40(9)	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度9月末	5年度見込	総合	4	4	4	4	4	4	4	4	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	外科	3	3	3	3	3	3	3	3	計	4	4	4	4	4	4	4	4	A	<p>総合病院では、対面式の合同説明会が開催され、東京及び大阪並びに浜松で延べ人数87名の医学生に向けて、PR活動を行った。また、専攻医確保活動として、6名の研修医を対象にオンライン会議システムを活用した面談を実施し、PRを行った。 見学・実習については、卒業年次の学生に限るなどの制限をすることもあったが、抗原検査の実施や陰性証明を持参してもらい、できるだけ受け入れるように努めた。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度9月末	5年度見込																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
総合	22(2)	24(3)	23(1)	20(1)	23(3)	21(2)	21(2)	21(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
内科	2(2)	2(2)	2(3)	1(4)	2(1)	2(3)	2(3)	2(3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
外科	14(3)	14(5)	14(5)	19(5)	19(4)	19(4)	19(4)	19(4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計	36(5)	38(8)	37(6)	39(6)	41(8)	40(9)	40(9)	40(9)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度9月末	5年度見込																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
総合	4	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
内科	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
外科	3	3	3	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計	4	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
63	<p>・即時的で効果的な人材を確保するため、採用試験を適宜実施する。</p> <p>本部（総務）</p> <p>看護士の確保状況(各年度4月1日現在) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">元年度</th> <th colspan="2">2年度</th> <th colspan="2">3年度</th> <th colspan="2">4年度</th> <th colspan="2">4年度9月末</th> <th colspan="2">5年度見込</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>2861</td> <td>2892</td> <td>2883</td> <td>2899</td> <td>2902</td> <td>2907</td> <td>2907</td> <td>2907</td> <td>2907</td> <td>2907</td> <td>2907</td> <td>2907</td> <td>2907</td> <td>2907</td> <td>2907</td> <td>2907</td> <td>2907</td> </tr> <tr> <td>内科</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>1370</td> <td>1370</td> <td>1366</td> <td>1366</td> <td>1365</td> <td>1365</td> <td>1365</td> <td>1365</td> <td>1365</td> <td>1365</td> <td>1365</td> <td>1365</td> <td>1365</td> <td>1365</td> <td>1365</td> <td>1365</td> <td>1365</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3150</td> <td>3120</td> <td>3075</td> <td>3091</td> <td>3090</td> <td>3095</td> <td>3095</td> <td>3095</td> <td>3095</td> <td>3095</td> <td>3095</td> <td>3095</td> <td>3095</td> <td>3095</td> <td>3095</td> <td>3095</td> <td>3095</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5621</td> <td>5623</td> <td>5565</td> <td>5597</td> <td>5563</td> <td>5568</td> <td>5562</td> <td>5562</td> <td>5562</td> <td>5562</td> <td>5562</td> <td>5562</td> <td>5562</td> <td>5562</td> <td>5562</td> <td>5562</td> <td>5562</td> </tr> <tr> <td>正規職員</td> <td>118</td> <td>120</td> <td>123</td> <td>131</td> <td>130</td> <td>140</td> <td>136</td> <td>136</td> <td>136</td> <td>136</td> <td>136</td> <td>136</td> <td>136</td> <td>136</td> <td>136</td> <td>136</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>2,497</td> <td>2,498</td> <td>2,442</td> <td>2,460</td> <td>2,433</td> <td>2,455</td> <td>2,426</td> <td>2,426</td> <td>2,426</td> <td>2,426</td> <td>2,426</td> <td>2,426</td> <td>2,426</td> <td>2,426</td> <td>2,426</td> <td>2,426</td> <td>2,426</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,615</td> <td>2,618</td> <td>2,565</td> <td>2,591</td> <td>2,563</td> <td>2,600</td> <td>2,562</td> <td>2,562</td> <td>2,562</td> <td>2,562</td> <td>2,562</td> <td>2,562</td> <td>2,562</td> <td>2,562</td> <td>2,562</td> <td>2,562</td> <td>2,562</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>内科</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>157</td> <td>153</td> <td>149</td> <td>154</td> <td>153</td> <td>153</td> <td>153</td> <td>153</td> <td>153</td> <td>153</td> <td>153</td> <td>153</td> <td>153</td> <td>153</td> <td>153</td> <td>153</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>801</td> <td>802</td> <td>801</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,060</td> <td>1,059</td> <td>1,052</td> <td>1,058</td> <td>1,052</td> <td>1,052</td> <td>1,052</td> <td>1,052</td> <td>1,052</td> <td>1,052</td> <td>1,052</td> <td>1,052</td> <td>1,052</td> <td>1,052</td> <td>1,052</td> <td>1,052</td> <td>1,052</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>208</td> <td>211</td> <td>208</td> <td>207</td> <td>207</td> <td>207</td> <td>207</td> <td>207</td> <td>207</td> <td>207</td> <td>207</td> <td>207</td> <td>207</td> <td>207</td> <td>207</td> <td>207</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>内科</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>130</td> <td>126</td> <td>123</td> <td>126</td> <td>126</td> <td>126</td> <td>126</td> <td>126</td> <td>126</td> <td>126</td> <td>126</td> <td>126</td> <td>126</td> <td>126</td> <td>126</td> <td>126</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>91</td> <td>80</td> <td>73</td> <td>71</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>373</td> <td>371</td> <td>368</td> <td>374</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> </tr> <tr> <td>正規職員</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>356</td> <td>354</td> <td>351</td> <td>357</td> <td>356</td> <td>356</td> <td>356</td> <td>356</td> <td>356</td> <td>356</td> <td>356</td> <td>356</td> <td>356</td> <td>356</td> <td>356</td> <td>356</td> <td>356</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>373</td> <td>371</td> <td>368</td> <td>374</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> <td>373</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度		4年度9月末		5年度見込		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	総合	2861	2892	2883	2899	2902	2907	2907	2907	2907	2907	2907	2907	2907	2907	2907	2907	2907	内科	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	外科	1370	1370	1366	1366	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365	その他	3150	3120	3075	3091	3090	3095	3095	3095	3095	3095	3095	3095	3095	3095	3095	3095	3095	計	5621	5623	5565	5597	5563	5568	5562	5562	5562	5562	5562	5562	5562	5562	5562	5562	5562	正規職員	118	120	123	131	130	140	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	非常勤職員	2,497	2,498	2,442	2,460	2,433	2,455	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	計	2,615	2,618	2,565	2,591	2,563	2,600	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562	本部	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	内科	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	外科	157	153	149	154	153	153	153	153	153	153	153	153	153	153	153	153	153	その他	801	802	801	802	802	802	802	802	802	802	802	802	802	802	802	802	802	計	1,060	1,059	1,052	1,058	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	総合	208	211	208	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	内科	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	外科	130	126	123	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	その他	91	80	73	71	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	計	373	371	368	374	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	正規職員	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	非常勤職員	356	354	351	357	356	356	356	356	356	356	356	356	356	356	356	356	356	計	373	371	368	374	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	A	<p>医師については、専門医確保に向けてホームページにプログラム説明動画を公開し、プログラムの魅力を伝え、募集に努めている。今後、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、医学生向け説明会への参加や病院見学の受入などを行い確保に努める。 令和4年度は、看護師募集について、定時募集を第1回から3病院対象に実施し、計3回実施予定。 また、経験者を対象とした月次募集により切れ目のない募集を実施している。なお、看護師確保のため、就職説明会への参加や各種広報、養成校訪問に代わるWeb会議など様々な確保対策を進め、採用数の増加に繋げている。 コメディカルは、必要な職種について適時、募集を実施しており、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、視能訓練士、言語聴覚士(アソシエイト)、精神保健福祉士について公募試験を実施し優秀な人材の確保に努めている。 事務についても、正規職員の公募試験を実施し、優秀な人材の確保に努めている。</p>
区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度		4年度9月末		5年度見込																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
総合	2861	2892	2883	2899	2902	2907	2907	2907	2907	2907	2907	2907	2907	2907	2907	2907	2907																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
内科	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
外科	1370	1370	1366	1366	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365	1365																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
その他	3150	3120	3075	3091	3090	3095	3095	3095	3095	3095	3095	3095	3095	3095	3095	3095	3095																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
計	5621	5623	5565	5597	5563	5568	5562	5562	5562	5562	5562	5562	5562	5562	5562	5562	5562																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
正規職員	118	120	123	131	130	140	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常勤職員	2,497	2,498	2,442	2,460	2,433	2,455	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
計	2,615	2,618	2,565	2,591	2,563	2,600	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562	2,562																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
本部	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
内科	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
外科	157	153	149	154	153	153	153	153	153	153	153	153	153	153	153	153	153																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
その他	801	802	801	802	802	802	802	802	802	802	802	802	802	802	802	802	802																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
計	1,060	1,059	1,052	1,058	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052	1,052																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
総合	208	211	208	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
内科	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
外科	130	126	123	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
その他	91	80	73	71	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
計	373	371	368	374	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
正規職員	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常勤職員	356	354	351	357	356	356	356	356	356	356	356	356	356	356	356	356	356																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
計	373	371	368	374	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373	373																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																																																																				
			64	<p>・就職説明会への参加、多角的な広報の実施や養成校の訪問などにより、必要な職員の確保を目指す。</p> <p>本部・各病院（総務）</p> <table border="1" data-bbox="1108 135 1422 438"> <caption>看護学生向け就職説明会（単位：人）</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>来場者数</th> <th>訪問者数</th> <th>受験者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ナース専科（静岡）</td> <td>1月開催予定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ナースナビ（浜松）</td> <td>2月開催予定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>マイナビ（静岡）</td> <td>2月開催予定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>（浜津）</td> <td>3月開催予定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>静岡県立大学</td> <td>PR動画の提供</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>富葉大学</td> <td>未定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>聖隷クリスティアン大学</td> <td>未定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>順天堂大学</td> <td>未定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>静岡市立看護専門学校</td> <td>12月開催予定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>静岡県立看護専門学校</td> <td>12月開催予定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>養成校計</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※訪問者数は病院間の重複あり</p> <table border="1" data-bbox="1108 359 1422 438"> <caption>看護学生向け就職説明会（単位：人）</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td>584</td> <td>595</td> <td>704</td> <td>709</td> <td>595</td> <td></td> </tr> <tr> <td>訪問者数</td> <td>154</td> <td>165</td> <td>18</td> <td>35</td> <td>132</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受験者数</td> <td>608</td> <td>64</td> <td>645</td> <td>645</td> <td>438</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>養成校</td> <td>257</td> <td>345</td> <td>216</td> <td>316</td> <td>120</td> <td>19月未</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>53</td> <td>2</td> <td>112</td> <td>112</td> <td>92</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>64</td> <td>75</td> <td>92</td> <td>92</td> <td>92</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	来場者数	訪問者数	受験者数	ナース専科（静岡）	1月開催予定			ナースナビ（浜松）	2月開催予定			マイナビ（静岡）	2月開催予定			（浜津）	3月開催予定			計		0		静岡県立大学	PR動画の提供			富葉大学	未定			聖隷クリスティアン大学	未定			順天堂大学	未定			静岡市立看護専門学校	12月開催予定			静岡県立看護専門学校	12月開催予定			養成校計		0		計		0		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	来場者数	584	595	704	709	595		訪問者数	154	165	18	35	132		受験者数	608	64	645	645	438	未実施	養成校	257	345	216	316	120	19月未	計	53	2	112	112	92		計	64	75	92	92	92		<p>令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で今までのような病院見学会やインターンシップの開催ができない中、少しでも学生の知りたい情報を提供するため、積極的に説明会への参加を予定している。</p> <p>看護師確保対策の中でも企業・養成校主催の就職説明会は、看護学生が看護部長や先輩看護師等と直接話ができることから、病院の宣伝だけでなく、看護学生個人が知りたい情報を直接伝えることができる利点があるため、今後も昨年に引き続き養成校主催の説明会へ参加し、現在の学生の動向等をつまむことで、看護師確保に努める。</p>																												
区分	来場者数	訪問者数	受験者数																																																																																																																																							
ナース専科（静岡）	1月開催予定																																																																																																																																									
ナースナビ（浜松）	2月開催予定																																																																																																																																									
マイナビ（静岡）	2月開催予定																																																																																																																																									
（浜津）	3月開催予定																																																																																																																																									
計		0																																																																																																																																								
静岡県立大学	PR動画の提供																																																																																																																																									
富葉大学	未定																																																																																																																																									
聖隷クリスティアン大学	未定																																																																																																																																									
順天堂大学	未定																																																																																																																																									
静岡市立看護専門学校	12月開催予定																																																																																																																																									
静岡県立看護専門学校	12月開催予定																																																																																																																																									
養成校計		0																																																																																																																																								
計		0																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																				
来場者数	584	595	704	709	595																																																																																																																																					
訪問者数	154	165	18	35	132																																																																																																																																					
受験者数	608	64	645	645	438	未実施																																																																																																																																				
養成校	257	345	216	316	120	19月未																																																																																																																																				
計	53	2	112	112	92																																																																																																																																					
計	64	75	92	92	92																																																																																																																																					
(1) 医療従事者の確保・育成	(1) 医療従事者の確保・育成	(1) 医療従事者の確保・育成	65	<p>○医師</p> <p>①③医師の技術力の向上を目指し、海外研修等を奨励する。</p> <p>①③医師の卒後臨床研修等の強化を図り、県立病院に相応しい医療従事者を確実に確保し、充足させる。</p> <p>②地域医療連携推進法人ふじのくに社会健康医療連携の円滑な運営に寄与する。</p> <p>各病院（総務）</p> <table border="1" data-bbox="1108 494 1467 837"> <caption>(総合) 海外研修の実績（4年度9月末時点）（単位：人）</caption> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14th CONFERENCE OF THE JAPAN NURSING SOCIETY</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>JATS 39th Annual Meeting</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>米国胸病学会2019国際会議</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Lung Conference in Wrocław 2019</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>14th World Congress of Dermatology Milan 2019</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SSAL 2019</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>第31回欧州病理科学会</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>欧州呼吸器学会国際会議2019</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>European Society for Thoracic Radiology 2019</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ヨーロッパ救急医学会</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>第21年次会議2019</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7th WORLD CONGRESS OF ENDOCRINOLOGY</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>American Pulmonary Association</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ANS Kidney Week 2019</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ヨーロッパ呼吸器学会国際会議2019</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>Paris-Beche 2019</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ASCVS2020</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>第109回 USCAP2020</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>臨床研修医UCLL入研修</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>実績なし</td> </tr> <tr> <td>4年度(9月末)</td> <td>実績なし</td> </tr> <tr> <td>オーストラリア交換研修</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>24th European Congress of Pathology</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>欧州呼吸器学会国際会議2022</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ICS 2022 VIENNA</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>別年、海外の学会に治療実績等の発表を行い、技術力の高さを示している。</p> <p>海外研修の報告は、院内には定例医局会・院内連絡会で行われており、対外的には研修医募集のホームページに掲載している。</p> <table border="1" data-bbox="1108 917 1624 1013"> <caption>海外での学会発表実績（単位：件）</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>23</td> <td>33</td> <td>65</td> <td>0</td> <td>125</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>22</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>3</td> <td>19</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1108 1029 1556 1189"> <caption>海外研修の主な実績（4年度9月末）（単位：人）</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内 容</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>ICS 2022 VIENNA</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他 海外学会</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アメリカ心エコー学会議</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アメリカ胸部外科学会</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ヨーロッパ小児科学会学術集会</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	人数	14th CONFERENCE OF THE JAPAN NURSING SOCIETY	2	JATS 39th Annual Meeting	2	米国胸病学会2019国際会議	3	Lung Conference in Wrocław 2019	1	14th World Congress of Dermatology Milan 2019	1	SSAL 2019	3	第31回欧州病理科学会	1	欧州呼吸器学会国際会議2019	3	European Society for Thoracic Radiology 2019	1	ヨーロッパ救急医学会	1	第21年次会議2019	1	7th WORLD CONGRESS OF ENDOCRINOLOGY	3	American Pulmonary Association	2	ANS Kidney Week 2019	2	ヨーロッパ呼吸器学会国際会議2019	2	Paris-Beche 2019	2	ASCVS2020	2	第109回 USCAP2020	1	臨床研修医UCLL入研修	18	3年度	実績なし	4年度(9月末)	実績なし	オーストラリア交換研修	1	24th European Congress of Pathology	1	欧州呼吸器学会国際会議2022	2	ICS 2022 VIENNA	3	計	62	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	総合	23	33	65	0	125	6	こども	22	31	31	3	19	8	区分	内 容	4年度9月末	総合	ICS 2022 VIENNA	3		その他 海外学会	4	こども	—	0		アメリカ心エコー学会議	0		アメリカ胸部外科学会	0		ヨーロッパ小児科学会学術集会	0	<p>(総合) 毎月、基礎臨床講座を開催し、各指導医から研修医等へ講義を行っているほか、医療英語-海外学会発表研修など臨床研修機能の充実を図っている。</p> <p>この他、医師の技術力向上を目指し海外研修を奨励している。</p> <p>また、海外学会発表を積極的に行っており、技術力の高さを示している。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた令和2年度及び3年度よりも学会への参加が増加している。</p> <p>静岡県社会健康医学大学院大学の開学式(令和4年3月)において、浙江省衛生健康委員会をはじめとする関係医療機関の幹部を紹介した。</p> <p>浙江大学医学院附属邵逸夫(シウイフ)医院の新棟竣工式(令和4年4月)において、田中理事長からビデオ祝辞を送付した。</p> <p>また、6月には、静岡県立病院機構及び総合病院の新体制を紹介する目的で、浙江省衛生健康委員会とWEB会議を実施した。(こども)</p> <p>令和4年9月末現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、浙江省児童病院との医師相互研修や、専攻医のオーストラリアウエストメント小児病院における研修を中止している。</p> <p>A</p>																																					
内 容	人数																																																																																																																																									
14th CONFERENCE OF THE JAPAN NURSING SOCIETY	2																																																																																																																																									
JATS 39th Annual Meeting	2																																																																																																																																									
米国胸病学会2019国際会議	3																																																																																																																																									
Lung Conference in Wrocław 2019	1																																																																																																																																									
14th World Congress of Dermatology Milan 2019	1																																																																																																																																									
SSAL 2019	3																																																																																																																																									
第31回欧州病理科学会	1																																																																																																																																									
欧州呼吸器学会国際会議2019	3																																																																																																																																									
European Society for Thoracic Radiology 2019	1																																																																																																																																									
ヨーロッパ救急医学会	1																																																																																																																																									
第21年次会議2019	1																																																																																																																																									
7th WORLD CONGRESS OF ENDOCRINOLOGY	3																																																																																																																																									
American Pulmonary Association	2																																																																																																																																									
ANS Kidney Week 2019	2																																																																																																																																									
ヨーロッパ呼吸器学会国際会議2019	2																																																																																																																																									
Paris-Beche 2019	2																																																																																																																																									
ASCVS2020	2																																																																																																																																									
第109回 USCAP2020	1																																																																																																																																									
臨床研修医UCLL入研修	18																																																																																																																																									
3年度	実績なし																																																																																																																																									
4年度(9月末)	実績なし																																																																																																																																									
オーストラリア交換研修	1																																																																																																																																									
24th European Congress of Pathology	1																																																																																																																																									
欧州呼吸器学会国際会議2022	2																																																																																																																																									
ICS 2022 VIENNA	3																																																																																																																																									
計	62																																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																				
総合	23	33	65	0	125	6																																																																																																																																				
こども	22	31	31	3	19	8																																																																																																																																				
区分	内 容	4年度9月末																																																																																																																																								
総合	ICS 2022 VIENNA	3																																																																																																																																								
	その他 海外学会	4																																																																																																																																								
こども	—	0																																																																																																																																								
	アメリカ心エコー学会議	0																																																																																																																																								
	アメリカ胸部外科学会	0																																																																																																																																								
	ヨーロッパ小児科学会学術集会	0																																																																																																																																								
			66	<p>④メディカルスキルアップセンターの活用の促進を図る。</p> <p>総合</p> <table border="1" data-bbox="1108 1204 1736 1364"> <caption>メディカルスキルアップセンター利用状況（単位：回・人）</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">元年度</th> <th colspan="2">2年度</th> <th colspan="2">3年度</th> <th colspan="2">4年度9月末</th> </tr> <tr> <th>開催回数</th> <th>うち外部利用</th> <th>開催回数</th> <th>うち外部利用</th> <th>開催回数</th> <th>うち外部利用</th> <th>開催回数</th> <th>うち外部利用</th> <th>開催回数</th> <th>うち外部利用</th> <th>開催回数</th> <th>うち外部利用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>488</td> <td>44</td> <td>617</td> <td>31</td> <td>772</td> <td>42</td> <td>1097</td> <td>5</td> <td>1,773</td> <td>5</td> <td>466</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加人数</td> <td>2,713</td> <td>197</td> <td>2,772</td> <td>145</td> <td>3,236</td> <td>166</td> <td>3,488</td> <td>16</td> <td>3,194</td> <td>41</td> <td>992</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>196</td> <td>48</td> <td>230</td> <td>32</td> <td>288</td> <td>39</td> <td>275</td> <td>7</td> <td>175</td> <td>4</td> <td>51</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加人数</td> <td>3,969</td> <td>296</td> <td>4,474</td> <td>227</td> <td>5,867</td> <td>291</td> <td>4,468</td> <td>67</td> <td>2,987</td> <td>67</td> <td>1,529</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>141</td> <td>113</td> <td>198</td> <td>123</td> <td>200</td> <td>149</td> <td>273</td> <td>113</td> <td>125</td> <td>91</td> <td>6</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加人数</td> <td>2,981</td> <td>1,914</td> <td>2,961</td> <td>1,363</td> <td>2,971</td> <td>1,120</td> <td>1,863</td> <td>784</td> <td>661</td> <td>215</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>開催回数</td> <td>831</td> <td>207</td> <td>1,035</td> <td>200</td> <td>1,373</td> <td>287</td> <td>1,610</td> <td>193</td> <td>2,070</td> <td>100</td> <td>523</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加人数</td> <td>8,580</td> <td>4,407</td> <td>9,806</td> <td>1,778</td> <td>11,774</td> <td>1,579</td> <td>9,819</td> <td>819</td> <td>6,684</td> <td>323</td> <td>2,460</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>A</p>	区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度9月末		開催回数	うち外部利用	開催回数	うち外部利用	開催回数	うち外部利用	開催回数	うち外部利用	開催回数	うち外部利用	開催回数	うち外部利用	医師	488	44	617	31	772	42	1097	5	1,773	5	466	1		参加人数	2,713	197	2,772	145	3,236	166	3,488	16	3,194	41	992	19	看護師	196	48	230	32	288	39	275	7	175	4	51	1		参加人数	3,969	296	4,474	227	5,867	291	4,468	67	2,987	67	1,529	0	その他	141	113	198	123	200	149	273	113	125	91	6	0		参加人数	2,981	1,914	2,961	1,363	2,971	1,120	1,863	784	661	215	134	計	開催回数	831	207	1,035	200	1,373	287	1,610	193	2,070	100	523	2		参加人数	8,580	4,407	9,806	1,778	11,774	1,579	9,819	819	6,684	323	2,460	33	<p>メディカルスキルアップセンターでは、各種シミュレーターを導入し、研修医を始めとする医師や看護師等の医療従事者によるトレーニングや講習に活用している。外部利用については、医師会主催の研修会や高校生の見学ツアー時の診療体験などで活用されている。</p> <p>令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により研修会等が中止となったこともあり、利用者数は減少した。</p> <p>今後も院内利用だけでなく、外部利用の拡大に努める。</p>
区分	29年度		30年度			元年度		2年度		3年度		4年度9月末																																																																																																																														
	開催回数	うち外部利用	開催回数	うち外部利用	開催回数	うち外部利用	開催回数	うち外部利用	開催回数	うち外部利用	開催回数	うち外部利用																																																																																																																														
医師	488	44	617	31	772	42	1097	5	1,773	5	466	1																																																																																																																														
	参加人数	2,713	197	2,772	145	3,236	166	3,488	16	3,194	41	992	19																																																																																																																													
看護師	196	48	230	32	288	39	275	7	175	4	51	1																																																																																																																														
	参加人数	3,969	296	4,474	227	5,867	291	4,468	67	2,987	67	1,529	0																																																																																																																													
その他	141	113	198	123	200	149	273	113	125	91	6	0																																																																																																																														
	参加人数	2,981	1,914	2,961	1,363	2,971	1,120	1,863	784	661	215	134																																																																																																																														
計	開催回数	831	207	1,035	200	1,373	287	1,610	193	2,070	100	523	2																																																																																																																													
	参加人数	8,580	4,407	9,806	1,778	11,774	1,579	9,819	819	6,684	323	2,460	33																																																																																																																													

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																													
						説明																																																																													
		【目標値】 ・医師数(総合、こころ、こども) ・看護師数(総合、こころ、こども)	67	⑤ラーニングセンターの運用手順を定め、活用の促進を図る。	<p>従来のラーニングセンターは、改修工事で使用できないことから、代替施設(病室等)で研修を実施し、今後の運用方法については検討を行ってきた。検討の結果、院内研修の場所については、L棟3階大会議室とすることが決定した。</p> <p>ラーニングセンター利用状況 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>24</td> <td>33</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>18</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度とも正確な研修実施回数の集計はできていない。 ※令3、令4はラーニングセンターが使用中のため、代替施設(病室等)での研修回数を記</p>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	利用件数	24	33	13	0	18	22	B	<p>令和2年度以降、従来のラーニングセンターが使用できないことから、令和3、4年度の院内研修は、講義を会議室、シミュレーションを空病室等で実施している。</p> <p>ラーニングセンターの再開に向けて、令和3年度からワーキンググループを開催しており、令和4年度はこれまでに4回実施した。その結果、L棟3階大会議室をラーニングセンターとして改めて整備することが決定した(令和5年度整備予定)。</p> <p>改善後のL棟3階大会議室にはシミュレーションに使用する機材を一括管理する実技研修用倉庫を整備し、各病棟での様々な診療を想定した研修を可能にする。また、新たにオンライン配信機能を整備することにより、高度な研修内容を広く院外に発信し、地域医療に貢献することとしている。</p>																																																														
区分	29年度		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																												
利用件数	24		33	13	0	18	22																																																																												
		68	⑥海外との視察者等の受け入れや派遣など、国際交流の推進を図る。 ⑥静岡社会健康医学大学院大学と連携し、海外大学等との交流を図る。	<p>海外視察・講演等の派遣・受入 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視察・講演派遣</td> <td>54</td> <td>60</td> <td>73</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>視察・研修等受入</td> <td>35</td> <td>51</td> <td>35</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>総合病院では、平成23年度より中国浙江省からの研修受入を行っており、中国浙江省7医院と友好協力協定及び覚書を締結し、研修生を受け入れている。 令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により派遣研修及び相互訪問は中止となっているが、オンラインによる学会参加や書簡の往来などを実施した。</p>		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	視察・講演派遣	54	60	73	0	0	0	視察・研修等受入	35	51	35	0	0	0	B	<p>令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣研修及び相互訪問は中止となったが、オンラインによる学会参加や書簡の往来など、可能な交流を継続的に行った。</p>																																																								
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																													
視察・講演派遣	54	60	73	0	0	0																																																																													
視察・研修等受入	35	51	35	0	0	0																																																																													
		69	⑦看護師及びその他の医療従事者のスキルアップを図るため、認定看護師の育成のほか医療従事者等の研修等を推進する。 ⑦認定看護師等病院運営に寄与する資格について、取得支援制度を拡充することで、資格取得者の増員を図る。	<p>主な医療職種の資格取得者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>専門・認定領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門看護師</td> <td>17</td> <td>がん看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、救急看護、皮膚・排泄ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、認定看護師 17 がん化学療法、感染管理、脳卒中リハビリテーション、慢性呼吸器疾患、認知症看護、がん放射線療法</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>3</td> <td>がん薬物療法認定、感染制御認定、がん専門、病態薬学会認定、認定実務薬剤師、認定ICV、薬物療法専門、臨床薬理、がん放射線療法認定、緩和放射線療法認定、小児薬物療法認定、がん指導、総務的薬業指導、薬物療法指導、薬方箋・生薬認定</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>34</td> <td>緊急臨床検査士、認定病理検査技師、細胞検査士、超音波検査士(循環器、消化器)、臨床化学検査士、認定臨床検査技師、ASIT専門療法士、臨床検査技師兼検査士</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>29</td> <td>放射線治療専門、放射線治療品質管理、放射線物理士、PET認定、救急放射線</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> <td>臨床検査業務指導、がん病態薬業専門管理栄養士、認定超音波検査師、栄養サポートチーム専門 専門理学療法士(運動器、呼吸器、内部障害、循環器)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>150</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>認定看護師取得者数(4年度9月末時点) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>専門・認定領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門看護師</td> <td>17</td> <td>がん看護、緩和ケア、集中ケア、救急看護、皮膚・排泄ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、認定看護師</td> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td>8</td> <td>がん化学療法、感染管理、脳卒中リハビリテーション、慢性呼吸器疾患、認知症看護、がん放射線療法</td> </tr> </tbody> </table> <p>認定看護師 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>専門・認定領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門看護師</td> <td>17</td> <td>がん看護、緩和ケア、集中ケア、救急看護、皮膚・排泄ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、認定看護師</td> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td>8</td> <td>がん化学療法1名、がん放射線療法1名、感染管理1名、小児救急看護2名、手術看護1名</td> </tr> </tbody> </table>	職種	人数	専門・認定領域	専門看護師	17	がん看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、救急看護、皮膚・排泄ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、認定看護師 17 がん化学療法、感染管理、脳卒中リハビリテーション、慢性呼吸器疾患、認知症看護、がん放射線療法	薬剤師	3	がん薬物療法認定、感染制御認定、がん専門、病態薬学会認定、認定実務薬剤師、認定ICV、薬物療法専門、臨床薬理、がん放射線療法認定、緩和放射線療法認定、小児薬物療法認定、がん指導、総務的薬業指導、薬物療法指導、薬方箋・生薬認定	検査技師	34	緊急臨床検査士、認定病理検査技師、細胞検査士、超音波検査士(循環器、消化器)、臨床化学検査士、認定臨床検査技師、ASIT専門療法士、臨床検査技師兼検査士	放射線技師	29	放射線治療専門、放射線治療品質管理、放射線物理士、PET認定、救急放射線	その他	3	臨床検査業務指導、がん病態薬業専門管理栄養士、認定超音波検査師、栄養サポートチーム専門 専門理学療法士(運動器、呼吸器、内部障害、循環器)	計	150		区分	人数	専門・認定領域	専門看護師	17	がん看護、緩和ケア、集中ケア、救急看護、皮膚・排泄ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、認定看護師	認定看護師	8	がん化学療法、感染管理、脳卒中リハビリテーション、慢性呼吸器疾患、認知症看護、がん放射線療法	区分	人数	専門・認定領域	専門看護師	17	がん看護、緩和ケア、集中ケア、救急看護、皮膚・排泄ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、認定看護師	認定看護師	8	がん化学療法1名、がん放射線療法1名、感染管理1名、小児救急看護2名、手術看護1名	A	<p>感染管理、集中ケア等、病院全体の質の向上に資する分野の資格を各病院に配置し、組織横断的に活動することができる。また、認定看護師等の病院運営に寄与する資格については、資格取得資金貸付制度を改定し、取得支援制度を拡充するなど、資格取得者の増員を図った。</p>																																						
職種	人数	専門・認定領域																																																																																	
専門看護師	17	がん看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、救急看護、皮膚・排泄ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、認定看護師 17 がん化学療法、感染管理、脳卒中リハビリテーション、慢性呼吸器疾患、認知症看護、がん放射線療法																																																																																	
薬剤師	3	がん薬物療法認定、感染制御認定、がん専門、病態薬学会認定、認定実務薬剤師、認定ICV、薬物療法専門、臨床薬理、がん放射線療法認定、緩和放射線療法認定、小児薬物療法認定、がん指導、総務的薬業指導、薬物療法指導、薬方箋・生薬認定																																																																																	
検査技師	34	緊急臨床検査士、認定病理検査技師、細胞検査士、超音波検査士(循環器、消化器)、臨床化学検査士、認定臨床検査技師、ASIT専門療法士、臨床検査技師兼検査士																																																																																	
放射線技師	29	放射線治療専門、放射線治療品質管理、放射線物理士、PET認定、救急放射線																																																																																	
その他	3	臨床検査業務指導、がん病態薬業専門管理栄養士、認定超音波検査師、栄養サポートチーム専門 専門理学療法士(運動器、呼吸器、内部障害、循環器)																																																																																	
計	150																																																																																		
区分	人数	専門・認定領域																																																																																	
専門看護師	17	がん看護、緩和ケア、集中ケア、救急看護、皮膚・排泄ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、認定看護師																																																																																	
認定看護師	8	がん化学療法、感染管理、脳卒中リハビリテーション、慢性呼吸器疾患、認知症看護、がん放射線療法																																																																																	
区分	人数	専門・認定領域																																																																																	
専門看護師	17	がん看護、緩和ケア、集中ケア、救急看護、皮膚・排泄ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、認定看護師																																																																																	
認定看護師	8	がん化学療法1名、がん放射線療法1名、感染管理1名、小児救急看護2名、手術看護1名																																																																																	
		70	⑧臨床現場に即した、より実践的な研修を提供する。	<p>実習・アルバイト研修等の受入れ(4年度9月末) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>医師</th> <th>医学士</th> <th>看護師</th> <th>事務員</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>46</td> <td>149</td> <td>0</td> <td>279</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>15</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>273</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>73</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>67</td> <td>151</td> <td>10</td> <td>625</td> <td>114</td> </tr> </tbody> </table>	区分	医師	医学士	看護師	事務員	計	総合	46	149	0	279	106	こころ	15	4	1	273	6	こども	6	7	9	73	6	計	67	151	10	625	114	A	<p>各病院では、例年医師、医学生、看護師、看護学生等を積極的に受け入れ、メディカルスキルアップセンター等を活用した臨床現場に即した実践的な研修を提供している。 令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、できる限り実習や見学の受け入れを実施してきた。</p>																																															
区分	医師	医学士	看護師	事務員	計																																																																														
総合	46	149	0	279	106																																																																														
こころ	15	4	1	273	6																																																																														
こども	6	7	9	73	6																																																																														
計	67	151	10	625	114																																																																														
		71	⑨研修体系プログラムの整備と研修内容の充実を図る。	<p>職員研修参加者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規採用職員研修</td> <td>126</td> <td>125</td> <td>139</td> <td>160</td> <td>130</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>新採用職員研修</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>27</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>新規研修者研修</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>労務管理者研修</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>120</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>新任管理者・新任監督者研修</td> <td>28</td> <td>35</td> <td>21</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション講座</td> <td>24</td> <td>30</td> <td>19</td> <td>31</td> <td>27</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>プレゼンテーション講座</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ファシリテーション講座</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>コーチング講座</td> <td>18</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>29</td> <td>19</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>メンタルサポート講座</td> <td>25</td> <td>14</td> <td>29</td> <td>24</td> <td>21</td> <td>未実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年度以降は職務級制度の改正により新規研修対象者の増加が確認された。</p>		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	新規採用職員研修	126	125	139	160	130	136	新採用職員研修	4	4	4	10	27	74	新規研修者研修	18	18	11	16	10	23	労務管理者研修	-	-	-	-	120	96	新任管理者・新任監督者研修	28	35	21	-	-	-	コミュニケーション講座	24	30	19	31	27	24	プレゼンテーション講座	-	-	-	-	-	-	ファシリテーション講座	20	20	25	29	30	26	コーチング講座	18	22	20	29	19	24	メンタルサポート講座	25	14	29	24	21	未実施	A	<p>令和4年度についても、階層別、業務に必要なスキルを身につける専門研修を実施した。 令和4年度は、引き続き働き方改革関連法に対応するための労務管理者研修を実施している。</p>
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																													
新規採用職員研修	126	125	139	160	130	136																																																																													
新採用職員研修	4	4	4	10	27	74																																																																													
新規研修者研修	18	18	11	16	10	23																																																																													
労務管理者研修	-	-	-	-	120	96																																																																													
新任管理者・新任監督者研修	28	35	21	-	-	-																																																																													
コミュニケーション講座	24	30	19	31	27	24																																																																													
プレゼンテーション講座	-	-	-	-	-	-																																																																													
ファシリテーション講座	20	20	25	29	30	26																																																																													
コーチング講座	18	22	20	29	19	24																																																																													
メンタルサポート講座	25	14	29	24	21	未実施																																																																													

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																																																																						
							説明																																																																																																																																					
(2) 勤務環境の向上 優秀な医療従事者を確保するため、働きやすく、また、働きがいのある病院となるよう、ワーク・ライフ・バランスの向上の推進や職員の精神面を含めた健康保持に配慮するほか、医師をはじめとした医療従事者の業務分担を行うなど、勤務環境の向上を図ること。	(2) 勤務環境の向上 医師をはじめとした医療従事者の業務分担をはじめ、仕事と生活の調和に配慮した雇用形態や勤務時間の設定、時間外勤務の縮減、職員の健康保持への配慮や院内保育所の活用など、職員が働きやすく、働きがいを実感できる勤務環境づくりを進める。	(2) 勤務環境の向上 ①ワーク・ライフ・バランスに配慮した多様な雇用形態や勤務時間など柔軟な勤務条件の設定 ②医療従事者が本来業務に専念できる環境の整備 ③職員の意欲を高め、勤務実績が的確に反映される人事・給与制度の検討 ④職員が働きやすい施設等の環境整備 ⑤県立病院院内保育所の活用	72	①柔軟な職員採用や多様な雇用形態・勤務条件の設定を図る。	<p>看護師の2交代制勤務については、総合病院18部署、こころの医療センター3部署、子ども病院10部署となっている。看護師の夜勤専従については、3病院で試行を行っている。</p> <p>アンゼイイト採用実績（各年度4月1日現在）（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護係員</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	看護係員	3	—	1	2	事務	10	3	2	2	コメディカル	3	1	4	7	計	16	4	7	11	A	看護師の2交代制や夜勤専従の取組など、雇用形態の多様化を図っている。 看護師や事務職員に続き、コメディカルでもアンゼイイト職員を採用し、優秀な人材確保を進めている。 平成29年4月以降、診療費との導入により、医師の診療実績を的確に反映する給与体系となっている。																																																																																																												
						区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																		
						看護係員	3	—	1	2																																																																																																																																		
事務	10	3	2	2																																																																																																																																								
コメディカル	3	1	4	7																																																																																																																																								
計	16	4	7	11																																																																																																																																								
73	②医療従事者の事務的業務の軽減を図り、本来業務に専念できる環境の整備や業務多忙を解消するために、医療秘書・助手等を効果的に配置する。	<p>補助職員の配置状況（各年度4月1日現在）（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務補助</td> <td>73</td> <td>73</td> <td>71</td> <td>70</td> <td>76</td> <td>72</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>看護助手</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>102</td> <td>99</td> <td>104</td> <td>103</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>医師事務補助</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>看護助手</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>医師事務補助</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>看護助手</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>44</td> <td>45</td> <td>49</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>47</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>医師事務補助</td> <td>93</td> <td>94</td> <td>92</td> <td>92</td> <td>96</td> <td>94</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>看護助手</td> <td>104</td> <td>102</td> <td>99</td> <td>92</td> <td>88</td> <td>86</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>29</td> <td>28</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>222</td> <td>222</td> <td>220</td> <td>212</td> <td>217</td> <td>214</td> <td>215</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度9月末	医師事務補助	73	73	71	70	76	72	72	看護助手	17	17	16	14	13	16	15	コメディカル	15	15	15	15	15	15	15	小計	105	105	102	99	104	103	102	医師事務補助	2	2	2	2	1	2	1	こころ	看護助手	9	8	8	9	9	9	コメディカル	2	2	2	2	2	2	2	小計	13	12	12	13	12	13	12	医師事務補助	18	19	19	20	19	20	18	看護助手	21	21	23	22	21	21	21	コメディカル	5	5	5	6	8	6	6	小計	44	45	49	48	48	47	45	医師事務補助	93	94	92	92	96	94	91	看護助手	104	102	99	92	88	86	88	コメディカル	25	26	29	28	33	34	36	小計	222	222	220	212	217	214	215	A	医師の事務補助を行う職員の配置については、電子カルテの入力業務等により、医師が診療に専念できる等、事務負担軽減の効果が確認されている。 総合病院では、医師の増加、外来診療枠の拡大に応じて、医療従事者が診療に専念できるように医師事務作業補助者を配置しており、令和4年度においても、診療報酬の施設基準上、最上位基準を維持している。 なお、令和4年度より派遣会社を活用した夜間看護補助者の配置を開始し、看護師の負担軽減および診療報酬上の加算も併せて取得することができる。 また、看護助手等の補助職員の配置により、医療従事者が国家資格所有者でなければできない業務に専念できている。
			区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度9月末																																																																																																																																		
医師事務補助	73	73	71	70	76	72	72																																																																																																																																					
看護助手	17	17	16	14	13	16	15																																																																																																																																					
コメディカル	15	15	15	15	15	15	15																																																																																																																																					
小計	105	105	102	99	104	103	102																																																																																																																																					
医師事務補助	2	2	2	2	1	2	1																																																																																																																																					
こころ	看護助手	9	8	8	9	9	9																																																																																																																																					
コメディカル	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																					
小計	13	12	12	13	12	13	12																																																																																																																																					
医師事務補助	18	19	19	20	19	20	18																																																																																																																																					
看護助手	21	21	23	22	21	21	21																																																																																																																																					
コメディカル	5	5	5	6	8	6	6																																																																																																																																					
小計	44	45	49	48	48	47	45																																																																																																																																					
医師事務補助	93	94	92	92	96	94	91																																																																																																																																					
看護助手	104	102	99	92	88	86	88																																																																																																																																					
コメディカル	25	26	29	28	33	34	36																																																																																																																																					
小計	222	222	220	212	217	214	215																																																																																																																																					
74	③全職員を対象とした人事評価制度を円滑に実施する。	<p>県準拠として職員組合と合意し、平成30年4月から試行を開始した人事評価制度については、令和2年度から給与(勤動手当)に活用、令和3年度の評価から昇給に活用を開始し(令和3年度前期、後期の評価を令和5年1月1日昇給に活用)、全職員(有期雇用職員、再雇用職員、休職中の職員等を除く)を対象に実施している。</p>	A	平成30年4月から試行を開始した人事評価制度については、令和2年度から給与(勤動手当)に活用、令和3年度の評価から昇給に活用を開始し(令和3年度前期、後期の評価を令和5年1月1日昇給に活用)、全職員(有期雇用職員、再雇用職員、休職中の職員等を除く)を対象に実施している。																																																																																																																																								

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																						
							説明																																					
			75	④就労環境の改善に向けた院内施設、子育て支援や相談など福利厚生の実施を進める。	<p>【総合病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内保険調剤薬局等整備事業において、令和3年9月にカフェ棟が開業し、令和4年4月に薬局・レストラン棟が開業した。 ・院内保育所については、保育所運営協議会において、事務局、委託先、利用者間の意見交換を行い、院内保育所入所者を対象にインフルエンザ予防接種を令和4年度も実施予定である。 <p>【こころの医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度図書室を移転して新たに整備した研修医用研究室の運用を開始するとともに、外来用の面談室を新たに整備するなど、就労環境を改善した。 <p>【こども病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務効率の向上等を目的に、タブレット端末(ipad)を導入し、各種会議で活用している。 ・会議室にZoomRoomsを整備し、オンライン会議への参加や主催を効率的に行っている。 	S	<p>総合病院では、敷地内保険調剤薬局等整備事業において、令和3年9月にカフェ棟が開業し、令和4年4月に薬局・レストラン棟が開業した。</p> <p>こころの医療センターでは、昨年度図書室を移転して新たに整備した研修医用研究室の運用を開始するとともに、外来用の面談室を新たに整備するなど、就労環境を改善した。</p> <p>こども病院では、ペーパーレス化と業務効率の向上を目的に、タブレット端末(ipad)を導入し、各種会議で活用している。また、令和4年3月に会議室に7台整備したZoomRoomsにより、Zoomによる複数人でのオンライン会議への参加や会議の主権について、非常に短時間で対応することができるようになった。</p> <p>看護師等が離職することを防止するため、こころのケアだけでなく体力低下で看護業務へ支障を来さないよう日常生活相談を含め、心身に対するきめ細かい対応を行い、長年に渡り勤務できる環境を整える取組を行っている。</p> <p>また、国に先駆けて「就学前児童の養育資金貸付制度」を創設し、独立行政法人ならではの画期的な取組であるとして、全国の自治体から注目を集めた。当機構の制度をモデルケースとして同様の制度が制定される動きが広がっている。</p> <p>なお、政府が、子育てと職場復帰の両立のための支援のために、育児短時間勤務で働く人向けに、新たな現金給付を創設する方向で検討に入った旨の報道もなされている。</p> <p>引き続き、院内施設の実施や、就労環境の向上に取り組んでいく。</p>																																					
			76	⑤院内保育の活用を図る。	<p>保育所利用者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">定員</th> <th colspan="5">平均利用者数</th> </tr> <tr> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合「おひさま」</td> <td>100</td> <td>90</td> <td>82</td> <td>75</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>こども「ことり」</td> <td>80</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>180</td> <td>103</td> <td>95</td> <td>91</td> <td>82</td> <td>84</td> <td>91</td> </tr> </tbody> </table>	区分	定員	平均利用者数					29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	年度9月末	総合「おひさま」	100	90	82	75	65	65	65	こども「ことり」	80	13	13	16	17	19	26	計	180	103	95	91	82	84	91	A	<p>各病院の院内保育所では、育児をしながら勤務する医師や看護師の就労環境の向上のため、保育メニュー等の更なる充実に取り組んでいる。</p> <p>総合病院では、二重保育や夜間保育、土日預かり等の多様なメニューを揃え、子育てしながら働きやすい環境を引き続き提供できている。幼保無償化の影響により入所者数が減少しているため、有期コマディカル・正規事務の入所を開始した。また、令和4年11月、12月には院内保育所利用者を対象としたインフルエンザ予防接種を実施予定。</p> <p>こども病院では、令和元年度から新保育所の運用を開始しており、二重保育や病後児保育など新たな保育サービスに対応している。令和4年度は45人を上限に稼働し、今後段階的に増員する予定である。</p> <p>現状、定員に対し利用者数に開きがあるが、産育休復帰職員の利用の増加による稼働率の上昇を目指し、広報誌の発行や、看護部を通じた産育休取得者への働きかけ等を行っている。</p>
区分	定員	平均利用者数																																										
		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	年度9月末																																					
総合「おひさま」	100	90	82	75	65	65	65																																					
こども「ことり」	80	13	13	16	17	19	26																																					
計	180	103	95	91	82	84	91																																					
3 医療に関する調査及び研究	3 医療に関する調査及び研究	3 医療に関する調査及び研究	-	-	-	-	-																																					
医療や県民の健康寿命延伸に関する調査及び研究を行い、県立病院が提供する医療の高度化や本県の医療水準の向上、県民の健康寿命の延伸に寄与すること。	県内医療水準の向上と県民の健康寿命延伸に寄与するため、病院が有する医療資源の活用、院外への情報発信、他の機関との連携を図りながら、調査及び研究に取り組む。また、それらを円滑に進めるため、診療録の電子化等の医療情報基盤の活用・充実強化に努める。	県内の医療水準の向上と県民の健康寿命延伸に寄与するため、県立病院としての医療資源の活用、院外への情報発信、他機関との連携等により調査・研究に取り組む。	-	-	-	-	-																																					

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																																																																																																							
						説明																																																																																																																																																																							
(1) 研究機能の強化 各病院が臨床研究に取り組み、その研究成果の発信等により、県内医療水準の向上及び医療人材の確保に努めること。また、県立総合病院のリサーチサポートセンターにおいて、医療ビッグデータを活用した疫学、ゲノム研究など県が推進する社会健康医学研究に協力すること。さらに、産学官との連携による共同研究や治験に取り組むこと。	(1) 研究機能の強化 県立総合病院のリサーチサポートセンターを活用し、各病院が臨床研究に取り組み、その成果を発信することなどにより、県内医療水準の向上と医療人材の確保に努める。また、県が定めた社会健康医学研究推進計画に基づき、社会健康医学の研究推進に協力する。治験や調査研究事業の推進に参画できるよう引き続き体制の整備を行い、県立大学等の研究機関との共同研究にも取り組む。	(1) 研究機能の強化 ①各大学院や研究所等との連携を強化し、病院機構が行う特色ある研究の推進・発展 ②県立総合病院リサーチサポートセンターの臨床研究を行う環境整備及び研究支援体制の充実 ③静岡社会健康医学大学院大学と連携した社会健康医学研究の充実・推進 ④聴覚障害児における言語獲得の研究支援の実施と早期治療体制の構築 ⑤県立総合病院リサーチサポートセンターにおいて、静岡県からの受託研究として、「県民の健康寿命の更なる延伸」に向けた社会健康医学研究の実施 ⑥治験や調査研究事業に積極的に参画できる体制の整備・充実による受託件数の増加 ⑦県立大学等の研究機関との共同研究	77	①②臨床研究や疫学研究の充実 ・研究員を確保し、円滑な運用を行う。 ③④⑤研究体制を充実させ、受託研究を円滑に行い、研究成果を体形的に蓄積するとともに、県民へ成果の還元を行う。 ④聴覚障害児における言語獲得の研究支援について、外部機関との連携を推進する。 ④研究体制を充実させ、受託研究を円滑に行い、研究成果を体形的に蓄積するとともに、県民へ成果の還元を行う。 ⑥研究資金となる奨学寄付金を受入れる。 ⑦県立大学との共同研究を行う。	<p>臨床研究数 (単位: 件、%)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度(1/3)</th></tr> <tr><td>受託数</td><td>27</td><td>38</td><td>50</td><td>59</td><td>62</td><td>73</td></tr> <tr><td>支援研究数</td><td>45</td><td>58</td><td>50</td><td>57</td><td>65</td><td>59</td></tr> <tr><td>支援率</td><td>15.4</td><td>11.4</td><td>13.3</td><td>14.3</td><td>20.7</td><td>15.6</td></tr> </table> <p>寄附研究員受入状況 (単位: 人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度(1/3)</th></tr> <tr><td>静岡県立大学</td><td>14</td><td>14</td><td>15</td><td>15</td><td>15</td><td>13</td></tr> <tr><td>他府</td><td>0</td><td>111</td><td>272</td><td>257</td><td>18</td><td>19</td></tr> </table> <p>社会健康医学研究の受託状況 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度(1/3)</th></tr> <tr><td>件数</td><td>11</td><td>111</td><td>39</td><td>—</td><td>—</td><td>3</td></tr> </table> <p>奨学寄付金受入件数・金額</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>寄附者</th><th>目的</th><th>金額(千円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">29年度</td><td>日本・レオ・レオ・レオ株式会社</td><td>SDT組織表の発行助成金</td><td>300</td></tr> <tr><td>日本・レオ・レオ・レオ株式会社</td><td>腎臓病治療に関する研究</td><td>500</td></tr> <tr><td colspan="3">合計</td><td>800</td></tr> <tr><td rowspan="2">30年度</td><td>日本・レオ・レオ・レオ株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>150</td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td>150</td></tr> <tr><td rowspan="2">元年度</td><td>日本・レオ・レオ・レオ株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>200</td></tr> <tr><td>日本・レオ・レオ・レオ株式会社</td><td>呼吸器疾患における研究</td><td>200</td></tr> <tr><td rowspan="2">2年度</td><td>日本・レオ・レオ・レオ株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>200</td></tr> <tr><td>日本・レオ・レオ・レオ株式会社</td><td>呼吸器疾患における研究</td><td>200</td></tr> <tr><td rowspan="2">3年度</td><td>大正製薬株式会社</td><td>遺伝性疾患に関する研究支援</td><td>500</td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td>1,000</td></tr> <tr><td rowspan="2">4年度(9月末)</td><td>日本・レオ・レオ・レオ株式会社</td><td>整形外科疾患における研究</td><td>1,900</td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td>200</td></tr> <tr><td rowspan="2">3年度</td><td>日本・レオ・レオ・レオ株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>200</td></tr> <tr><td>日本・レオ・レオ・レオ株式会社</td><td>呼吸器疾患における研究</td><td>200</td></tr> <tr><td rowspan="2">4年度(9月末)</td><td>大正製薬株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>300</td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td>700</td></tr> <tr><td rowspan="2">4年度(9月末)</td><td>日本・レオ・レオ・レオ株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>200</td></tr> <tr><td>日本・レオ・レオ・レオ株式会社</td><td>呼吸器疾患における研究</td><td>100</td></tr> <tr><td colspan="3">合計</td><td>300</td></tr> </tbody> </table> <p>新生児聴覚スクリーニング件数</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度(1/3)</th></tr> <tr><td>スクリーニング件数</td><td>456</td><td>470</td><td>541</td><td>567</td><td>549</td><td>264</td></tr> </table> <p>人工内耳埋込術件数</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度(1/3)</th></tr> <tr><td>件数</td><td>12</td><td>15</td><td>13</td><td>9</td><td>13</td><td>13</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(1/3)	受託数	27	38	50	59	62	73	支援研究数	45	58	50	57	65	59	支援率	15.4	11.4	13.3	14.3	20.7	15.6	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(1/3)	静岡県立大学	14	14	15	15	15	13	他府	0	111	272	257	18	19	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(1/3)	件数	11	111	39	—	—	3	区分	寄附者	目的	金額(千円)	29年度	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	SDT組織表の発行助成金	300	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	腎臓病治療に関する研究	500	合計			800	30年度	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	糖尿病治療に関する研究	150	合計		150	元年度	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	糖尿病治療に関する研究	200	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	呼吸器疾患における研究	200	2年度	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	糖尿病治療に関する研究	200	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	呼吸器疾患における研究	200	3年度	大正製薬株式会社	遺伝性疾患に関する研究支援	500	合計		1,000	4年度(9月末)	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	整形外科疾患における研究	1,900	合計		200	3年度	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	糖尿病治療に関する研究	200	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	呼吸器疾患における研究	200	4年度(9月末)	大正製薬株式会社	糖尿病治療に関する研究	300	合計		700	4年度(9月末)	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	糖尿病治療に関する研究	200	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	呼吸器疾患における研究	100	合計			300	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(1/3)	スクリーニング件数	456	470	541	567	549	264	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(1/3)	件数	12	15	13	9	13	13	S	病院機構では、リサーチサポートセンターを活用した研究に取り組んでおり、令和4年度における文部科学省科学研究費の応募・採択状況は、応募件数2件、採択件数1件(3,250千円)となっている。また、静岡社会健康医学大学院大学との連携も引き続き強化しており、令和5年度の修学に向けて博士前期課程に2名、新たに設置される「博士後期課程」に1名の修学候補者を選定している。 きこえことばのセンター(静岡県立幼児聴覚支援センター)では、令和3年10月にNTTコミュニケーション科学基礎研究所と音声知覚・言語発達メカニズムを解明することを目的に締結した協定により共同研究を実施しているほか、言語聴覚士を増員し療育面でも聴覚障害児を支援している。令和4年度には、これまでの研究成果などを活かし、静岡社会健康医学大学院大学における全国初の「聴覚・言語コース」の認可に貢献している。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(1/3)																																																																																																																																																																							
受託数	27	38	50	59	62	73																																																																																																																																																																							
支援研究数	45	58	50	57	65	59																																																																																																																																																																							
支援率	15.4	11.4	13.3	14.3	20.7	15.6																																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(1/3)																																																																																																																																																																							
静岡県立大学	14	14	15	15	15	13																																																																																																																																																																							
他府	0	111	272	257	18	19																																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(1/3)																																																																																																																																																																							
件数	11	111	39	—	—	3																																																																																																																																																																							
区分	寄附者	目的	金額(千円)																																																																																																																																																																										
29年度	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	SDT組織表の発行助成金	300																																																																																																																																																																										
	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	腎臓病治療に関する研究	500																																																																																																																																																																										
合計			800																																																																																																																																																																										
30年度	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	糖尿病治療に関する研究	150																																																																																																																																																																										
	合計		150																																																																																																																																																																										
元年度	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	糖尿病治療に関する研究	200																																																																																																																																																																										
	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	呼吸器疾患における研究	200																																																																																																																																																																										
2年度	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	糖尿病治療に関する研究	200																																																																																																																																																																										
	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	呼吸器疾患における研究	200																																																																																																																																																																										
3年度	大正製薬株式会社	遺伝性疾患に関する研究支援	500																																																																																																																																																																										
	合計		1,000																																																																																																																																																																										
4年度(9月末)	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	整形外科疾患における研究	1,900																																																																																																																																																																										
	合計		200																																																																																																																																																																										
3年度	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	糖尿病治療に関する研究	200																																																																																																																																																																										
	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	呼吸器疾患における研究	200																																																																																																																																																																										
4年度(9月末)	大正製薬株式会社	糖尿病治療に関する研究	300																																																																																																																																																																										
	合計		700																																																																																																																																																																										
4年度(9月末)	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	糖尿病治療に関する研究	200																																																																																																																																																																										
	日本・レオ・レオ・レオ株式会社	呼吸器疾患における研究	100																																																																																																																																																																										
合計			300																																																																																																																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(1/3)																																																																																																																																																																							
スクリーニング件数	456	470	541	567	549	264																																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(1/3)																																																																																																																																																																							
件数	12	15	13	9	13	13																																																																																																																																																																							

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																		
							説明																																																	
		【目標値】 ・臨床研究数(総合)	78	⑤医療水準の向上と院内における医療の質の高度化に資するため、新薬開発や臨床研究などへ参画する。	医薬品受託研究事業費・契約件数 (単位：千円、件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>29</td> <td>24</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>23</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>64,062</td> <td>101,428</td> <td>42,504</td> <td>27,994</td> <td>58,794</td> <td>31,258</td> </tr> <tr> <td>契約額</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>こここ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>15</td> <td>26</td> <td>35</td> <td>23</td> <td>37</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>契約額</td> <td>5,087</td> <td>14,018</td> <td>29,479</td> <td>12,041</td> <td>20,531</td> <td>2,956</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	総合	29	24	17	17	23	21	件数	64,062	101,428	42,504	27,994	58,794	31,258	契約額	0	0	0	0	0	0	こここ	0	0	0	0	0	0	件数	15	26	35	23	37	57	契約額	5,087	14,018	29,479	12,041	20,531	2,956	A	令和4年度も、製薬会社等からの依頼を受け、新薬開発に係る治験を行った。 治験が終了し市販に至った薬品があり、新薬提供の一助となっている。市販薬の市販後調査を適正に実施し、安心安全な医療に寄与している。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																		
総合	29	24	17	17	23	21																																																		
件数	64,062	101,428	42,504	27,994	58,794	31,258																																																		
契約額	0	0	0	0	0	0																																																		
こここ	0	0	0	0	0	0																																																		
件数	15	26	35	23	37	57																																																		
契約額	5,087	14,018	29,479	12,041	20,531	2,956																																																		
(2) 診療等の情報の活用 診療等を通じて得られる情報を県立病院で提供する医療の質の向上のために活用するとともに、他の医療機関へ情報提供すること。	(2) 診療等の情報の活用 診療録等医療情報の電子化や管理機能の充実を図り、科学的根拠を集積・分析し、カンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用し、医療の質の向上を図る。また、学会、講習会、研究会等へ情報発信しやすい体制を整備する。	(2) 診療等の情報の活用 ①診療情報等の分析のできるシステムの活用	-	-	-	-	-																																																	
		①DPCの診療情報に基づき症例分析を行う。	79	①DPCの診療情報に基づき症例分析を行う。	D P C コーディング部会開催実績 (単位：回、人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>出席者数</td> <td>55</td> <td>37</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>27</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	開催回数	6	4	4	4	4	2	出席者数	55	37	25	33	27	15	A	DPCデータの分析結果を元に、医局会においてDPC入院期間II以内の退院状況や副傷病名の付与率等を報告するとともに、DPCコーディング部会における議論等により平均在院日数の短縮やDPCコーディングの適正化に努めている。																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																		
開催回数	6	4	4	4	4	2																																																		
出席者数	55	37	25	33	27	15																																																		
		①DPCの診療情報を分析し、診療へフィードバックを行う。また、職員の分析にかかるスキルアップに努める。	80	①DPCの診療情報を分析し、診療へフィードバックを行う。また、職員の分析にかかるスキルアップに努める。	D P C データの分析結果を診療へ活かすとともに適切なコーディングを周知するため、D P C 部会兼コード検討委員会を開催した。 D P C 部会兼コード検討委員会開催実績 (単位：回、人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>出席者数</td> <td>53</td> <td>49</td> <td>49</td> <td>58</td> <td>40</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	開催回数	4	4	4	4	4	1	出席者数	53	49	49	58	40	9	A	早期のデータ入力を継続して促し適切なコーディングを行うことで診療報酬を漏れなく請求することができている。																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																		
開催回数	4	4	4	4	4	1																																																		
出席者数	53	49	49	58	40	9																																																		
4 医療に関する地域への支援 本県の地域医療の確保のため、県立病院がその支援に大きな役割を果たし、信頼され、必要とされる病院であり続けるよう努めること。	4 医療に関する地域への支援 地域医療を確保するための支援の中心的機能を果たすため、県立病院が有する医療資源を積極的に活用するなど、積極的な支援を進める。	4 医療に関する地域への支援 地域医療を確保するための支援の中心的機能を果たすため、県立病院が有する医療資源を積極的に活用するなど、積極的な支援を進める。	-	-	-	-	-																																																	
			-	-	-	-	-																																																	

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																													
						説明																																													
(1) 地域の医療機関等との連携・支援 県が策定する医師確保計画の推進に協力し、医師不足の公的医療機関に対し医師派遣を行うこと。また、他の医療機関から紹介された患者の受入れ及び患者に適した医療機関の紹介を積極的に行うこと。さらに、高度医療機器の共同利用の促進、ICTを活用した他の医療機関等との医療情報の共有など、地域医療の確保への支援を一層推進すること。	(1) 地域の医療機関等との連携・支援 県が策定する医師確保計画の推進に協力する。 県立病院の医師の増員及び育成を図り、地域医療を支える県内医療機関への医師派遣の充実に取り組む。また、ICTを活用した医療連携、遠隔診断のネットワークづくりや、高度医療機器などの共同利用を推進し、県立病院の施設、設備や機能について地域への開放を進める。	①県内の医師確保・偏在解消等を県、浜松医科大学、静岡社会健康医学大学院大学等と連携して実施 ②県の医師派遣事業及び常勤医師の派遣への協力 ③地域医療連携推進法人制度を活用し、本県の医師確保、医師の人材育成及び地域医療構想推進を支援 ④静岡市清水区の桜ヶ丘病院へ医師派遣等を行い清水区の病院医療の充実に支援 ⑤県内病院への常勤幹部医師の配置 ⑥専門医制度への対応 ⑦医療機器の共同利用の推進 ⑧ICT技術を活用した地域医療機関等との連携及び支援	—	—	<p>業務の実績(令4)</p> <p>医師派遣実績(公的病院等) (単位:機関、科、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関等</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>31</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>延人員数</td> <td>803</td> <td>202</td> <td>282</td> <td>277</td> <td>351</td> <td>179</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29年度までは後期研修医の派遣も含まれている。平成30年度からは小児科専攻医制度の制度変更に伴い、退職扱いの派遣となった。(平成29年度までと同様の算出であれば、令和4年度9月末実績は1,277人、令和4年度見込みは2,548人となる)</p>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)	医療機関等	8	9	9	9	9	8	診療科	23	24	24	23	31	33	延人員数	803	202	282	277	351	179	<p>—</p>	<p>県立病院としての役割を果たすため、継続的に医師確保に努めている一方、医師不足が顕著な公的病院等については医師を派遣した。</p> <p>令和3年4月7日、静岡県知事より、県内初の地域医療連携推進法人となる「ふじのくに社会健康医療連合」の認定を受け、当院、桜ヶ丘病院、静岡社会健康医学大学院大学の3法人が参加している。静岡市清水区の医療を支える桜ヶ丘病院を存続させるため、総合病院から桜ヶ丘病院に対して医師派遣を行った。</p> <p>(総合) 医療機関等に対しては、桜ヶ丘病院、島田市立総合医療センター、富士宮市立病院、伊豆赤十字病院、佐久間病院、川根本町いづみの里診療所、静岡赤十字病院、つばさ静岡の計8箇所に医師派遣を行った。</p> <p>(子ども) 県内の8医療機関等に医師を派遣し、県内各地の地域医療を支援している。公的病院だけでなく、県の要請に基づき、重症心身障害児施設にも医師を派遣し、地域貢献を果たしている。小児科医が不足する医療機関からの派遣要請には可能な限り対応していく必要があり、働き方改革への対応とのバランスをとりながらも要請には全て応えている。</p>																
					区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)																																								
					医療機関等	8	9	9	9	9	8																																								
					診療科	23	24	24	23	31	33																																								
					延人員数	803	202	282	277	351	179																																								
					<p>医師派遣実績(急病センター) (単位:機関、科、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延人員数</td> <td>294</td> <td>218</td> <td>214</td> <td>197</td> <td>165</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】医師派遣実績計(4年度9月末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>医療機関</th> <th>診療科</th> <th>延人員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公的病院</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>179</td> </tr> <tr> <td>急病センター</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10</td> <td>4※</td> <td>267</td> </tr> </tbody> </table> <p>※重複のため</p>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)	医療機関	2	2	2	2	2	2	診療科	2	2	2	2	2	2	延人員数	294	218	214	197	165	88	区分	医療機関	診療科	延人員数	公的病院	8	3	179	急病センター	2	2	88		10	4※	267	<p>静岡県急病センター、志太橋原地域救急医療センターへ継続的に医師を派遣した。</p>	<p>静岡県急病センター、志太橋原地域救急医療センターへ継続的に医師を派遣し、地域の小児1次救急医療を支援している。各センターからの要請自体が減少しているため、派遣延べ人数は年々減少しているが小児1次救急医療の成立のため、派遣要請には可能な限り対応していく方針であり、働き方改革への対応とのバランスをとりながらも要請には全て応えている。</p>
					区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)																																								
					医療機関	2	2	2	2	2	2																																								
診療科	2	2	2	2	2	2																																													
延人員数	294	218	214	197	165	88																																													
区分	医療機関	診療科	延人員数																																																
公的病院	8	3	179																																																
急病センター	2	2	88																																																
	10	4※	267																																																
<p>『ふじのくに地域医療支援センター』の機能の一部業務である「県内での勤務を希望する医師および研修医の就業・キャリア形成等の相談」、「静岡県医学修学研修資金受給者の勤務先病院の決定支援」の業務を委託し、県内医師確保のための役割の一部を担っている。</p>	<p>配置調整医師数及び県内勤務開始者数 (単位:名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>勤務開始年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置調整医師数</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>76</td> <td>108</td> <td>125</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>うち県内勤務医師数</td> <td>41</td> <td>39</td> <td>47</td> <td>71</td> <td>82</td> <td>104</td> </tr> </tbody> </table> <p>※配置調整は各前年度となる。</p>	勤務開始年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)	配置調整医師数	64	64	76	108	125	160	うち県内勤務医師数	41	39	47	71	82	104	<p>静岡県健康大学院大学と連携して、県の医師確保施策に寄与できるよう努めた。</p>																												
勤務開始年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)																																													
配置調整医師数	64	64	76	108	125	160																																													
うち県内勤務医師数	41	39	47	71	82	104																																													
<p>⑥専攻医を受け入れる体制を整備し、専攻医の募集を行う。</p>	<p>(総合) 令和4年4月、15名が専門研修プログラムに所属し、研修を開始した。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、当院ホームページにプログラム説明動画を公開のうえ専門研修プログラムの魅力を発信した。また、オンライン会議システムを利用し、面談を行うなど専攻医確保に努めている。</p> <p>(子ども) 令和4年度は、6人の専攻医を受け入れ、病院見学では20人を受け入れるなど、専攻医の確保に努めている。</p> <p>(子ども) 平成29年度から新制度に準じて実施された小児科専門医制度の基幹研修施設として、新制度に則った研修を実施している。</p>	<p>静岡県健康大学院大学と連携して、県の医師確保施策に寄与できるよう努めた。</p>																																																	
<p>⑦地域の医療機関向けにCT・MRIの地域支援検査枠を増設し、共同利用件数の向上を図る。</p>	<p>地域における医療機器の効率的な活用のため、CT・MRIの共同利用に取り組み、地域医療の支援に貢献している。市内他施設における機器整備が進められており、共同利用件数も令和2年度を底に持ち直している。</p> <p>CT・MRI共同利用 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>847</td> <td>890</td> <td>881</td> <td>699</td> <td>722</td> <td>699</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>543</td> <td>586</td> <td>595</td> <td>472</td> <td>517</td> <td>283</td> </tr> <tr> <td>CT・MRIの計</td> <td>1390</td> <td>1476</td> <td>1476</td> <td>1171</td> <td>1239</td> <td>982</td> </tr> <tr> <td>共同利用の計</td> <td>1391</td> <td>1477</td> <td>1477</td> <td>1172</td> <td>1240</td> <td>983</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)	CT	847	890	881	699	722	699	MRI	543	586	595	472	517	283	CT・MRIの計	1390	1476	1476	1171	1239	982	共同利用の計	1391	1477	1477	1172	1240	983	<p>令和4年度のCT・MRI共同利用件数は、桜ヶ丘病院と今年度改めて協定を締結し、結果として、令和3年度を上回る利用実績を見込んでいる。</p>														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)																																													
CT	847	890	881	699	722	699																																													
MRI	543	586	595	472	517	283																																													
CT・MRIの計	1390	1476	1476	1171	1239	982																																													
共同利用の計	1391	1477	1477	1172	1240	983																																													
<p>⑧ふじのくにねっとを活用し、地域の病院・診療所・調剤薬局・訪問看護ステーションとの連携を強化する。 ふじのくにパーチャル・メガ・ホスピタル協議会の運営を維持する。</p>	<p>地域医療連携推進事業費補助金を活用し、ふじのくにねっと参加施設の新規システム構築及び機器更新を実施している。また、令和2年3月からは、地域医療情報連携ネットワークにおける同意取得方法に関する厚生労働省通知を受け、患者への参加同意取得手続等の運用の見直しを進め、令和3年度についても、ふじのくにねっと参加施設の利便性に貢献した。</p>	<p>ネットワーク全体で病病連携における積極開示をルール化することを理事会で方針として採択し、先進事例の共有等の取組を推進している。</p>																																																	

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																																																																																																																							
						説明																																																																																																																																																																																							
			87	⑧国内外の医療機関との映像情報システムを用い、カンファレンス等を実施する。	<p>小児医療ネットワークを通じて、浜松医科大学等との合同カンファレンスやマレーシア国立循環器病センター(LIN)との接続試験を兼ねた症例検討会を実施している。また、他医療機関(4施設)と連携し、心エコー画像遠隔診断を実施している。</p> <table border="1"> <caption>心エコー画像遠隔診断実績 (単位: 件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>症例数</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	症例数	7	5	3	0	2	3	A	小児循環器科専門医研修施設として、浜松医科大学等との映像情報を通じたカンファレンスを実施している。また、マレーシア国立循環器病センターともカンファレンスを実施している。沼津市立総合病院など4医療機関との心エコー画像遠隔診断を令和4年9月末時点で3件実施しており、医療機関からの相談について映像情報を活用して応じている。																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																							
症例数	7	5	3	0	2	3																																																																																																																																																																																							
(2) 社会的な要請への協力及び知識や技術の普及	(2) 社会的な要請への協力及び知識や技術の普及	(2) 社会的な要請への協力及び知識や技術の普及	88	①院内外の研修会等を定期的に開催し、地域の医療機関へ情報提供する。	<p>拡大キャンサーボード実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>5回</td> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>院内</td> <td>153</td> <td>194</td> <td>178</td> <td>73</td> <td>78</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>院外</td> <td>128</td> <td>162</td> <td>106</td> <td>49</td> <td>36</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>281</td> <td>356</td> <td>286</td> <td>122</td> <td>114</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table> <p>講師派遣実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>31</td> <td>43</td> <td>56</td> <td>59</td> <td>43</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>31</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>34</td> <td>21</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>62</td> <td>83</td> <td>94</td> <td>92</td> <td>64</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	回数	6回	6回	5回	3回	2回	2回	参加人数							院内	153	194	178	73	78	43	院外	128	162	106	49	36	18	合計	281	356	286	122	114	63	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	医師	31	43	56	59	43	18	その他	31	40	38	34	21	20	計	62	83	94	92	64	38	A	がん診療部主催の拡大キャンサーボード(多職種カンファレンス)では、がん症例の診断や治療方法等について、院内外の多職種による包括的な議論が行われている。令和4年度も、新型コロナウイルス感染症を考慮し、開催回数を制限して開催している。																																																																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																							
回数	6回	6回	5回	3回	2回	2回																																																																																																																																																																																							
参加人数																																																																																																																																																																																													
院内	153	194	178	73	78	43																																																																																																																																																																																							
院外	128	162	106	49	36	18																																																																																																																																																																																							
合計	281	356	286	122	114	63																																																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																							
医師	31	43	56	59	43	18																																																																																																																																																																																							
その他	31	40	38	34	21	20																																																																																																																																																																																							
計	62	83	94	92	64	38																																																																																																																																																																																							
			89	①他団体の講師派遣依頼に協力する。	<p>講師派遣実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>31</td> <td>43</td> <td>56</td> <td>59</td> <td>43</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>31</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>34</td> <td>21</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>62</td> <td>83</td> <td>94</td> <td>92</td> <td>64</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	医師	31	43	56	59	43	18	その他	31	40	38	34	21	20	計	62	83	94	92	64	38	A	他団体等が主催する講演会の講師として、医師や認定看護師を派遣しており、令和4年度は、令和3年度実績をやや上回る見込みであり、積極的に実施している。																																																																																																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																							
医師	31	43	56	59	43	18																																																																																																																																																																																							
その他	31	40	38	34	21	20																																																																																																																																																																																							
計	62	83	94	92	64	38																																																																																																																																																																																							
			90	②他団体等が主催する講習会、研究会、学会への講師派遣を推進する。	<p>院内講演会講師派遣状況(医師) (単位: 回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣回数</td> <td>38</td> <td>23</td> <td>29</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>院外講演会講師派遣状況(看護師) (単位: 回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣回数</td> <td>28</td> <td>26</td> <td>33</td> <td>17</td> <td>3</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	派遣回数	38	23	29	4	9	5	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	派遣回数	28	26	33	17	3	10	A	新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、WEBを活用しつつ他団体等が主催する講演会の講師やアドバイザーとして医師や看護師を派遣する等、積極的に地域支援を行い、前年度より派遣回数が増加している。																																																																																																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																							
派遣回数	38	23	29	4	9	5																																																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																							
派遣回数	28	26	33	17	3	10																																																																																																																																																																																							
			91	①医療にかかる鑑定等の要請への協力など積極的に対応する。	<p>医療観察法の鑑定医として協力するなど、積極的な対応を図っている。</p> <p>医療観察法による鑑定入院受入実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	こころ	12	4	5	10	8	3	A	令和4年度は医療観察法に係る鑑定について3件の受入を行っている。																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																							
こころ	12	4	5	10	8	3																																																																																																																																																																																							
			92	①特別支援学校や児童相談所など教育機関や福祉機関との連携を強化するため、講座や相談会などを継続的に開催する。	<p>精神保健講座等開催実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精神保健</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>児童養護</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>41</td> <td>43</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>42</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	精神保健	15	17	16	15	16	16	児童養護	16	16	16	16	16	16	その他	10	10	10	10	10	10	合計	41	43	42	41	42	42	A	教師を対象とした精神保健講座や児童養護施設の巡回相談を継続的に行い、学校・地域との連携強化を図っている。令和4年度に静岡県から受託した児童虐待早期発見医療体制整備事業において、院内の児童虐待対応体制を整備するとともに、地域医療機関の相談対応や教育研修を行っている。																																																																																																																																																			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																							
精神保健	15	17	16	15	16	16																																																																																																																																																																																							
児童養護	16	16	16	16	16	16																																																																																																																																																																																							
その他	10	10	10	10	10	10																																																																																																																																																																																							
合計	41	43	42	41	42	42																																																																																																																																																																																							
			93	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	<p>公費負担患者数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児慢性</td> <td>1,842</td> <td>1,771</td> <td>1,691</td> <td>1,674</td> <td>1,446</td> <td>1,446</td> </tr> <tr> <td>児童養護</td> <td>471</td> <td>451</td> <td>503</td> <td>503</td> <td>503</td> <td>503</td> </tr> <tr> <td>障害者医療</td> <td>1,614</td> <td>1,801</td> <td>1,872</td> <td>1,997</td> <td>1,975</td> <td>1,975</td> </tr> <tr> <td>特定疾患</td> <td>154</td> <td>154</td> <td>154</td> <td>154</td> <td>154</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>障害児医療</td> <td>1,154</td> <td>1,252</td> <td>1,252</td> <td>1,252</td> <td>1,115</td> <td>1,115</td> </tr> <tr> <td>生活保護</td> <td>176</td> <td>182</td> <td>182</td> <td>181</td> <td>189</td> <td>186</td> </tr> <tr> <td>精神保健</td> <td>83</td> <td>89</td> <td>69</td> <td>52</td> <td>50</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>110</td> <td>143</td> <td>146</td> <td>204</td> <td>751</td> <td>771</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,975</td> <td>2,645</td> <td>2,512</td> <td>2,452</td> <td>3,002</td> <td>2,622</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	小児慢性	1,842	1,771	1,691	1,674	1,446	1,446	児童養護	471	451	503	503	503	503	障害者医療	1,614	1,801	1,872	1,997	1,975	1,975	特定疾患	154	154	154	154	154	154	障害児医療	1,154	1,252	1,252	1,252	1,115	1,115	生活保護	176	182	182	181	189	186	精神保健	83	89	69	52	50	30	その他	110	143	146	204	751	771	計	2,975	2,645	2,512	2,452	3,002	2,622	A	公費負担医療を提供するためには、本人による申請が必要となることから、証明書・診断書の発行など公費適用患者の利便性を重視して対応している。																																																																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																							
小児慢性	1,842	1,771	1,691	1,674	1,446	1,446																																																																																																																																																																																							
児童養護	471	451	503	503	503	503																																																																																																																																																																																							
障害者医療	1,614	1,801	1,872	1,997	1,975	1,975																																																																																																																																																																																							
特定疾患	154	154	154	154	154	154																																																																																																																																																																																							
障害児医療	1,154	1,252	1,252	1,252	1,115	1,115																																																																																																																																																																																							
生活保護	176	182	182	181	189	186																																																																																																																																																																																							
精神保健	83	89	69	52	50	30																																																																																																																																																																																							
その他	110	143	146	204	751	771																																																																																																																																																																																							
計	2,975	2,645	2,512	2,452	3,002	2,622																																																																																																																																																																																							
			94	①研究雑費や研究旅費等の予算化等により学会や研修会等への参加がしやすい体制を維持する。	<p>(総合) 海外研修の開催 (4年度9月末時点) (単位: 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>12th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>13th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>14th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>15th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>16th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>17th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>18th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>19th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>20th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>21st ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>22nd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>23rd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>24th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>25th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>26th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>27th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>28th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>29th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>30th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>31st ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>32nd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>33rd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>34th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>35th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>36th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>37th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>38th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>39th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>40th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>41st ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>42nd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>43rd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>44th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>45th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>46th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>47th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>48th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>49th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>50th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>51st ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>52nd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>53rd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>54th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>55th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>56th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>57th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>58th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>59th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>60th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>61st ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>62nd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>63rd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>64th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>65th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>66th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>67th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>68th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>69th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>70th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>71st ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>72nd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>73rd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>74th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>75th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>76th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>77th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>78th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>79th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>80th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>81st ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>82nd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>83rd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>84th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>85th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>86th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>87th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>88th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>89th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>90th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>91st ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>92nd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>93rd ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>94th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>95th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>96th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>97th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>98th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>99th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>100th ANZCCO Meeting</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	研修	人数	11th ANZCCO Meeting	1	12th ANZCCO Meeting	1	13th ANZCCO Meeting	1	14th ANZCCO Meeting	1	15th ANZCCO Meeting	1	16th ANZCCO Meeting	1	17th ANZCCO Meeting	1	18th ANZCCO Meeting	1	19th ANZCCO Meeting	1	20th ANZCCO Meeting	1	21st ANZCCO Meeting	1	22nd ANZCCO Meeting	1	23rd ANZCCO Meeting	1	24th ANZCCO Meeting	1	25th ANZCCO Meeting	1	26th ANZCCO Meeting	1	27th ANZCCO Meeting	1	28th ANZCCO Meeting	1	29th ANZCCO Meeting	1	30th ANZCCO Meeting	1	31st ANZCCO Meeting	1	32nd ANZCCO Meeting	1	33rd ANZCCO Meeting	1	34th ANZCCO Meeting	1	35th ANZCCO Meeting	1	36th ANZCCO Meeting	1	37th ANZCCO Meeting	1	38th ANZCCO Meeting	1	39th ANZCCO Meeting	1	40th ANZCCO Meeting	1	41st ANZCCO Meeting	1	42nd ANZCCO Meeting	1	43rd ANZCCO Meeting	1	44th ANZCCO Meeting	1	45th ANZCCO Meeting	1	46th ANZCCO Meeting	1	47th ANZCCO Meeting	1	48th ANZCCO Meeting	1	49th ANZCCO Meeting	1	50th ANZCCO Meeting	1	51st ANZCCO Meeting	1	52nd ANZCCO Meeting	1	53rd ANZCCO Meeting	1	54th ANZCCO Meeting	1	55th ANZCCO Meeting	1	56th ANZCCO Meeting	1	57th ANZCCO Meeting	1	58th ANZCCO Meeting	1	59th ANZCCO Meeting	1	60th ANZCCO Meeting	1	61st ANZCCO Meeting	1	62nd ANZCCO Meeting	1	63rd ANZCCO Meeting	1	64th ANZCCO Meeting	1	65th ANZCCO Meeting	1	66th ANZCCO Meeting	1	67th ANZCCO Meeting	1	68th ANZCCO Meeting	1	69th ANZCCO Meeting	1	70th ANZCCO Meeting	1	71st ANZCCO Meeting	1	72nd ANZCCO Meeting	1	73rd ANZCCO Meeting	1	74th ANZCCO Meeting	1	75th ANZCCO Meeting	1	76th ANZCCO Meeting	1	77th ANZCCO Meeting	1	78th ANZCCO Meeting	1	79th ANZCCO Meeting	1	80th ANZCCO Meeting	1	81st ANZCCO Meeting	1	82nd ANZCCO Meeting	1	83rd ANZCCO Meeting	1	84th ANZCCO Meeting	1	85th ANZCCO Meeting	1	86th ANZCCO Meeting	1	87th ANZCCO Meeting	1	88th ANZCCO Meeting	1	89th ANZCCO Meeting	1	90th ANZCCO Meeting	1	91st ANZCCO Meeting	1	92nd ANZCCO Meeting	1	93rd ANZCCO Meeting	1	94th ANZCCO Meeting	1	95th ANZCCO Meeting	1	96th ANZCCO Meeting	1	97th ANZCCO Meeting	1	98th ANZCCO Meeting	1	99th ANZCCO Meeting	1	100th ANZCCO Meeting	1	A	医師や研修医をはじめとする医療スタッフが研究雑費や研究旅費等の予算化等により国内外の学会や研修会等へ参加できる体制を確保している。令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた令和2年度及び3年度よりも学会への参加が増加している。医師や研修医などの医療スタッフなどの医療スタッフが国内外の学会や研修会等へ参加できる体制を引き続き確保していく。
研修	人数																																																																																																																																																																																												
11th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
12th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
13th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
14th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
15th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
16th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
17th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
18th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
19th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
20th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
21st ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
22nd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
23rd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
24th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
25th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
26th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
27th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
28th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
29th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
30th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
31st ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
32nd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
33rd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
34th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
35th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
36th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
37th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
38th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
39th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
40th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
41st ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
42nd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
43rd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
44th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
45th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
46th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
47th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
48th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
49th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
50th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
51st ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
52nd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
53rd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
54th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
55th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
56th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
57th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
58th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
59th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
60th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
61st ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
62nd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
63rd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
64th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
65th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
66th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
67th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
68th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
69th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
70th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
71st ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
72nd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
73rd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
74th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
75th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
76th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
77th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
78th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
79th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
80th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
81st ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
82nd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
83rd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
84th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
85th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
86th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
87th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
88th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
89th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
90th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
91st ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
92nd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
93rd ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
94th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
95th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
96th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
97th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
98th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
99th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												
100th ANZCCO Meeting	1																																																																																																																																																																																												

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																																																																																																																																					
						説明																																																																																																																																																																																																					
			95	③院内における資格取得を支援し、活用を促進する。	<p>学会発表実績(国内外) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>600</td> <td>596</td> <td>547</td> <td>51</td> <td>102</td> <td>151</td> </tr> </tbody> </table> <p>学会発表実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>学会発表実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>396</td> <td>414</td> <td>448</td> <td>141</td> <td>245</td> <td>176</td> </tr> </tbody> </table> <p>資格等取得助成制度利用者 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>理学療法</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>薬務</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>理学療法</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>薬務</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>理学療法</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>薬務</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>理学療法</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>薬務</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	600	596	547	51	102	151	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	10	10	12	4	6	2	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	396	414	448	141	245	176		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	総合							看護部	8	0	0	9	10	0	理学療法	12	0	0	1	1	4	薬務	0	0	0	0	2	0	計	20	0	0	10	13	4	こころ							看護部	0	0	2	1	1	0	理学療法	0	0	3	0	0	0	薬務	0	0	1	0	0	0	計	0	0	6	1	1	0	こども							看護部	3	7	6	2	2	1	理学療法	0	4	4	0	0	0	薬務	0	0	0	0	0	0	計	3	11	10	2	2	1	本部							事務	0	0	0	0	0	0	看護部	11	7	8	12	13	1	理学療法	12	4	9	1	1	4	薬務	0	0	1	0	2	0	計	23	11	18	13	16	5	A	平成24年度以降、資格等取得助成制度により資格取得を支援している。これまで、毎年度一定数の利用者があり、令和4年度については9月末までに認定超音波検査士等で5人が利用しており、制度の利用者は前年を上回る見込みである。意欲ある職員の資質向上に資することが出来ている。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																					
件数	600	596	547	51	102	151																																																																																																																																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																					
件数	10	10	12	4	6	2																																																																																																																																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																					
件数	396	414	448	141	245	176																																																																																																																																																																																																					
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																					
総合																																																																																																																																																																																																											
看護部	8	0	0	9	10	0																																																																																																																																																																																																					
理学療法	12	0	0	1	1	4																																																																																																																																																																																																					
薬務	0	0	0	0	2	0																																																																																																																																																																																																					
計	20	0	0	10	13	4																																																																																																																																																																																																					
こころ																																																																																																																																																																																																											
看護部	0	0	2	1	1	0																																																																																																																																																																																																					
理学療法	0	0	3	0	0	0																																																																																																																																																																																																					
薬務	0	0	1	0	0	0																																																																																																																																																																																																					
計	0	0	6	1	1	0																																																																																																																																																																																																					
こども																																																																																																																																																																																																											
看護部	3	7	6	2	2	1																																																																																																																																																																																																					
理学療法	0	4	4	0	0	0																																																																																																																																																																																																					
薬務	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																					
計	3	11	10	2	2	1																																																																																																																																																																																																					
本部																																																																																																																																																																																																											
事務	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																					
看護部	11	7	8	12	13	1																																																																																																																																																																																																					
理学療法	12	4	9	1	1	4																																																																																																																																																																																																					
薬務	0	0	1	0	2	0																																																																																																																																																																																																					
計	23	11	18	13	16	5																																																																																																																																																																																																					

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																																																								
							説明																																																																																																																							
(3) 県民への情報提供の充実 公開講座や医療相談の開催、ホームページの活用などを通じて県民へ情報発信し、県民の健康意識の高揚に努めること。	(3) 県民への情報提供の充実 定期的に公開講座、医療相談会等を開催し、ホームページ等で健康管理・増進などについての情報を提供するなど、様々な方法で県民への情報提供を進め、県民の健康意識の高揚や健康に関する知識の充実に努める。	(3) 県民への情報提供の充実 ①定期的な公開講座、医療相談会等の開催 ②ホームページ等による健康管理・増進などについての情報提供 ③報道機関等への情報発信	96	①県民向け・医療機関向けの公開講座等を開催する。	特色を活かした公開講座等を企画、開催している。 公開講座 (単位:件、人) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院</th> <th rowspan="2">区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県民向け 実施件数</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>712</td> <td>524</td> <td>349</td> <td>125</td> <td>104</td> <td>16</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>医療機関 実施件数</td> <td>27</td> <td>21</td> <td>27</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>向け 参加者</td> <td>1,691</td> <td>1,193</td> <td>1,441</td> <td>371</td> <td>379</td> <td>433</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>県民向け 実施件数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>3</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>医療機関 実施件数</td> <td>485</td> <td>88</td> <td>115</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>向け 参加者</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>県民向け 実施件数</td> <td>149</td> <td>195</td> <td>188</td> <td>20</td> <td>127</td> <td>36</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>医療機関 実施件数</td> <td>799</td> <td>698</td> <td>218</td> <td>422</td> <td>721</td> <td>153</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>向け 参加者</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> きこえとことばのセンター主催研修会等の開催件数 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>	病院	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	県民向け 実施件数	10	6	9	3	5	1	10	参加者	712	524	349	125	104	16	—	医療機関 実施件数	27	21	27	10	9	9	27	向け 参加者	1,691	1,193	1,441	371	379	433	—	県民向け 実施件数	2	2	2	0	0	2	2	参加者	3	23	21	0	0	5	—	医療機関 実施件数	485	88	115	20	0	0	—	向け 参加者	3	3	6	1	3	2	5	県民向け 実施件数	149	195	188	20	127	36	—	参加者	17	13	6	10	15	3	20	医療機関 実施件数	799	698	218	422	721	153	—	向け 参加者								区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	7	8	5	32	33	48	A	総合病院では、外部向け講座としてがん医療公開講座を開催している。また、きこえとことばのセンターでは聴覚児の早期発見、早期介入を目的に、地域の医療従事者や行政担当者による研修会等を実施している。ただし、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、実施件数は昨年を上回る見込みである。 また、聴覚者・人工内耳装着者の音声・言語認知の共同研究に関する協定の締結などの取組についてプレスリリースを掲載し、情報発信した。 このころの医療においては、2年ぶりにはボランティア研修会を開催し、新規ボランティアの受入を行っている。
								病院	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																														
						県民向け 実施件数	10			6	9	3	5	1	10																																																																																																															
参加者	712	524	349	125	104	16	—																																																																																																																							
医療機関 実施件数	27	21	27	10	9	9	27																																																																																																																							
向け 参加者	1,691	1,193	1,441	371	379	433	—																																																																																																																							
県民向け 実施件数	2	2	2	0	0	2	2																																																																																																																							
参加者	3	23	21	0	0	5	—																																																																																																																							
医療機関 実施件数	485	88	115	20	0	0	—																																																																																																																							
向け 参加者	3	3	6	1	3	2	5																																																																																																																							
県民向け 実施件数	149	195	188	20	127	36	—																																																																																																																							
参加者	17	13	6	10	15	3	20																																																																																																																							
医療機関 実施件数	799	698	218	422	721	153	—																																																																																																																							
向け 参加者																																																																																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																								
件数	7	8	5	32	33	48																																																																																																																								
97	①【総/子】・県民向けイベントの開催や参加に努める。	(総合) 令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、オープンホスピタルを開催中止とした。 オープンホスピタル来場者数 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td>1,400</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> (こども) 例年、(株)静岡新聞社、静岡放送(株)が主催の「こどもみらいプロジェクト秋まつり inツインメッセ」に参加し、健康相談及びこども用の医師・ナース服の着用体験のブースを出展していたが、令和2年度以降はコロナ禍の状況を鑑み参加していない。 こどもみらいプロジェクト来場者数 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康相談</td> <td>22</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>写真撮影</td> <td>957</td> <td>1,064</td> <td>792</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> ※例年2日間開催されるが、令和元年度は台風の影響により、1日のみの開催 機構全体のトピックスやプレスリリース等をホームページに掲載し積極的に情報発信を行った。	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	来場者数	1,400	1,200	1,200	—	—	—	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	健康相談	22	10	3	0	0	0	写真撮影	957	1,064	792	0	0	0	A	オープンホスピタルの開催などにより、県民の健康意識の高揚や健康に関する知識の充実に努めてきたが、令和2年度から4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催を見送っている。開催を見送っていることで、適正な評価が困難であることから、未評価とする。 ただし、人数を制限した公開講座(No.96)等は、縮小して開催しており、県民への情報提供は継続している。 また、「病院だより」等、健康情報が記載されている冊子をホームページに掲載しており、健康に関する知識の充実に努めている。																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																								
来場者数	1,400	1,200	1,200	—	—	—																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																								
健康相談	22	10	3	0	0	0																																																																																																																								
写真撮影	957	1,064	792	0	0	0																																																																																																																								
98	②県民及び他の医療機関従事者等に、県立病院機構の有する医療情報等を積極的に提供するため、機構ホームページを適時、的確に更新する。	各病院(企画) セクション別アクセス件数 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部</td> <td>218,435</td> <td>226,519</td> <td>232,673</td> <td>246,234</td> <td>234,744</td> <td>129,134</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>2,017,729</td> <td>2,322,348</td> <td>2,902,755</td> <td>2,751,715</td> <td>2,542,438</td> <td>1,274,900</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>275,298</td> <td>376,258</td> <td>662,762</td> <td>659,939</td> <td>674,386</td> <td>327,100</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>1,551,263</td> <td>1,690,943</td> <td>1,772,069</td> <td>1,800,380</td> <td>1,810,951</td> <td>834,101</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,062,725</td> <td>4,616,068</td> <td>5,570,259</td> <td>5,458,268</td> <td>5,262,519</td> <td>2,565,235</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	本部	218,435	226,519	232,673	246,234	234,744	129,134	総合	2,017,729	2,322,348	2,902,755	2,751,715	2,542,438	1,274,900	こころ	275,298	376,258	662,762	659,939	674,386	327,100	こども	1,551,263	1,690,943	1,772,069	1,800,380	1,810,951	834,101	合計	4,062,725	4,616,068	5,570,259	5,458,268	5,262,519	2,565,235	A	機構全体のトピックスやプレスリリース等をホームページに掲載し積極的に情報発信を行っている。 各病院において、診療内容やイベント開催等の基本的な情報を掲載し業務活動の広報に努めているほか、感染症に係る情報等の突発的な情報についても丁寧かつ迅速に伝えるため、ホームページを積極的に活用している。																																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																								
本部	218,435	226,519	232,673	246,234	234,744	129,134																																																																																																																								
総合	2,017,729	2,322,348	2,902,755	2,751,715	2,542,438	1,274,900																																																																																																																								
こころ	275,298	376,258	662,762	659,939	674,386	327,100																																																																																																																								
こども	1,551,263	1,690,943	1,772,069	1,800,380	1,810,951	834,101																																																																																																																								
合計	4,062,725	4,616,068	5,570,259	5,458,268	5,262,519	2,565,235																																																																																																																								
99	③県民に病院の運営にかかる情報を戦略的に広報するため、報道機関向けの情報発信の推進を図る。	各病院(企画) 最先端医療への取組や各病院で開催する県民向けの公開講座、各種イベントなどについて、積極的に情報提供を行い、情報発信の推進を図った。 記者情報提供件数 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提供件数</td> <td>47</td> <td>43</td> <td>36</td> <td>19</td> <td>29</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>掲載件数</td> <td>36</td> <td>30</td> <td>24</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> ※提供件数1件に対し、掲載件数が複数あった場合も掲載件数1件とカウントする	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	提供件数	47	43	36	19	29	14	掲載件数	36	30	24	13	20	13	A	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供などを適切に行っている。令和元年前と比較すると新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントに関する情報等は減少しているが、人工内耳セミナーの開催や、聴覚がんだくの開始など、適切な時期に情報発信している。 引き続き、継続して取り組みを実施していく。																																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																								
提供件数	47	43	36	19	29	14																																																																																																																								
掲載件数	36	30	24	13	20	13																																																																																																																								

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価		
							説明	
					<ul style="list-style-type: none"> 令和4年9月に新採職員向け消火避難訓練を実施した。 なお、BCPIに基づく院内総合防災訓練と政府訓練とを同日連動して行うことを決定し、厚生労働省DMAT事務局担当者及び静岡DMAT隊員と訓練企画の調整を行った。 	A	<p>新採職員向け消火避難訓練では、初期消火訓練、病棟患者の避難誘導及び一時避難場所までの(模擬)患者搬送訓練等を実施した。</p> <p>政府訓練との調整では、重症患者の搬送等について、災害時小児周産期リエゾンとの連携や情報の流れ、患者の症例等について確認・調整した。</p> <p>今後も継続して各種防災訓練を企画・実施していく。</p>	
(2) 他県等の医療救護への協力	(2) 他県等の医療救護への協力	(2) 他県等の医療救護への協力	-	-	-	-	A	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により過去2年実施されていなかった訓練が実施されるようになり、各訓練にDMAT隊員が参加している。</p> <p>今年度、本県を対象県として行われた大規模地震時医療活動訓練(政府訓練)では、企画に係るコメンター会議にDMAT隊員6名が参加し、訓練企画及び事前準備を行った。訓練当日には26名のDMAT隊員が参加した。</p> <p>また、県からの要請に伴い、新型コロナウイルス宿泊療養施設へのDMAT隊員派遣を継続的に実施している。</p>

中期目標		中期計画		年度計画		No	行動計画	業務の実績(令4)				令和4年度実績 自己評価																																									
												説明																																									
第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	医療の質の向上を目指して、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に活かし、一層効果的・効率的な業務運営に努め、生産性の向上を図ること。	第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	業務運営に関しては、医療の質の向上のため、適切な職員配置や組織づくりに努めるとともに、業務改善への職員の意欲を高め、効率的な業務運営の実現を図る。	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	業務運営に関しては、医療の質の向上のため、適切な職員配置や組織づくりに努めるとともに、業務改善への職員の意欲を高め、効率的な業務運営の実現を図る。	-	-	-	-	-	-	-	-																																								
						-	-	-	-	-	-	-	-																																								
1 効率的な業務運営体制の強化	医療を取り巻く環境の変化とそのスピードに迅速かつ的確に対応するため、医療資源の有効活用や業務の見直し、職員参加型の業務改善等を推進し、業務運営体制の強化を図ること。特に、未稼働病床については、その活用方法について検討すること。	1 効率的な業務運営体制の強化	医療環境の変化や県民の医療需要に的確に応じられるよう簡素で効果的、効率的な組織づくりを進め、適時適切な意思決定ができる組織運営に努める。 県立病院が有する人的、物的等医療資源を有効に活用するため、常に効率的な業務運営に取り組み、経営情報を共有し職員の経営意識の醸成を図る。 県立病院の病床については、未稼働病床を含め、社会経済情勢や地域医療の状況を踏まえ、最適な方法での配置や活用を図る。 業務の改善改革への取組を奨励し、その活動を積極的に評価し、職員の意見が反映しやすい風通しの良い組織運営を進めると、職員の意欲が高い活気に溢れた病院づくりに取り組む。	1 効率的な業務運営体制の強化	①意思決定の迅速化・情報の共有化等、機動的な法人運営 ②医療ニーズや業務量の適切な把握と組織体制等への反映 ③効率的な施設運用を行うため、県立総合病院のリニューアル工事等の計画的施工 ④県立総合病院の施設機能が継続的、最適に活用できるよう、修繕計画の策定・実施 ⑤県立こども病院のマスタープランや小児医療をめぐる環境の変化等を踏まえ、今後のあり方などについて検討 ⑥公平・公正な人事評価制度の実施 ⑦効果的な職員採用 ⑧柔軟な採用試験の実施等、業務の質と量に応じた人材の適時採用 ⑨看護師確保のため、看護師修学資金の活用推進や広報活動など多様な多角的な確保対策の実施 ⑩経営情報を把握及び適時適切な措置を講じられる体制整備 ⑪経営情報を職員が共有するなど、職員全員の経営意識の向上 ⑫業務の改善の取組等を通じた職員の意識向上及び病院運営の活性化	-	-	-	-	-	-	-	-																																								
														本部・各病院（総務） 企画・経営	<p>理事会、運営会議、総務・経営担当課長会議を8月を除く原則毎月開催し、意思決定の迅速化に努めた。人事評価制度については、全職員(有期雇用職員、再雇用職員、休職中の職員等を除く)を対象に令和2年度から給与(勤労手当)への活用を開始しており、令和3年度の評価から昇給・活用が開始されている。</p> <p>リニューアル工事、大規模修繕工事の実施計画及び進捗状況(総合病院)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">年度別実績</th></tr> <tr><td>元年度</td><td>年度末における第1期リニューアル工事進捗率 91.8%</td></tr> <tr><td>令和2年度</td><td>令和2年2月 第1期リニューアル工事完了の人員確保、業務決定 令和2年7月 第1期リニューアル工事完了、8月より第1期リニューアル工事着工 年度末における第1期リニューアル工事進捗率 38.7%</td></tr> <tr><td>3年度</td><td>令和3年11月 内視鏡室改修完了 令和4年2月 産科増設改修完了 令和4年2月 第1期リニューアル工事完了</td></tr> <tr><td>4年度</td><td>令和4年7月 精神科病棟改修工事着工 令和4年8月 消化器改修工事設計完了 令和5年2月 精神科病棟改修工事完成予定</td></tr> </table> <p>実施計画</p> <table border="1"> <tr><td>5年度</td><td>消化器改修工事設計完了予定</td></tr> </table> <p>病棟再編検討会(WG)開催数(こども病院)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度(9月末)</th></tr> <tr><td>開催件数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11</td><td>4</td></tr> </table>	年度別実績		元年度	年度末における第1期リニューアル工事進捗率 91.8%	令和2年度	令和2年2月 第1期リニューアル工事完了の人員確保、業務決定 令和2年7月 第1期リニューアル工事完了、8月より第1期リニューアル工事着工 年度末における第1期リニューアル工事進捗率 38.7%	3年度	令和3年11月 内視鏡室改修完了 令和4年2月 産科増設改修完了 令和4年2月 第1期リニューアル工事完了	4年度	令和4年7月 精神科病棟改修工事着工 令和4年8月 消化器改修工事設計完了 令和5年2月 精神科病棟改修工事完成予定	5年度	消化器改修工事設計完了予定	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)	開催件数					11	4	<p>令和4年度については、理事会、運営会議、総務・経営担当課長会議を原則毎月開催し、機体内での情報の共有化、緊急案件についての対応が問題なく行われた。 医師確保を図るため、令和3年4月に職務に応じた適切な給与と制度を構築(級別標準職務表の見直し)した。これにより、医師の確保だけでなく、「職務の級」が後職による職責に応じて適用されることで、能力や意欲の高い職員が上位の職位に登用されることとなり、職員の能力や意欲の向上につなげることができた。また、平成30年4月から執行を開始した人事評価制度については、全職員(有期雇用職員、再雇用職員、休職中の職員等を除く)を対象に令和2年度から給与(勤労手当)に活用、令和3年度の評価から昇給に活用を開始する。(令和3年度前期、後期の評価を令和5年1月1日昇給に活用)</p> <p>総合病院では、令和4年4月から「管理一体型ESCO事業」を導入している。導入に際し、本館及び北館の老朽化した熱源機器等をエネルギー効率の高い省エネ機器に更新したほか、各階中央廊下等24時間点灯箇所を中心に、LED照明器具に交換するなどの省エネ改修を行った。なお、事業費(工事費等)には、環境省補助金が活用されている。</p> <p>また、施設管理は、病院で直接やらなければならない業務や病院が直接実施した方が安価な業務等を除いた3業務を当該事業者が包括的に一括運用管理する。 本事業の導入により、エネルギー使用量及び施設管理費用が削減され、経営改善に寄与している。</p>											
年度別実績																																																					
元年度	年度末における第1期リニューアル工事進捗率 91.8%																																																				
令和2年度	令和2年2月 第1期リニューアル工事完了の人員確保、業務決定 令和2年7月 第1期リニューアル工事完了、8月より第1期リニューアル工事着工 年度末における第1期リニューアル工事進捗率 38.7%																																																				
3年度	令和3年11月 内視鏡室改修完了 令和4年2月 産科増設改修完了 令和4年2月 第1期リニューアル工事完了																																																				
4年度	令和4年7月 精神科病棟改修工事着工 令和4年8月 消化器改修工事設計完了 令和5年2月 精神科病棟改修工事完成予定																																																				
5年度	消化器改修工事設計完了予定																																																				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)																																															
開催件数					11	4																																															
本部・各病院（総務）	<p>⑦優秀な職員を確保する仕組みを設け、効果的な採用を実施する。 ・職員の採用に対し、広報等様々な取組みを行うことで、必要な職員数の確保に努める。 ⑧柔軟な採用試験の実施により、必要な人材の確保に努める。 ⑨ホームページ作成、ホームページへの情報掲載、就職セミナー等での周知を行う。 ・看護師修学資金制度の活用推進により、更なる看護師確保を目指す。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																								
														本部・各病院（総務）	<p>令和4年度については、効果的な職員採用に繋げるため、看護師や事務職員に続き、コメディカルでもノンフェイ職員を採用し、優秀な人材確保を進めた。 また、看護師確保のため、就職説明会への参加や各種広報、修学資金貸与制度の拡充、養成校訪問に加えて、Web説明会など様々な確保対策を進めた。 こうした取組みの結果、採用数が増加することができた。今後も職員確保に向けた取組みを継続していく。</p>																																						
105	⑩月次決算の集計等により、病院の経営状況の早期把握を目指す。	看護師修学資金の状況(単位:人)	<table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度(9月末)</th></tr> <tr><td>区</td><td>114</td><td>55</td><td>50</td><td>36</td><td>40</td><td>19</td></tr> <tr><td>県立総合</td><td>103</td><td>162</td><td>147</td><td>129</td><td>104</td><td>69</td></tr> <tr><td>県立こども</td><td>11</td><td>1</td><td>3</td><td>7</td><td>36</td><td>20</td></tr> <tr><td>計</td><td>168</td><td>220</td><td>200</td><td>173</td><td>174</td><td>106</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)	区	114	55			50	36	40	19	県立総合	103	162	147	129	104	69	県立こども	11	1	3	7	36	20	計	168	220	200	173	174	106	<p>看護師募集における広報等の実施状況(4年度9月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材広告業者の求人情報ウェブサイト、雑誌への求人情報掲載 ・静岡新聞求人情報掲載(看護の日) ・県民たより求人情報掲載 ・県内コンビニ、ショッピングモールへの看護師募集ポスター掲示 	-	-	-	-	-	-	-					
				区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)																																											
区	114	55	50	36	40	19																																															
県立総合	103	162	147	129	104	69																																															
県立こども	11	1	3	7	36	20																																															
計	168	220	200	173	174	106																																															
本部・各病院（総務）	<p>看護生向け就職説明会(単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>実施者数</th><th>訪問者数</th><th>受審者数</th></tr> <tr><td>ナース専攻(静岡)</td><td>1</td><td>月開催予定</td><td></td></tr> <tr><td>ナース専攻(他県)</td><td>2</td><td>月開催予定</td><td></td></tr> <tr><td>バイオビデ(静岡)</td><td>2</td><td>月開催予定</td><td></td></tr> <tr><td>バイオビデ(他県)</td><td>3</td><td>月開催予定</td><td></td></tr> <tr><td>業者計</td><td>0</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>柔軟な採用試験の実施状況(単位:件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度(9月末)</th></tr> <tr><td>区</td><td>7</td><td>6</td><td>7</td><td>9</td><td>6</td><td>3</td></tr> </table> <p>ホームページアクセス数</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度(9月末)</th></tr> <tr><td>アクセス数</td><td>69,291</td><td>88,655</td><td>104,100</td><td>107,956</td><td>96,782</td><td>57,889</td></tr> </table> <p>※平成27年に現システムを使用開始</p>	区分	実施者数	訪問者数	受審者数	ナース専攻(静岡)	1	月開催予定		ナース専攻(他県)	2	月開催予定		バイオビデ(静岡)	2	月開催予定		バイオビデ(他県)	3	月開催予定		業者計	0			区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)	区	7	6	7	9	6	3	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)	アクセス数	69,291	88,655	104,100	107,956	96,782	57,889
		区分	実施者数	訪問者数	受審者数																																																
ナース専攻(静岡)	1	月開催予定																																																			
ナース専攻(他県)	2	月開催予定																																																			
バイオビデ(静岡)	2	月開催予定																																																			
バイオビデ(他県)	3	月開催予定																																																			
業者計	0																																																				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)																																															
区	7	6	7	9	6	3																																															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)																																															
アクセス数	69,291	88,655	104,100	107,956	96,782	57,889																																															
106	⑩月次決算の集計等により、病院の経営状況の早期把握を図る。	理事会等における月次決算の報告回数(単位:回)	<table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度(9月末)</th></tr> <tr><td>区</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>10</td><td>10</td><td>5</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)	区	6	6	6	10	10	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-																											
				区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)																																											
区	6	6	6	10	10	5																																															
本部（総務）	<p>理事会等において、毎月の月次決算により経営状況を分析し、報告を行っている。また、3病院合同幹部会議において各病院の幹部職員に定期的に報告し、周知を図っている。 職員研修などにおいて、病院経営や効率的な業務運営に関する取組等の科目を設け、意識の醸成を図った。 院内コミュニケーションシステムや職員情報(トリアンゲル等)を通じて、理事会資料等の経営情報を全職員向け提供し、意識醸成を図っている。 上記取組みを継続して行い、経営情報の把握や適時適切な措置を講じられる体制整備を図っている。</p>																																																				
		107	⑩⑪毎月の理事会や病院幹部会議において、経営状況を報告・分析するとともに、それらの経営状況の職員への周知を図る。 ⑩⑫機構の直近の経営状況を職員(特に病院の幹部職員、県からの新しい派遣職員や新規採用職員)に認識させるため、会議や研修、広報誌等を通じて周知徹底する。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																						
本部・各病院（企画・経営）	<p>月次決算等により、経営状況の報告・分析を著実に進めている。 また、会議や職員報を通じた経営分析結果の職員への周知、理事長長、副理事長自らによる研修等により、職員の経営に対する意識啓発を図っている。 令和4年度は、コロナ禍による診療収益の減と、補助金の見込額を随時把握し、月次決算報告に反映させている。</p>																																																				

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																																																																											
							説明																																																																																										
	【目標値】 ・業務改善運動推進制度実績件数(総合、こころ、こども、本部)	【目標値】 ・業務改善運動推進制度実績件数(総合、こころ、こども、本部)	108	⑫院内コミュニケーションシステムを活用するなどして、職員が経営・業務改善を常時提案できる体制を整備する。	業務改善について、院内コミュニケーションシステム等を利用して、誰もが経営・業務改善を常時提案できる体制の整備に努めた。また、他職員の改善提案を確認できるよう仕組みを整備している。 業務改善運動推進制度実績件数 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>80</td> <td>72</td> <td>113</td> <td>27</td> <td>164</td> <td></td> <td>80件以上</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>29</td> <td>24</td> <td>32</td> <td>4</td> <td>53</td> <td></td> <td>30件以上</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>50</td> <td>20</td> <td>39</td> <td>実施中</td> <td>71件以上</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>21</td> <td></td> <td>19件以上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>178</td> <td>140</td> <td>203</td> <td>68</td> <td>276</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4目標	総合	80	72	113	27	164		80件以上	こころ	29	24	32	4	53		30件以上	こども	30	31	50	20	39	実施中	71件以上	本部	19	19	8	8	21		19件以上	計	178	140	203	68	276			-	-																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4目標																																																																																										
総合	80	72	113	27	164		80件以上																																																																																										
こころ	29	24	32	4	53		30件以上																																																																																										
こども	30	31	50	20	39	実施中	71件以上																																																																																										
本部	19	19	8	8	21		19件以上																																																																																										
計	178	140	203	68	276																																																																																												
2 事務部門の専門性の向上	2 事務部門の専門性の向上	2 事務部門の専門性の向上	109	①階層や職務に応じた各種研修を実施する。 ・また、事務職員の機構外研修への積極的な参加を促す。 ②職員の適性等を考慮した弾力的な人事異動を行う。	事務職員に対する研修状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>受講時期</th> <th>研修名</th> <th>開催状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修年度</td> <td>新卒研修(職員研修)</td> <td>6月 2日間</td> </tr> <tr> <td>係長級昇任時</td> <td>新任監督者研修</td> <td>5月 1日間</td> </tr> <tr> <td>管理者</td> <td>業務管理研修</td> <td>5月 2日間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コミュニケーション研修</td> <td>9月 1日間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フロンティア研修</td> <td>9月 1日間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次研修(全職員)</td> <td>12月 4日間</td> </tr> <tr> <td>希望により任意参加</td> <td>事務職員基礎研修</td> <td>4月 2日間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務職員基礎研修(会計業務編)</td> <td>9月 2日間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務職員基礎研修(事務業務編)</td> <td>9月 2日間</td> </tr> </tbody> </table>	受講時期	研修名	開催状況	研修年度	新卒研修(職員研修)	6月 2日間	係長級昇任時	新任監督者研修	5月 1日間	管理者	業務管理研修	5月 2日間		コミュニケーション研修	9月 1日間		フロンティア研修	9月 1日間		1次研修(全職員)	12月 4日間	希望により任意参加	事務職員基礎研修	4月 2日間		事務職員基礎研修(会計業務編)	9月 2日間		事務職員基礎研修(事務業務編)	9月 2日間	A	階層別、業務に必要なスキルを身につける専門研修を実施している。																																																												
受講時期	研修名	開催状況																																																																																															
研修年度	新卒研修(職員研修)	6月 2日間																																																																																															
係長級昇任時	新任監督者研修	5月 1日間																																																																																															
管理者	業務管理研修	5月 2日間																																																																																															
	コミュニケーション研修	9月 1日間																																																																																															
	フロンティア研修	9月 1日間																																																																																															
	1次研修(全職員)	12月 4日間																																																																																															
希望により任意参加	事務職員基礎研修	4月 2日間																																																																																															
	事務職員基礎研修(会計業務編)	9月 2日間																																																																																															
	事務職員基礎研修(事務業務編)	9月 2日間																																																																																															
			110	③診療情報管理業務に専門的に携わることができる知識・技能を有する職員を育成する。	診療情報管理士資格取得状況 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">元年度</th> <th colspan="2">2年度</th> <th colspan="2">3年度</th> <th colspan="2">4年度</th> </tr> <tr> <th>資格</th> <th>専門課程</th> <th>資格</th> <th>専門課程</th> <th>資格</th> <th>専門課程</th> <th>資格</th> <th>専門課程</th> <th>資格</th> <th>専門課程</th> <th>資格</th> <th>専門課程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> ※ 専門課程修了者：資格試験受験資格を有する者	区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度		資格	専門課程	資格	専門課程	資格	専門課程	資格	専門課程	資格	専門課程	資格	専門課程	総合	6	10	7	10	7	9	9	9	9	9	9	9	こころ	1	2	1	3	2	2	2	2	1	1	1	1	こども	3	4	3	4	3	5	5	5	5	5	5	5	本部	2	1	2	0	2	1	1	2	2	2	2	2	計	12	17	13	17	13	14	17	17	17	17	17	17	A	令和4年度については、診療情報管理機能の強化をするため、引き続き診療情報管理士資格の取得支援制度を活用するなど、必要な資格者を育成するとともに、適切な人員配置を行った。
区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度																																																																																						
	資格	専門課程	資格	専門課程	資格	専門課程	資格	専門課程	資格	専門課程	資格	専門課程																																																																																					
総合	6	10	7	10	7	9	9	9	9	9	9	9																																																																																					
こころ	1	2	1	3	2	2	2	2	1	1	1	1																																																																																					
こども	3	4	3	4	3	5	5	5	5	5	5	5																																																																																					
本部	2	1	2	0	2	1	1	2	2	2	2	2																																																																																					
計	12	17	13	17	13	14	17	17	17	17	17	17																																																																																					
3 収益の確保と費用の節減	3 収益の確保と費用の節減	3 収益の確保と費用の節減	111	①平均在院日数の短縮に向けた取り組み ②医薬品、診療材料の適正かつ計画的な購入 ③診療報酬など収入の適正な確保 ④業務の質を担保しつつ、多様な契約手法の活用や事務の効率化などによるコスト削減 ⑤未収金対策の実施	DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>61.2</td> <td>62.0</td> <td>64.1</td> <td>66.3</td> <td>65.8</td> <td>62.9</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>59.9</td> <td>67.0</td> <td>67.8</td> <td>67.6</td> <td>68.1</td> <td>74.2</td> </tr> </tbody> </table> 長期入院患者率 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>40.7</td> <td>38.9</td> <td>37.5</td> <td>43.1</td> <td>44.0</td> <td>48.2</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	実績	実績	実績	実績	実績	実績	総合	61.2	62.0	64.1	66.3	65.8	62.9	こども	59.9	67.0	67.8	67.6	68.1	74.2	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	実績	実績	実績	実績	実績	実績	こころ	40.7	38.9	37.5	43.1	44.0	48.2	A	(総合) DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合を高めるため、定例医局会で月次報告を行い、入院期間Ⅱ以内の退院について協力を求めるとともに、クリニカルパス見直し等の取組を行っている。 (こころ) 令和4年度も、前年度に引き続き退院後の受入れが停滞していることもあり、長期入院患者率が増加している。 (こども) DPC部会を開催し、状況確認や課題の解決について取り組んでいる。																																											
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度		4年度																																																																																										
	実績	実績	実績	実績	実績	実績																																																																																											
総合	61.2	62.0	64.1	66.3	65.8	62.9																																																																																											
こども	59.9	67.0	67.8	67.6	68.1	74.2																																																																																											
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度																																																																																											
	実績	実績	実績	実績	実績	実績																																																																																											
こころ	40.7	38.9	37.5	43.1	44.0	48.2																																																																																											

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																					
						説明																					
			112	②診療材料、薬品の廃棄状況を要 困別・部門別に明らかにし、破棄・破 損について、削減のための対策を講 じる。	<p>破棄・破損額(4年度9月末) (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>診療材料費</th> <th>薬品費</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>2,995</td> <td>1,854</td> <td>4,849</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>49</td> <td>98</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>2,308</td> <td>2,275</td> <td>4,583</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>5,352</td> <td>4,227</td> <td>9,579</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	診療材料費	薬品費	合計	総合	2,995	1,854	4,849	こども	49	98	147	こども	2,308	2,275	4,583	合 計	5,352	4,227	9,579	A	<p>(総合) 破棄・破損については、部署、原因、金額等の記録を徹底し、特に高価なものにはインシデントレポートの提出を義務化している。また、委員会において事象報告を行い、対応策を議論することにより、破棄・破損の削減に努めている。予定変更や手技によるものは致し方ないが、落下や誤開封について削減に努めている。</p> <p>(こども) 破棄・破損額の発生を抑えるため、3病院間での薬品の譲受譲渡を令和4年度は98品目について実施し、不動在庫の軽減に繋げた。診療材料については、病棟の消毒薬在庫の適正化を図り、出入庫の少ないものは、極力在庫を置かず、必要時その都度発注することとして、期限切れによる廃棄の削減に努めている。</p> <p>各部署と金額等の情報共有を徹底するとともに、委員会等で破棄・破損額の情報共有、適切な在庫管理の周知を行い、破棄・破損の削減に努めている。</p> <p>希少疾病用医薬品の一部を使用した結果、使用用途が限られることから他では使用できず期限切れとなった品があり、令和4年9月末時点で前年同時期の額を上回った。</p>
区 分	診療材料費	薬品費	合計																								
総合	2,995	1,854	4,849																								
こども	49	98	147																								
こども	2,308	2,275	4,583																								
合 計	5,352	4,227	9,579																								
			113	④積極的に施設基準を取得する。 ・診療報酬の適正請求にかかわる研修 会等を実施する。	<p>(総合) これまでの病院同士の連携に加えて、保健所や医師会との連携関係を構築することで、感染対策向上加算の最上位基準を維持することができた。 重症患者の初期の治療決定時に介入するメディエーターを配置することで、重症患者初期支援充実加算の届出を行うことができた。 病理検査や画像診断の結果について、主治医が見落とす事が無いようにサポート管理する体制をこれまで維持してきたところであるが、保険点数が認められたため、届出を行った。次年度以降、技師の研修が必須化される可能性があるため、今年度から計画的に研修に参加するようしている。 夜間の看護補助者を派遣契約することで、新規に急性期看護補助体制加算における夜間100対1加算の届出を行った。(こども)</p> <p>各病院 診療報酬の改定に伴い、新設・要件等変更された項目に対して院内調整等迅速に実施し、感染対策向上加算1(指導強化加算含む)、小児特定集中治療室管理料(早期離床・リハビリテーション加算)、小児入院医療管理料1(無菌治療管理加算1)総合周産期特定集中治療室管理料「母体・胎児集中治療室管理料」(成育連携支援加算)、地域医療体制確保加算、移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法、外来腫瘍化学療法診療料1(外来化学療法加算から悪性腫瘍に対する化学療法が別評価)、アレルギー性鼻炎免疫療法治療管理料、膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)・埋設陰茎手術及び陰嚢水腫手術(尿管部切開によるもの)を新規に届出し、医師事務作業補助体制加算の要件が変更されたことにより2から1へランクアップさせた。 また、人員要件、診療実績要件、他施設との連携構築などにより、がん患者指導管理料ハ、入院時支援加算1(入院時支援各種職種等との連携を図り、適正な収入確保を念頭に施設基準取得に努めた。</p>	A	<p>総合病院の感染対策向上加算をはじめ、各病院において、施設基準の新規及びランクアップの届出を積極的に行い、診療単価の向上に寄与している。</p> <p>こども病院では、診療報酬の改定に伴い、新設・要件等変更された項目に対して院内調整等迅速に実施し、感染対策向上加算1(指導強化加算含む)等を新規に届出し、医師事務作業補助体制加算の要件が変更されたことにより2から1へランクアップさせた。</p> <p>また、研修会等を通じて、病院全体として適正請求に関する意識を高めるよう努めている。</p>																				

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	令和4年度実績 自己評価																																																																																																		
			114	<p>④SPD導入により、薬品・診療材料の期限切れ、病棟の在庫額減少に努める。</p> <p>業務の実績(令4)</p> <table border="1"> <tr><td colspan="7">薬品・診療材料期限切れ廃棄額 (単位:千円)</td></tr> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度(9月末)</td></tr> <tr><td>薬品</td><td>2,832</td><td>2,931</td><td>2,279</td><td>2,553</td><td>2,638</td><td>895</td></tr> <tr><td>診療材料</td><td>675</td><td>969</td><td>973</td><td>627</td><td>1,631</td><td>515</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td colspan="7">薬品・診療材料在庫額 (単位:千円)</td></tr> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度(9月末)</td></tr> <tr><td>薬品</td><td>102,777</td><td>92,248</td><td>1,39,891</td><td>153,889</td><td>180,316</td><td>167,601</td></tr> <tr><td>診療材料</td><td>216,079</td><td>224,292</td><td>221,511</td><td>227,708</td><td>239,545</td><td>244,661</td></tr> </table>	薬品・診療材料期限切れ廃棄額 (単位:千円)							区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)	薬品	2,832	2,931	2,279	2,553	2,638	895	診療材料	675	969	973	627	1,631	515	薬品・診療材料在庫額 (単位:千円)							区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)	薬品	102,777	92,248	1,39,891	153,889	180,316	167,601	診療材料	216,079	224,292	221,511	227,708	239,545	244,661	<p>薬品及び診療材料については、使用期限を確認し、期限切迫品の表示や使用頻度の高い部署へ移管を行うことにより、多くのロスを防ぐなどSPD業務の改善を図っている。しかしながら、稀な症例に使用する物品(ただし緊急時になければ困るもの)が期限切れになっており、今後も管理方法について検討を行っていく。</p> <p>薬品は、SPDによる在庫管理に加え、3病院間における移管や担当職員の間与により、期限切れ廃棄額の削減と在庫額減少に努めている。</p> <p>診療材料は、手術室において期限切迫品カートを設置し、使用を促している。医療の高度化により高額材料が増加したが、ピッキングリストの見直し提案を行う等、在庫の削減に努めている。</p> <p>令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、マスクや手袋等、供給体制が不安定な物品について、在庫を増やすなど診療に支障がないよう取り組んでいる。</p>																																										
薬品・診療材料期限切れ廃棄額 (単位:千円)																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)																																																																																																	
薬品	2,832	2,931	2,279	2,553	2,638	895																																																																																																	
診療材料	675	969	973	627	1,631	515																																																																																																	
薬品・診療材料在庫額 (単位:千円)																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(9月末)																																																																																																	
薬品	102,777	92,248	1,39,891	153,889	180,316	167,601																																																																																																	
診療材料	216,079	224,292	221,511	227,708	239,545	244,661																																																																																																	
			115	<p>④材料費等の節減のための対策を実施する。</p> <p>診療材料コスト削減実績 (単位:千円)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度</td></tr> <tr><td>実績</td><td>実績</td><td>実績</td><td>実績</td><td>実績</td><td>実績</td><td>実績</td></tr> <tr><td>総合</td><td>27,923</td><td>85,869</td><td>82,971</td><td>71,680</td><td>132,620</td><td>68,783</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>446</td><td>95</td><td>13</td><td>3</td><td>105</td><td>27</td></tr> <tr><td>こども</td><td>6,182</td><td>15,458</td><td>16,734</td><td>12,229</td><td>22,956</td><td>13,869</td></tr> <tr><td>合計</td><td>34,551</td><td>101,422</td><td>99,718</td><td>83,912</td><td>155,681</td><td>82,679</td></tr> </table> <p>各病院(企画)</p> <p>4年度9月末 新規導入・廃止した診療材料・薬品 品目数の実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><td rowspan="2">区分</td><td colspan="3">診療材料品目数</td><td colspan="3">薬品品目数</td></tr> <tr><td>4年度当初</td><td>新規採用数</td><td>廃止数</td><td>4年度当初</td><td>新規採用数</td><td>廃止数</td></tr> <tr><td>契約数(a)</td><td>(b)</td><td>(c)</td><td>契約数(a)</td><td>(b)</td><td>(c)</td><td>契約数(a+b-c)</td></tr> <tr><td>総合</td><td>17,025</td><td>605</td><td>14</td><td>17,616</td><td>1,645</td><td>23</td><td>14</td><td>1,684</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>405</td><td>1</td><td>0</td><td>406</td><td>585</td><td>43</td><td>40</td><td>588</td></tr> <tr><td>こども</td><td>4,228</td><td>49</td><td>46</td><td>4,231</td><td>1,335</td><td>41</td><td>16</td><td>1,360</td></tr> <tr><td>合計</td><td>21,658</td><td>655</td><td>60</td><td>22,253</td><td>3,565</td><td>107</td><td>70</td><td>3,602</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	総合	27,923	85,869	82,971	71,680	132,620	68,783	こころ	446	95	13	3	105	27	こども	6,182	15,458	16,734	12,229	22,956	13,869	合計	34,551	101,422	99,718	83,912	155,681	82,679	区分	診療材料品目数			薬品品目数			4年度当初	新規採用数	廃止数	4年度当初	新規採用数	廃止数	契約数(a)	(b)	(c)	契約数(a)	(b)	(c)	契約数(a+b-c)	総合	17,025	605	14	17,616	1,645	23	14	1,684	こころ	405	1	0	406	585	43	40	588	こども	4,228	49	46	4,231	1,335	41	16	1,360	合計	21,658	655	60	22,253	3,565	107	70	3,602	<p>診療材料は共同購入の取組を継続しており、一層の価格削減を進めているほか、令和4年度は燃料費の高騰を受け、電気料金が増えていることから、3病院に空調・照明をはじめとした節電対策への呼びかけを行い、電気使用量について継続的に情報共有を図るなど、経費の削減に努めている。</p> <p>(総合)</p> <p>診療材料については年度当初の単価契約と比較し、価格交渉により約512万円削減を見込む。また共同購入の取り組みによる還元額は、6,366万円還元を見込む。品目数の廃止数については、年度末に調査を行い廃止とする。</p> <p>(こころ)</p> <p>後発品の採用率は前年度と比較して上昇した。また、診療材料については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあって上昇していたメーカーの販売単価が下降傾向に入り、中には大きく価格が減少したものがあつた。さらに、入院患者の持参薬の臨時採用の見直しなどを進めたこともあり、コスト削減を図ることができた。(こども)</p> <p>後発医薬品への切り替えに当たっては、小児病院の特性から、先発品との同等性を十分に確認することが必要であるため、安全性・使用性・生物学的同等性の視点を重視し、他の小児専門病院の採用状況を参考にしながら切替候補品目を選定している。</p>
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度																																																																																																	
実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績																																																																																																	
総合	27,923	85,869	82,971	71,680	132,620	68,783																																																																																																	
こころ	446	95	13	3	105	27																																																																																																	
こども	6,182	15,458	16,734	12,229	22,956	13,869																																																																																																	
合計	34,551	101,422	99,718	83,912	155,681	82,679																																																																																																	
区分	診療材料品目数			薬品品目数																																																																																																			
	4年度当初	新規採用数	廃止数	4年度当初	新規採用数	廃止数																																																																																																	
契約数(a)	(b)	(c)	契約数(a)	(b)	(c)	契約数(a+b-c)																																																																																																	
総合	17,025	605	14	17,616	1,645	23	14	1,684																																																																																															
こころ	405	1	0	406	585	43	40	588																																																																																															
こども	4,228	49	46	4,231	1,335	41	16	1,360																																																																																															
合計	21,658	655	60	22,253	3,565	107	70	3,602																																																																																															
			116	<p>④効率的な医療機器購入及び管理のための対策を実施する。</p> <p>各病院(企画)</p> <p>各病院において、徹底した価格交渉と価格調査を行い、入札・見積合わせ等により競争性を確保することなどにより、効率的な購入及び管理に努めている。</p> <p>価格交渉では事務と連携して医師等自らも業者と交渉するほか、スケールメリットを生かした複数台購入もしている。</p> <p>価格調査では、他病院実績の調査や関係団体への照会、ベンチマーク調査により目安となる金額の把握を徹底し、適正な金額設計に生かしている。</p> <p>医療機器保守委託では、3病院一括の契約を結ぶなど、機器に応じた契約や不要になった保守機器の随時の見直しを行いコスト低減を図っている。</p>	<p>総合病院において、令和4年9月に購入した国産初の手術支援ロボット(hinotori)は、メーカー・ディーラーを交えた複数回の交渉の結果、238,975千円(定価より▲30,738千円)で契約することができた3病院一括での契約については、保守の必要性が低下した機器につき、随時必要性の見直しを行い変更契約していく。</p> <p>引き続き各病院と連携し、コスト低減を図っていく。</p>																																																																																																		
			117	<p>④複数年契約や集約化等による契約方法の見直しを継続的に実施する。</p> <p>各病院(企画)</p> <p>委託費の節減を図るため、契約更新時に引き続き一括化・複数年化を行うか適するか検討している。</p> <p>コスト削減による業務水準の低下を防ぐため、一部の委託については、定期的にモニタリング(委託業者の業務を評価)を行い、質の維持・向上を図っている。</p> <table border="1"> <tr><td colspan="7">4年度 委託契約等の見直し状況(単年度ベース) (単位:千円)</td></tr> <tr><td>業務名(連携)</td><td>連携</td><td>年数</td><td>期間</td><td>種別</td><td>令4決裁額</td><td></td></tr> <tr><td>医療機器等保守点検業務委託</td><td>3病院</td><td>1年</td><td>令4.4.~令5.3</td><td>定額</td><td>260,645</td><td></td></tr> <tr><td>放射線機器保守管理業務委託</td><td>3病院</td><td>1年</td><td>令4.4.~令5.3</td><td>定額</td><td>200,524</td><td></td></tr> <tr><td>システム監視業務保守業務委託</td><td>1部・子</td><td>1年</td><td>令4.4.~令5.3</td><td>定額</td><td>83,230</td><td></td></tr> <tr><td>運搬車庫法の定期報告業務委託</td><td>3病院</td><td>1年</td><td>令4.8.~令5.3</td><td>定額</td><td>8,269</td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>552,759</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td colspan="4">4年度 委託モニタリング評価結果</td></tr> <tr><td>区分</td><td>第1期</td><td>第2期</td><td>第3期</td></tr> <tr><td>給食</td><td>可</td><td>可</td><td>可</td></tr> <tr><td>区分</td><td>第1四半期</td><td>第2四半期</td><td>第3四半期</td><td>第4四半期</td></tr> <tr><td>清掃</td><td>可</td><td>-1%</td><td>可</td><td>可</td></tr> <tr><td>警備(心・子)</td><td>可</td><td>可</td><td>可</td><td>可</td></tr> <tr><td>医事(総・心)</td><td>可</td><td>可</td><td>可</td><td>可</td></tr> </table> <p>※業務に関するアンケートや業務提案の有無などにより業務内容を評価。</p> <p>※○%:業務実績が不良だったため、契約に基づき委託料を一部減額したものの</p>	4年度 委託契約等の見直し状況(単年度ベース) (単位:千円)							業務名(連携)	連携	年数	期間	種別	令4決裁額		医療機器等保守点検業務委託	3病院	1年	令4.4.~令5.3	定額	260,645		放射線機器保守管理業務委託	3病院	1年	令4.4.~令5.3	定額	200,524		システム監視業務保守業務委託	1部・子	1年	令4.4.~令5.3	定額	83,230		運搬車庫法の定期報告業務委託	3病院	1年	令4.8.~令5.3	定額	8,269		合計					552,759		4年度 委託モニタリング評価結果				区分	第1期	第2期	第3期	給食	可	可	可	区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	清掃	可	-1%	可	可	警備(心・子)	可	可	可	可	医事(総・心)	可	可	可	可	<p>令和4年度は複数年契約の間の年に当たり、新たに複数病院契約や、複数年契約を結んだ委託事業はなかったが、複数病院で集約化した委託費等の契約は既に20件、うち複数年化を行ったものは、16件によっており、一括化・複数年化による費用削減及び事務の簡素化につながっている。</p> <p>医事や警備を始めとした一部の委託については、定期的にモニタリング(委託業者の業務を評価)を行い、質の維持・向上が図られている。</p>																	
4年度 委託契約等の見直し状況(単年度ベース) (単位:千円)																																																																																																							
業務名(連携)	連携	年数	期間	種別	令4決裁額																																																																																																		
医療機器等保守点検業務委託	3病院	1年	令4.4.~令5.3	定額	260,645																																																																																																		
放射線機器保守管理業務委託	3病院	1年	令4.4.~令5.3	定額	200,524																																																																																																		
システム監視業務保守業務委託	1部・子	1年	令4.4.~令5.3	定額	83,230																																																																																																		
運搬車庫法の定期報告業務委託	3病院	1年	令4.8.~令5.3	定額	8,269																																																																																																		
合計					552,759																																																																																																		
4年度 委託モニタリング評価結果																																																																																																							
区分	第1期	第2期	第3期																																																																																																				
給食	可	可	可																																																																																																				
区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期																																																																																																			
清掃	可	-1%	可	可																																																																																																			
警備(心・子)	可	可	可	可																																																																																																			
医事(総・心)	可	可	可	可																																																																																																			

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価																																									
							説明																																								
			118	⑤弁護士事務所への未収金回収業務委託を活用し、未収金の縮減、効率的な回収を実施する。 ⑥未収金に関する研修や、弁護士事務所への相談により、事務担当者のレベルアップを図る。	平成24年度から弁護士法人へ委託先を変更。 令和4年度 未収金回収実績(弁護士事務所委託分) 集積(原簿) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新規 委任金額</th> <th>回収額</th> <th>累計回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24～28年度</td> <td>186</td> <td>88</td> <td>47.5%</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>38</td> <td>17</td> <td>47.1%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>23</td> <td>16</td> <td>49.4%</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>26</td> <td>20</td> <td>52.0%</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>30</td> <td>16</td> <td>52.0%</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>24</td> <td>12</td> <td>52.0%</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>51.4%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	新規 委任金額	回収額	累計回収率	24～28年度	186	88	47.5%	29年度	38	17	47.1%	30年度	23	16	49.4%	元年度	26	20	52.0%	2年度	30	16	52.0%	3年度	24	12	52.0%	4年度	16	6	51.4%	A	累計回収率については、令和元年度以降50%を超えており、令和4年度も同水準で推移した。 平成23年度以前に委託していたサービサーの回収率が20.4%であったのに対して、高い回収率を維持している。								
年度	新規 委任金額	回収額	累計回収率																																												
24～28年度	186	88	47.5%																																												
29年度	38	17	47.1%																																												
30年度	23	16	49.4%																																												
元年度	26	20	52.0%																																												
2年度	30	16	52.0%																																												
3年度	24	12	52.0%																																												
4年度	16	6	51.4%																																												
第4 財務内容の改善に関する事項 業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、第3期中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすること。 業務運営に当たっては、日頃から経営状況を的確に把握するとともに、社会保障制度の見直しや診療報酬制度の改定など、病院経営に大きく関わる環境変化に対しても適切な対応を図ること。これら取組を通じて、中長期的な病院運営の健全化や経営基盤の強化を図ること。	第4 予算、収支計画及び資金計画 「第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、第3期中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすることを目指す。 業務運営に当たっては、日頃から経営状況を的確に把握し、社会保障制度の見直しや診療報酬制度の改定など、病院経営に大きく関わる環境変化に対しても適切な対応を図り、経営情報を職員が共有するなど、職員全員の経営意識の向上に努める。これら取組を通じて、中長期的な病院運営の健全化や経営基盤の強化を図る。	第3 予算、収支計画、資金計画及び収支予算等	119	・新規施設基準取得などによる増収への取組みと業務見直しによる支出節減への取組みを効率的に進めることにより、各年度での3病院黒字化を図る。	経常収支の状況 (単位：%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5目標*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>100.4</td> <td>100.8</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>102.4</td> <td>100.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>113.3</td> <td>112.9</td> <td>103.1</td> <td>108.6</td> <td>106.8</td> <td>100.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>103.1</td> <td>103.4</td> <td>101.4</td> <td>102.3</td> <td>102.9</td> <td>104.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機構全体</td> <td>101.9</td> <td>102.2</td> <td>100.9</td> <td>101.5</td> <td>102.7</td> <td>101.6</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> 目標：第3期目標期間を累計した損益計算において経常収支100%以上	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5目標*	総合	100.4	100.8	100.6	100.6	102.4	100.5	-	こころ	113.3	112.9	103.1	108.6	106.8	100.7	-	こども	103.1	103.4	101.4	102.3	102.9	104.9	-	機構全体	101.9	102.2	100.9	101.5	102.7	101.6	100.0	A	令和4年度も、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、医療面では充実した質の高い医療を提供し、経営面では機能的で効率的な病院経営を推進した。空床補償等の新型コロナ関連補助金が適切に交付されたこともあり、地方独立行政法人化後、14年連続で経常収支比率100%以上を達成する見込。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5目標*																																								
総合	100.4	100.8	100.6	100.6	102.4	100.5	-																																								
こころ	113.3	112.9	103.1	108.6	106.8	100.7	-																																								
こども	103.1	103.4	101.4	102.3	102.9	104.9	-																																								
機構全体	101.9	102.2	100.9	101.5	102.7	101.6	100.0																																								

用語 (50音順)	解 説
ACT	ACTとは、Assertive Community Treatment(包括型地域生活支援プログラム)の略で、重い精神障害を持つ人たちに対して、住み慣れた地域で支援する、集中型・包括型ケースマネジメントプログラム。
CCU	CCUとは、Coronary Care Unitの略で、冠疾患集中治療室と呼ばれ、主に心筋梗塞などの冠動脈疾患の急性危機状態の患者を収容し、専門の医師・看護師により、厳重な監視モニター下で持続的・集中的に管理・治療する部門。 ※こども病院では、CCUをCardiac(心臓病の)ICUと位置付けている。
DMAT	DMATとは、Disaster Medical Assistance Teamの略で、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持ち、専門的な訓練を受けた医療チーム(DMAT:ディーマツト)
DPAT	DPATとは、disaster psychiatric assistance teamの略で、大規模災害発生後、被災地域に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う災害派遣精神医療チーム(DPAT:ディーパツト)
DPC	DPCとは、Diagnosis Procedure Combinationの略で、診断群分類のこと。これに基づく診断群分類包括評価(しんだんぐんぶんるいほうかつひょうか)により、日本の急性期入院医療費の定額支払制度が平成18年から(試行は平成15年から)運用されている。(総合:H20.7導入、こども:H21.7導入)
ESCO	ESCOとは、Energy Service Companyの略で、1970年代アメリカで始まり、1990年代後半に日本に導入された省エネ化を目指す事業で、省エネルギーに関わる一連の業務を一括して請け負うことや、計画した省エネ効果が出なかった場合、省エネ相当分を顧客に補償する義務を負うことなどが特徴。
HCU	HCUとは、High Care Unitの略で、集中治療室に準ずる機能を持つ高度な治療室。看護配置数は集中治療室の1/2であるが、一般の病棟よりはるかに多いため両者の中間に位置する病室。集中治療室から一般病棟への転室は落差が大き過ぎ、移行が難しいため、一般病棟への移行を円滑に行うために設置される。手術後の患者や集中治療を脱した重症患者の経過観察を受け持つことが多い。
ICU	ICUとは、Intensive Care Unitの略で、集中治療室と呼ばれ、内科系・外科系を問わず呼吸、循環、代謝そのほかの重篤な急性機能不全の患者を収容し、強力かつ集中的に治療看護を行う部門。
IMRT	IMRTとは、Intensity Modulated Radiation Therapyの略で、強度変調放射線治療を言い、コンピュータの助けを借りて正常組織への照射線量を抑えつつ、腫瘍部分に放射線を集中して照射することができる放射線治療である。
m-ECT	m-ECTとは、修正型電気けいれん療法で麻酔科医による全身麻酔の下、筋弛緩剤の投与により体幹のけいれんを起こさせないもので、うつ病、躁うつ病、統合失調症などの治療に用いられており、従来の有けいれん療法に比べ、安全で有効な治療法とされている。
MFICU	MFICUとは、Maternal Fetal Intensive Care Unitの略で、重い妊娠中毒症、前置胎盤、合併症妊娠、切迫早産や胎児異常など、ハイリスク出産の危険度が高い母体・胎児に対応するための設備と医療スタッフを備えた集中治療室
Mitra Clip	Mitra Clip(ミトラクリップ)とは、手術リスクの高い僧帽弁閉鎖不全症患者に対して行う経カテーテル僧帽弁クリップ術である。 2003年にヨーロッパで始まり、欧米を中心に6万人以上の治療実績を有する。日本では2017年10月に認可があり、全国12施設で約300症例に対して治療が行われている。
MSW	MSWとは、Medical Social Workerの略で、疾病を有する患者が、病気になることで生じる生活上の様々な困難に対して、自立した生活が送ることができるように、社会福祉の立場から、患者の生活全体を支援していく専門家のこと。
NICU	NICUとは、Neonatal Intensive Care Unitの略で、未熟児をはじめとするハイリスク新生児は専門的な医療機関で集中治療・管理する必要があり、このような医療を展開する場所全体を一般的に広義の新生児集中治療室と呼んでいる。
PCI	血管に刺入する管(カテーテルという)を用いて冠動脈疾患に様々な治療を行うことを総称して(経皮的)冠動脈インターベンション(PCI)と呼ぶ。 風船療法(カテーテルの先端の風船(バルーン)で狭窄した冠動脈を拡げる)や経皮的冠動脈ステント留置術(拡げた冠動脈にステントという金属のコイルを内側に張り付けて血管を支え再狭窄を防ぐ)やDCA(カッターで狭窄病変部位を削り取り拡げる治療法)やローターブレードというドリルのような先端を回転させて病変を削り取るなどの治療法がある。

用語 (50音順)	解 説
P E T	P E Tとは、Positron Emission Tomography (ポジトロン・エミッション・トモグラフィ)の略で、PET検査とは、陽電子 (ポジトロン) を放出する放射性核種 (ポジトロン核種) で標識した薬剤を静脈から注射して、細胞の活動状態を画像化する診断技術である。 がん等の診断、治療効果・治療後の経過観察に有用な最先端の検査法で、同様にがんの早期発見にも有用である。
P I C U	P I C Uとは、Pediatric Intensive Care Unitの略で、小児集中治療室と呼ばれ、専属の専門医が配置され独立病棟として24時間小児重症患者を受け入れている。
P S W	P S Wとは、Psychiatric Social Workerの略で、精神保健福祉士と言い、社会福祉学を学問的基盤として、精神障害者の抱える生活問題や社会的問題の解決のための援助や、社会参加に向けての支援活動を通じて、患者を支援していく専門家のこと。
S P D	S P Dとは、Supply Processing Distributionの略で、物品・物流の包括的管理業務のことを指す。物品の発注、検収、入庫、払出、搬送、格納、出庫、在庫確認、棚卸を一元管理すること。
T A V I	T A V I (タビ)とは、Transcatheter Aortic Valve Implantationの略で、「経カテーテル大動脈弁置換術」と言い、重症の大動脈弁狭窄症に対する手術療法である。T A V Iは、胸を開かずに、心臓が動いている状態で、カテーテルを用いて人工弁を患者の心臓に装着する治療法である。
医療観察制度	心神喪失又は心神耗弱の状態で大な他害行為を行った人を対象として、国の責任による手厚い専門的な医療と、退院後の継続的な医療を確保するための仕組み等によって、その円滑な社会復帰を促進することを目的とした制度であり、こころの医療センターにおいては、平成21年3月24日付で指定入院医療機関指定書 (東海北陸厚生局長指定、第0004号) により指定入院医療機関として指定された。
医療ビッグデータ	医療ビッグデータとは、人の健康、病気、治療等に関するビッグデータを言い、レセプトデータ、電子カルテ等に記録された診療データ、特定の疾患に関する臨床データ、薬局における調剤データ、健康診断データ等があげられる。
がんゲノム医療	がんゲノム医療とは、がんの組織を用いて多数の遺伝子を同時に調べ (がん遺伝子パネル検査)、遺伝子変異を明らかにすることにより、一人一人の体質や病状に合わせて治療等を行う医療である。
看護師修学資金制度	当機構への就職を希望する看護学生に対して、資質の向上に資することを目的に修学資金 (月5万円) を貸与する制度のこと。なお、当機構に看護師として就職した期間に相当する額の返還が免除される。 また、既に静岡県外の病院等から貸与を受けている同種の修学資金に対して、借り換えをするための資金 (返還資金) を貸与するメニューも用意している。
緩和ケア	主に治癒を目的とする治療ではなく、全人的なケアで、痛み、その他の症状コントロール、心理面、社会面、精神面のケアを行うもの。
がんセンターボード	がんの症例について、手術・化学療法・放射線治療・緩和医療、画像診断、病理診断等、院内のがん診療・診断に携わる医師をはじめ、看護師、薬剤師等関連する専門職が、診療科や職種の垣根を越えて一堂に集まって、さらに連携する地域の医療者 (医師会の医師、看護師、薬剤師、訪問看護師、介護関係職等) にも参加してもらい、それぞれの専門的な知識・技能を集約して、がん患者の症状・状態や治療法・治療方針等の情報を共有して意見交換し、最適な治療方針を協議・決定する場のことを言う。
クリニカルパス	クリニカルパスとは、ある病気の治療や検査に対して、標準化された患者様のスケジュールを表にまとめたもので、1つの治療や検査ごとに1つずつ作られている。 クリニカルパスには、病院用、患者様用と2つ準備されており、患者用クリニカルパスには、「入院診療計画書」として、患者が入院してからの食事や処置、検査・治療、そのための準備、退院後の説明等が日ごとに詳しく説明されている。
クロザピン	クロザピンは抗精神病薬で、H21.4月に製造承認され、7月より発売開始となった。クロザピンの使用にあたっては、高い治療効果の反面、重篤な副作用 (白血球の減少) が報告されていることから、安全管理体制の整備が義務付けられている。
ゲノムコホート研究	コホート研究とは、ある特定の集団を一定期間にわたり追跡し、生活習慣等の環境因子や遺伝的要因と疾病発症との関係を解析するための研究である。ゲノムコホート研究は、遺伝子型と疾病発症との関係を解析する研究である。

用語 (50音順)	解 説
コーディング	<p>疾病や手術、検査などをコード化する仕事。</p> <p>最近、病院では診療情報を活用するために、あるいはDPCやがん登録などの国の制度の義務付けにより、標準化されたコードへのコーディングとそのシステムへの登録が必要となり、そのためコーディングする人の需要が、増えている。正しいコーディングのためには、コード体系の知識とともに医学知識やカルテを読み解く能力が要求される。</p> <p>疾病のコーディング：膝の関節炎⇒M13.96 (Mは骨・筋肉などを示す。13は関節炎を示す。9は詳細不明を示す。6は膝を示す)</p>
コメディカル	<p>薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師・歯科衛生士・理学療法士・作業療法士などの、医師・看護師以外の医療従事者の総称のこと。</p>
紹介率・逆紹介率	<p>・紹介率とは、初診患者のうち、他の医療機関から紹介状により紹介された患者の数が占める割合のことである。</p> <p>紹介率＝(初診患者のうち紹介患者数)÷初診患者数×100</p> <p>・逆紹介率とは、地域医療支援病院の全患者のうちから他の医療機関に紹介した者で、診療情報提供料を算定したもの数(同一人に複数回又は複数紹介先算定の場合あり)と、初診患者の総数との比較のことである。</p> <p>逆紹介率＝逆紹介患者数÷初診患者数×100</p>
初期臨床研修医 後期臨床研修医	<p>免許取得の後に、臨床研修の名で上級医の指導の下に臨床経験を積む卒業後教育が制度化された。病院独自に「前期・後期研修医」の名称を使用することがあるが、研修医(広義,1-5年目程度)＝研修医(狭義,=前期研修医,1-2年目)＋後期研修医(3-5年目程度)としていることが一般的である。</p> <p>一般に「研修医」の語を使う場合、「前期研修医」を指す。後期研修医とはほぼ同義の語として、専修医、修練医、などがあるが、各々の病院独自のものである。</p>
新専門医制度	<p>新専門医制度とは、平成29年度以降に専門研修を開始する医師を主な対象として開始を予定していた制度で、今まで各学会が独自に定めた基準により認定をしていた専門医資格を、中立的第三者機関である日本専門医機構が統一的に専門研修プログラムの審査・承認を行い、承認を受けたプログラムに基づいて専門研修施設群がカリキュラムの修了を判定。その判定をもとに日本専門医機構が専門医の認定を行うものとされていたものである。</p> <p>ただし、医師の地域偏在への懸念が解消されなかったことから1年の延期が決定された。(小児科学会(小児科専門医)はH29より先行実施)</p>
心理教育・家族教室	<p>心理教育とは、精神障害やエイズなど受容しにくい問題を持つ人たちに、病気に関する必要な基礎知識を提供するとともに、療養生活を営む自信と地域で暮らしていく力量を身につけ、医療機関で提供される各種リハビリテーションプログラムや、地域の援助プログラムを主体的に利用することを促すことによって、医療機関における治療や援助から、精神障害者を日常的に支える地域リハビリテーションへの連続的な移行を目指す行う支援法のこと。</p> <p>患者の家族だけを対象に行う支援を家族教室と言う。</p>
心理・社会的治療	<p>精神科における薬物療法と電気けいれん療法以外の心理療法的プログラムの総称で、多職種のチーム医療が原則である。</p> <p>デイケア、作業療法、認知行動療法、心理教育・家族教室、ACTなどの各種治療法を含む。</p>
診療情報管理士	<p>診療情報管理士とは、四病院団体協議会(日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会)及び医療研修推進財団が付与する民間資格のこと。</p> <p>主な業務内容として、診療録の物理的な管理や内容の精査を行う「物の管理」、診療情報をコーディングするなどしてデータベースを構築する「情報の管理」、構築されたデータベースから必要な情報を抽出・加工・分析する「情報の活用」がある。</p>
ステントグラフト内挿術	<p>ステントグラフト内挿術とは、大動脈瘤に対する手術療法で、胸部、腹部を切開することなく足の付け根の血管から人工血管(ステントグラフト)を大動脈瘤内に誘導して蓋をする治療法である。</p>
精神科リエゾンチーム	<p>リエゾンとはフランス語で連携、連絡を意味する言葉である。精神科リエゾンチームとは、身体疾患に伴うさまざまな精神症状を有する患者に対して、身体科及び精神科の医師、看護師、公認心理師、精神保健福祉士等の連携による専門チームが高度な精神科治療を提供するものである。</p>
ダ・ヴィンチ	<p>3D画像を確認しながら、離れた場所からロボットアームを操作して内視鏡下手術を行うもので、皮膚切開を最小限にすることで、患者の負担をできるだけ抑えることが可能(術中の出血量が少ない、術後の疼痛が少ない)。</p>

用語（50音順）	解 説
地域医療支援病院	<p>1997年（平成9年）4月の医療法の第3次改正で制度化された医療機関の機能別区分のひとつ。</p> <p>目的としては、地域の病院、診療所などを後方支援するという形で医療機関の役割分担と連携を目的に創設された。都道府県知事によって承認される。</p> <p>（承認要件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の規模は原則として病床数が200床以上の病院であること。 ・紹介率及び逆紹介率が基準を満たしていること。 ・他の医療機関に対して高額な医療機器や病床を提供し共同利用すること。 ・地域の医療従事者の向上のための生涯教育等の研修を実施していること。 ・救急医療を提供する能力を有すること。
地域医療連携推進法人	<p>地域医療連携推進法人とは、地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するため、病院等に係る業務の連携を推進するための方針（医療連携推進方針）を定め、医療連携推進業務を行う一般社団法人を都道府県知事が認定（医療連携推進認定）する制度である。</p>
地域連携クリニカルパス	<p>病院の医師と診療所の医師、疾患によってはリハビリ施設など地域の医療提供施設が役割分担して連携して患者を診る仕組みの中で、疾患別に、以降の診療予定をスケジュール表の形式で表わしたもの。患者は診療所にいつ受診し、病院にいつ受診し、あるいはリハビリ施設にいつ受診し、どういう治療を受けるのかが分かり、医療施設は患者の診療の進捗管理をし、施設間で情報を共有するために使われる。診療報酬点数表上では、疾患に限られているが、「地域連携計画書」といい、計画管理料や退院時指導料等が算定できる。</p>
頭部冷却装置（PAXMAN）	<p>がん薬物療法に伴う脱毛抑制を目的とした頭部冷却装置</p> <p>頭皮冷却を継続的に実施すると頭皮血管が収縮し、毛包への抗がん剤量の到達を減少させることが可能になる</p>
ドクターカー	<p>平成20年4月25日に道路交通法施行令の一部が改正され緊急自動車の指定対象に追加された乗用車型のドクターカー（患者搬送のための特別な構造又は装置を有しない医師派遣用自動車）。静岡県消防局の要請により「ドクターカー」に当院の救命救急センターのスタッフが搭乗し、災害や事故の現場に急行したり、搬送途中の救急車とドッキングして治療を開始する。</p>
認知行動療法	<p>認知行動療法とは、人間の気分や行動が認知のあり方（ものの考え方や受け取り方）の影響を受けることから認知の偏りを修正し、問題解決を手助けすることによって精神疾患を治療することを目的とした精神療法であり、2010年から、一部保険点数化がされた。</p>
認定看護師	<p>認定看護師とは、日本看護協会及び日本精神科看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者をいい、水準の高い看護実践を通して看護師に対する指導・相談活動を行う者をいう。</p>
ハイブリッド手術室	<p>据置型血管撮影装置（アンギオ）を設置した手術室であり、カテーテル血管内治療と外科的手術の双方に対応が可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併症などの緊急時の対応が可能。（カテーテル治療から外科的手術への移行） ・手術のみでは到達困難な部位に対する治療が可能。 ・カテーテルのみでは治療できない緊急時の病変に対しても外科的手術を同時に行うことで対応が可能。 ・鮮明な透視画像により治療精度が向上
バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）	<p>バンコマイシンに対する薬剤耐性を獲得した腸球菌（VRE）</p>
リニアック	<p>リニアックとは、日本語では「直線加速器」といわれるもので、荷電粒子を一直線上で加速させて発生した放射線を当てることで、がんなどの治療をする機器です。</p> <p>多方向からピンポイントで放射線を当てることにより、正常組織への放射線の照射量を低減し、腫瘍部分の放射線量が高くなり細胞を死滅させる治療方法。</p>

用語（50音順）	解 説
レスパイト	レスパイト(レスパイトケア)とは、患者や要介護者等を在宅で日常的にケアしている家族を、他の者がケアを代替することで一時的にケアから解放させ、休息させる家族介護者支援のこと。
レジデント	初期臨床研修医はジュニアレジデント、初期レジデント、スーパーローテーターなどと呼ばれ、それ以降に専門科での研修を行うものを単にレジデントと呼んだり、後期研修医、後期レジデント、シニアレジデント、専攻医などと呼ばれている。